

二、浸水區域並ニ津浪ノ高サ
 浸水區域 宇田ノ濱、約一〇〇、〇〇〇平米
 津浪ノ高サ 四米五内外(浸水高六米〇八 廿九年九月一一)

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備、建築物等ガ津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ津浪當時ニ於ケル漁船ノ碇繋ノ位置方法等ト津浪トノ關係

字早川ノ前面ニ護岸ヲ築造シアリタル爲同部落ハ被害ナシ漁船ハ大部分鳥賊釣漁期ニ非ザルタメ砂濱ニ曳揚アリタルモ小船ハ流失破壊シ其ノ形態ヲ認メズ發動機船ハ高所ニ打揚グラレ夫々破損セリ出漁準備中ノ發動機船ハ津浪襲來ト共ニ着火シ難ヲ免レタリ

四、漁業ノ種類、漁獲物ノ種類、數量價額及其ノ處理方法並ニ漁船數調

昭和五年現在		漁獲物種	漁獲數量	價額	處理方法	漁船數	
動力付漁船	漁船別					隻數	噸數
定置漁業	鳥賊釣漁業	近海、鰯、鮭、海鰻	一五〇、〇〇〇	三七、五〇〇	漁業組合ニ於テ共同販賣ス	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
近海、鰯、鮭、海鰻	鳥賊釣漁業	近海及遠洋	二七、〇〇〇	一七、五〇〇	東京大阪神戸釜石方面ニ移出	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇

昭和六年現在		漁獲物種	漁獲數量	價額	處理方法	漁船數	
動力付漁船	漁船別					隻數	噸數
鳥賊釣漁業	延繩漁業	近海、鰯、鮭、海鰻	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇五〇	漁業組合ニ於テ共同販賣ス	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
延繩漁業	定置漁業	遠目、鰯、鮭、海鰻	一、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇	東京大阪神戸釜石方面ニ移出	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
定置漁業	延繩漁業	遠目、鰯、鮭、海鰻	三、一〇〇	一、三三五	釜石方面ニ移出	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
延繩漁業	旋網漁業	近海、鰯、鮭、海鰻	一、九、五〇〇	六、六五五	魚粕、魚油、製造	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
旋網漁業	鳥賊釣漁業	近海、鰯、鮭、海鰻	五、〇〇〇	一、六六六	東京大阪神戸ニ移出	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
鳥賊釣漁業	鳥賊釣漁業	近海、鰯、鮭、海鰻	一、三九、六八四	一〇六、四〇一	東京大阪方面ニ移出	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇
計	計	計	計	計	計	六	最大 一五・六〇 最小 二・三〇

昭 和 七 年 現 在	其 他	漁 船 別	漁 業 ノ 種 類	漁 獲 物 種	漁 獲		處 理 方 法	漁 船		
					數	量		價 額	隻 數	噸 數
動 力 付 漁 船	其 他	捕 鮑 其 他	採 藻	專 用 鮑 魚 場 等	一、〇八二	一、〇八二	一、六〇三	神 戶 方 面 ニ 移 出	八	小 大
					三、六〇六	三、六〇六	四〇、〇九三			
					一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、六六六			
					三、九六八	三、九六八	一〇三、八八八			
在 來 漁 船	其 他	烏 賊 釣 漁 業	烏 賊 釣 漁 業	近 海 及 遠 洋	四、三〇〇	四、三〇〇	六、一〇〇	漁 業 組 合 ニ 於 テ 共 同 販 賣 ス	六	小 大
					二、九〇〇	二、九〇〇	二、八七〇			
					二、五五〇	二、五五〇	二〇、二四〇			
					一、〇〇〇	一、〇〇〇	二〇、〇〇〇			
計					三六、五五八	三六、五五八	一〇三、八八八		八	

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、設備別計畫ノ大要及經費概算

(三)(二) 船揚場 (災害復舊ニテ計畫中)
共同販賣所、共同處理場、共同倉庫等

種別	イ、位 置	ロ、敷 物地	ハ、構 造	概 要
共同販賣所	字田ノ濱	建敷物地	八〇坪	基礎「コンクリート」二階建セ
共同作業場	同	建敷物地	一〇〇坪	基礎「コンクリート」木造平屋
共同倉庫	同	建敷物地	五七〇坪	鐵筋混凝土造平屋瓦葺

計	鮑 魚 業	近 海 鮑 魚 業	若 布、 昆 布、 天 草	海 苔、 角 又、 天 草
四、四〇八	二、九四三	五、二二五	二、九四三	二、九四三
三、八、五八	二、四、四九六	二、四、四九六	二、四、四九六	二、四、四九六
	神 戶 方 面 ニ 仕 向	東 京 大 阪 方 面 ニ 仕 向	東 京 大 阪 方 面 ニ 仕 向	東 京 大 阪 方 面 ニ 仕 向
八九				

二、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
共同販賣所			坪當リ	一〇〇	二階分三十坪平屋分五 十坪分
共同作業所			四〇	八、〇〇〇	
共同倉庫			一〇〇	二、〇〇〇	
				五、〇〇〇	

(九)(四) 護岸 (災害復舊ニテ計畫中)
以上各事項ニ對スル地元民ノ希望

早川埋立地(組合有)ノ災害復舊(護岸及船溜)ヲ願度シ

二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戸數調

區別	職業別	漁業	農業	商業	工業	其他	計
人		一、〇五〇	二四	一四九	二	六二	一、四七五
戸數		一五	三	三	二	九	二六

(二) 從來ノ住宅地並ニ移轉スベキ住宅地ノ適否

區別	イ、海岸ヨリノ距離	ロ、海面上ノ高サ	ハ、河川トノ關係	ニ、交通關係
從來ノ住宅地				交通便利ナリ
移轉スベキ住宅地	一九〇	五	一〇	交通不便ナリ

移轉スベキ住宅地ニ付テノ調査

ホ、移轉ノ棟數 一七〇戸
 ヘ、必要面積 一七、四一五坪
 ト、位置ノ決定
 候補位置 部落ノ東奥山地
 理由 廿九年ノ災害後移轉スベキ宅地ヲ造成シタルモ出漁及作業上不便ナル爲移轉セザリシモノニシテ
 今回モ其不便ヲ稱シテ移轉ヲ欲シ居ルモノアリ村及組合ニ於テハ強制的ニ移轉セシムル心算ナル
 由

織笠村

一、村勢概要(昭和六年現在)

織笠村ハ山田灣奥ニ在リテ山田町ニ連絡ス廣袤東西三里南北一里、面積二方里九七五、總戸口三百四十六戸、二千三百三十二人ヲ有シ生産物價額農産六萬二千二百三十五圓、水産五萬八千八百二十圓、林産二萬四千四百七十四圓、工産九千八百三十圓、畜産八百五十五圓計十五萬六千二百四十四圓ヲ算シ水産物ハ總生産額ノ三割七分ニ過キズ

本村ニ於ケル水産業ヲ大觀スルニ突棒、柔魚釣、鰻旋網漁業ヲ主トシ探鮑、海苔養殖等ノ小漁業ヲモ營ミ漁獲物ハ鰻、柔魚、鮪、鮑及海苔等ニシテ總水揚額五萬八千八百二十圓(製造ヲ含ム)アリ漁船數ハ動力付漁船十七隻在來漁船四十四隻計六十一隻ヲ有シ織笠港ニ根據セリ

水産業戸數ハ百八十六戸(專業 八六戸 外ニ副業十)アリ總戸數ノ五割四分ヲ占ム(以上村勢要覽ニ依ル)

二、海嘯災害概況及復舊計畫

村當局ノ調査ニ係レルモノヲ添付セルヲ以テ省略ス

三、港ノ現況及修築計畫ニ對スル意見

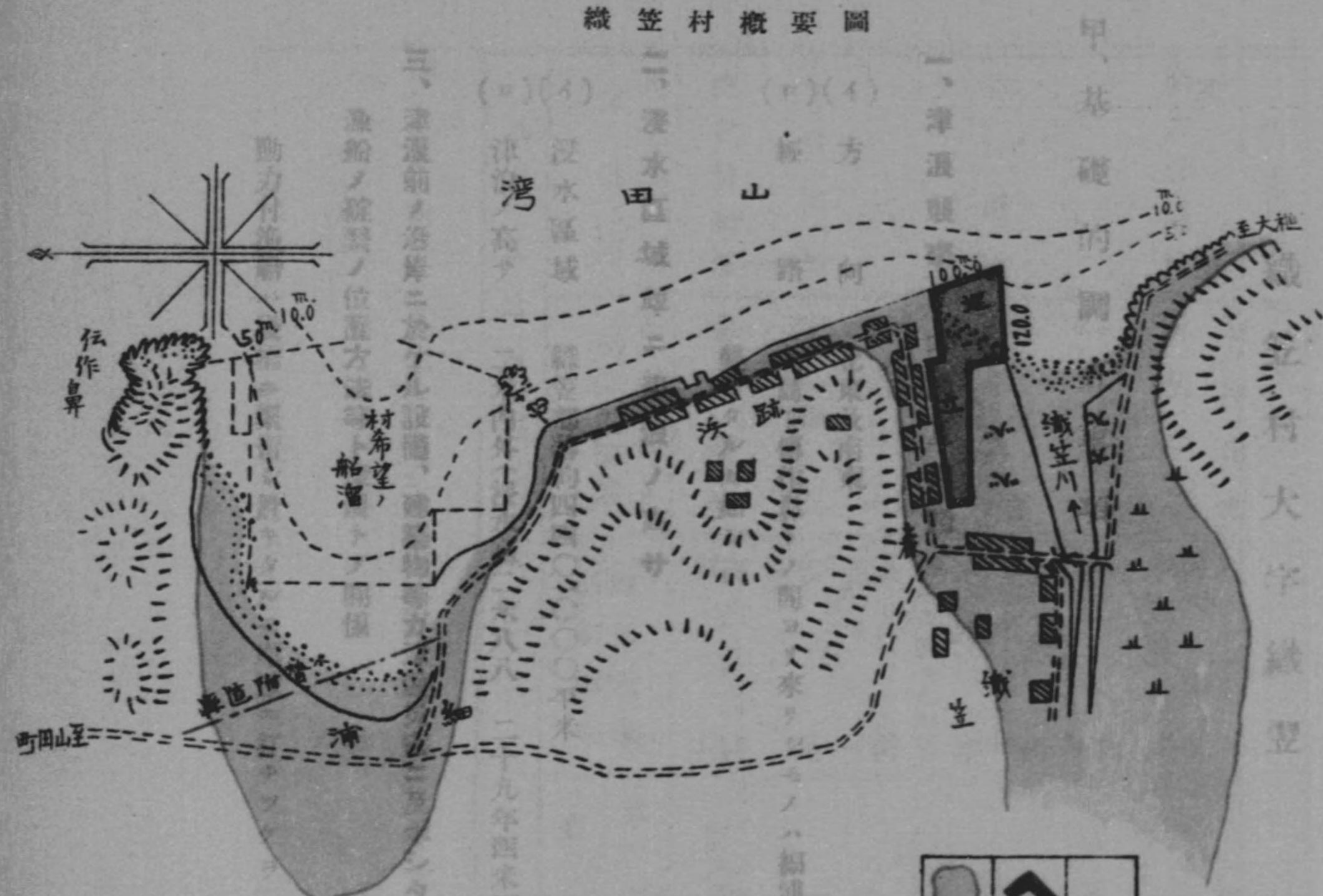
本港ハ山田灣奥ニアリ大島、小島ノ諸島前面ニ點在シテ風浪ヲ遮ルヲ以テ漁船ノ碇繫ニ支障ナキモ水産物並ニ漁網ノ干場ニ乏シキヲ以テ織笠川左岸宇森地先海面ヲ埋立テ之等ノ用地ニ充ツルト共ニ浪災ノ輕減ニ資スルノ必要アリ之ニ要スル工費四萬二千圓ノ見込

但シ地元ニ於テハ細浦部落ニ船溜船揚ノ施設及跡濱漁業組合前面ニ鐵筋混凝土棧橋ノ築設ヲ希望シ居レルモ現在ノ漁業狀勢及地元ノ財政狀態ヲ考慮スルトキハ差當リ其必要ナカルベク之等ノ施設ハ漸ヲ追フテ實施スルヲ得策ト思料ス

四、海嘯災害豫防ニ關スル考察

本村ハ山田灣内ニ於ケル最モ被害輕微ナル個所ニシテ多ク浸水程度ニ止マレルハ港口ヨリ南西浪板ヶ崎ニ向ヘル波浪ガ船越ヨリノ溢流ノ爲其勢力ヲ減殺セラレタルニ據ルモノト思料セラル(時間的ニ之ヲ判定スレバ船越午前三・一五頃織笠三・四〇ナリ)又同村中跡濱部落ノ如キ沿岸ニ比較的高キ護岸ヲ有セル個所被害尠ク森及織笠ノ如キ護岸ノ低キ個所程浸水區域大ナルハ津浪災害豫防上注意ヲ要スル点ニシテ波高二米内外ノモノニ對シテハ沿岸ニ高護岸ヲ築設セバ充分豫防ノ目的ヲ達シ得

磯笠村概略圖



		凡例
浸水区域	津波による施設物	



六四二

磯笠村の概略図は、津波の被害状況を詳細に示している。図には、津波の浸水範囲、津波による施設物の被害状況、および村の主要な構造物が示されている。また、図には、津波の浸水範囲を示すための凡例が記載されている。この図は、津波の被害状況を把握し、今後の防災対策に役立つ重要な資料である。

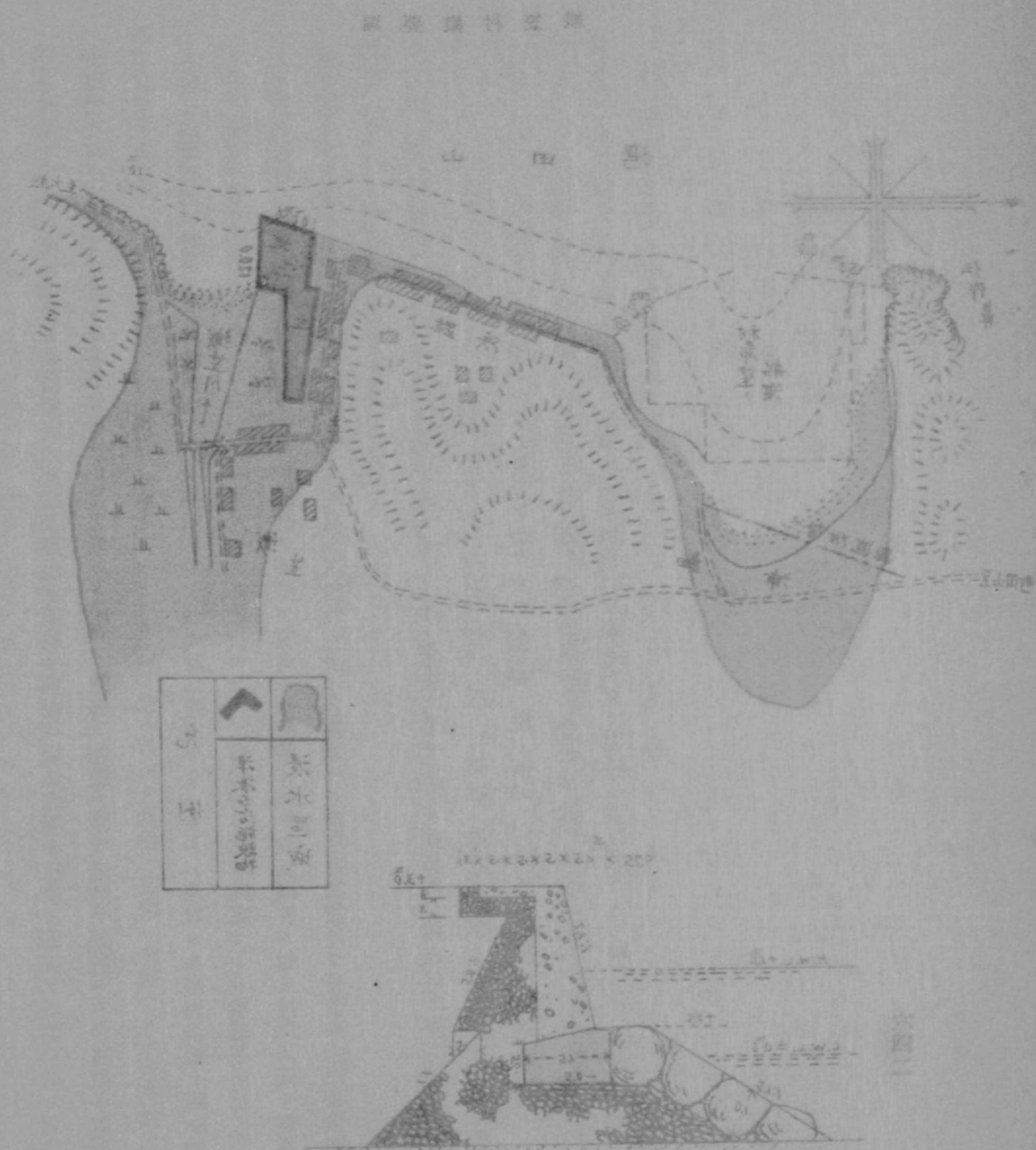
織笠村大字織笠

甲、基礎的調査事項

一、津浪襲來ノ方向及經路	(イ) 方 向 北東及南東	(ロ) 經 路 大島ト傳作鼻トノ間ヨリ來リシモノハ細浦及跡濱ヲ襲ヒ女郎島ト浪板ケ崎間ヨリノモノハ森、織笠ヲ襲ヒタルガ如シ
二、浸水區域竝ニ津浪ノ高さ	(イ) 浸水區域 織笠部落約四四〇、〇〇〇平米	(ロ) 津浪ノ高さ 二米内外(浸水高二米八八 二十九年四米三九)

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備、建築物等ガ津浪災害ニ及ボシタル影響竝ニ津浪當時ニ於ケル漁船ノ碇繋ノ位置方法等ト津浪トノ關係

動力付漁船ハ棧橋ニ繋留シ置キタルモ岸壁ニ打チツケラレニ隻破壊シ他ハ織笠橋附近ニ打チ揚ゲラレ小破修理セリ



小舟ハ織笠部落ノ埋立地ニ曳揚ゲ置キシモ織笠川口ヨリ二百間後方ニ流サレ破壊シ又ハ流失シタルモノ等四八隻他ハ小破修理セリ

四、漁業ノ種類、漁獲物ノ種類、數量、價額及其ノ處理方法並ニ漁船數調ニ依リ

漁船別	漁業ノ種類	漁獲物種類	漁獲高		處理方法	漁船數	
			數量	價額		隻數	噸數
動力付漁船	旋網漁業	鰹、内及近海	四四〇、〇〇〇	一六、三〇〇	干、粕	二ヶ統	大小
在來漁船	近漁海業(突棒)	鰹、内及近海	二二、〇〇〇	三、六五〇	干、生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	七〇〇	三五〇	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	三五、〇〇〇	八、六〇〇	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	七四	三二	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	九四	四八	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	一、二二六	一、七三七	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	三、二二六	二、四九	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	二、四四六	一、七、五〇	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	一、二二六	一、七三七	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	三、二二六	二、四九	生魚ニテ販賣	一	大小
其	小漁業	鰹、メバチ、ビン	二、四四六	一、七、五〇	生魚ニテ販賣	一	大小

動力付漁船	昭和七年現在	其	在來漁船	動力付漁船		昭和六年現在
				旋網漁業	突棒漁業	
動力付漁船	旋網漁業	定置漁業	小漁業	鰹漁業	突棒漁業	鰹釣漁業
動力付漁船	鰹、内及近海	鰹、海	沿ア、岸	長メバチ、ビン	近、カ	鰹、内及近海
動力付漁船	一、四八五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一、九二五	四三、〇〇〇	九〇〇	六四〇、〇〇〇
動力付漁船	四、〇〇〇	五、三九四	六三五	三、六五〇	五八〇	一三、〇〇〇
動力付漁船	干	干	干	生魚ニテ販賣	生魚ニテ販賣	干
動力付漁船	七、二五	二、八〇〇	二、八〇〇	三、六五〇	五八〇	三、六〇〇
動力付漁船	參ヶ統	參ヶ統	參ヶ統	參ヶ統	參ヶ統	參ヶ統
動力付漁船	大小	大小	大小	大小	大小	大小
動力付漁船	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一六〇〇

漁船別	漁業ノ種類	類漁獲及漁物種	漁獲高		處理方法	漁船數	
			數量	價額		隻數	噸最小及最大數
動力付漁船	突棒漁業	近鮪、カジ海キ	一、五〇〇	一、一〇〇	生魚ニテ販賣	一	七・〇
在來漁船	小漁業	沿ア、ワ、岸ビ	二六七	二〇〇	生ニテ販賣	一五二	
其他	灣タ	内コ	一〇、四二六	六、二九	生魚ニテ販賣		
	灣ハ	内モ	一、一七〇	五二〇	生魚ニテ販賣		
計	區劃漁業	海	二、二九	一七、六四〇			
	定置漁業	鮭	三、〇〇〇	七、二〇〇			
			九五、四五七	一、四〇、三九〇		一七	

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、設備別計畫ノ大要及經費概算

(三) 共同販賣所、共同處理場、共同倉庫等

種別	イ、位	ロ、敷	ハ、構造	概要
共同倉庫	織笠村第十一地割字森百五番	敷地 五十坪	木造二階建亞鉛板葺シツクヒ塗	
共同製造場	織笠村第十一地割字森百五番	敷地 四四坪	木造平屋建亞鉛板葺	

二、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	價金	額	備	考
共同倉庫	一	坪	一、七三	一、七三	倉庫新築費 附屬棧橋架設費	
共同製造場	一	坪	二、五〇	二、五〇	製造場新築費 附屬機械器具及動力其ノ他買入金	

(四) 護岸

- イ、位 置 埋立地前面東及南側
- ロ、延 長 二二〇米 天端高 干潮面上三米 總高 壁体部三米五
- ハ、構造概要 捨石基礎上ニ方塊及場所詰混凝土ニテ壁体造成裏込栗石填充沿地一米五鋪裝

三百五十二圓(廻來船水揚分ヲ含ムヲ以テ地元ノミニテハ三十五萬圓程度ト推定ス)ニ達ス
漁船數ハ動力付漁船百十一隻、在來漁船百七十九隻計二百九十隻ヲ有シ山田港ニ根據セリ
水産製造物ハ鰯、鰯粕、魚油等ニシテ總製造額二十一萬二千七百三十七圓ヲ算シ水産業戶數七百三十戸アリ總戶數ノ七割ニ
當レリ(以上町勢要覽ニ依ル)

二、海嘯災害概況及復舊計畫

町當局調査ニ係レルモノヲ添付セルヲ以テ省略ス

三、港ノ現況及修築ニ對スル意見

本港ハ山田灣奥ニアリ灣ハ其中央部ニ於テ明神崎ノ突出ニ據リテ狹窄セラレ灣奥ニ至ルニ從ヒ廣大ナル水面ヲ有スルカ故ニ
外海ヨリ波浪ノ直進スルコトナク誠ニ自然ノ良港タルノ資格ヲ具有セリ

然ルニ本港ニ於ケル漁船ノ利用方面ニ於テハ天與ノ良港ニ賴リテ從來何等ノ施設ヲ有セザリシニ依リ昭和七年度ヨリ農業土
木費船溜、船揚ノ助成金ヲ得テ總工費三萬五千四百八十九圓ヲ以テ字川向地先ヲ埋立テ延長五百四十九米ノ護岸及延長四十
米ノ船揚場ヲ築造シツ、アリ本工事竣功ノ曉ハ山田線ノ開通ト相俟テ漁業用陸上ノ諸施設ヲナシ漁船ノ利便ヲ増大スルノ
必要アルベシ

四、海嘯災害豫防ニ關スル考察

一方製造場ノ干場及船揚場ハ飯岡及山田ノ兩漁業組合共理立ニヨリ相當ノ地積ヲ有スルヲ以テ差當リ其必要ナカルベシ
本町ニ於ケル浸水高ハ四米内外ニシテ大澤ニ比スレバ其勢力稍々緩ナリシモノ、如ク山田及飯岡ノ如キ沿岸ニ護岸ヲ有セル
個所被害尠ク(浸水程度多シ)川向ノ如キ護岸ヲ有セザル個所被害大ナリシハ注目ニ價スベク此地區モ現在實施中ノ護岸完
成シ居リタランニハ著シク被害ヲ輕減セシメ得タルベシ本町ハ東西ニ長ク海岸ニ沿ヒ住家極比セルノミナラズ高住宅地ノ適

地乏シキヲ以テ豫防對策トシテハ第一線區域ヲ防浪建築又ハ鐵筋混凝土ノ塀ヲ以テ後方住宅ノ保護トナシ高地ニ導ク避難道
路ノ開設及警報裝置等ハ本町ノ如キ地勢ノ場所ニ於テ特ニ必要ナルモノト認ム

山田町 山田港 概要 圖

甲、基礎的調査事項

一、港の位置及経路

二、港の水深

三、港の防波堤

四、港の設備

五、港の利用

六、港の将来

七、港の調査方法

八、港の調査結果

九、港の調査の意義

十、港の調査の結論

十一、港の調査の参考資料

十二、港の調査の参考文献

十三、港の調査の謝辞

十四、港の調査の発表

十五、港の調査の発表

十六、港の調査の発表

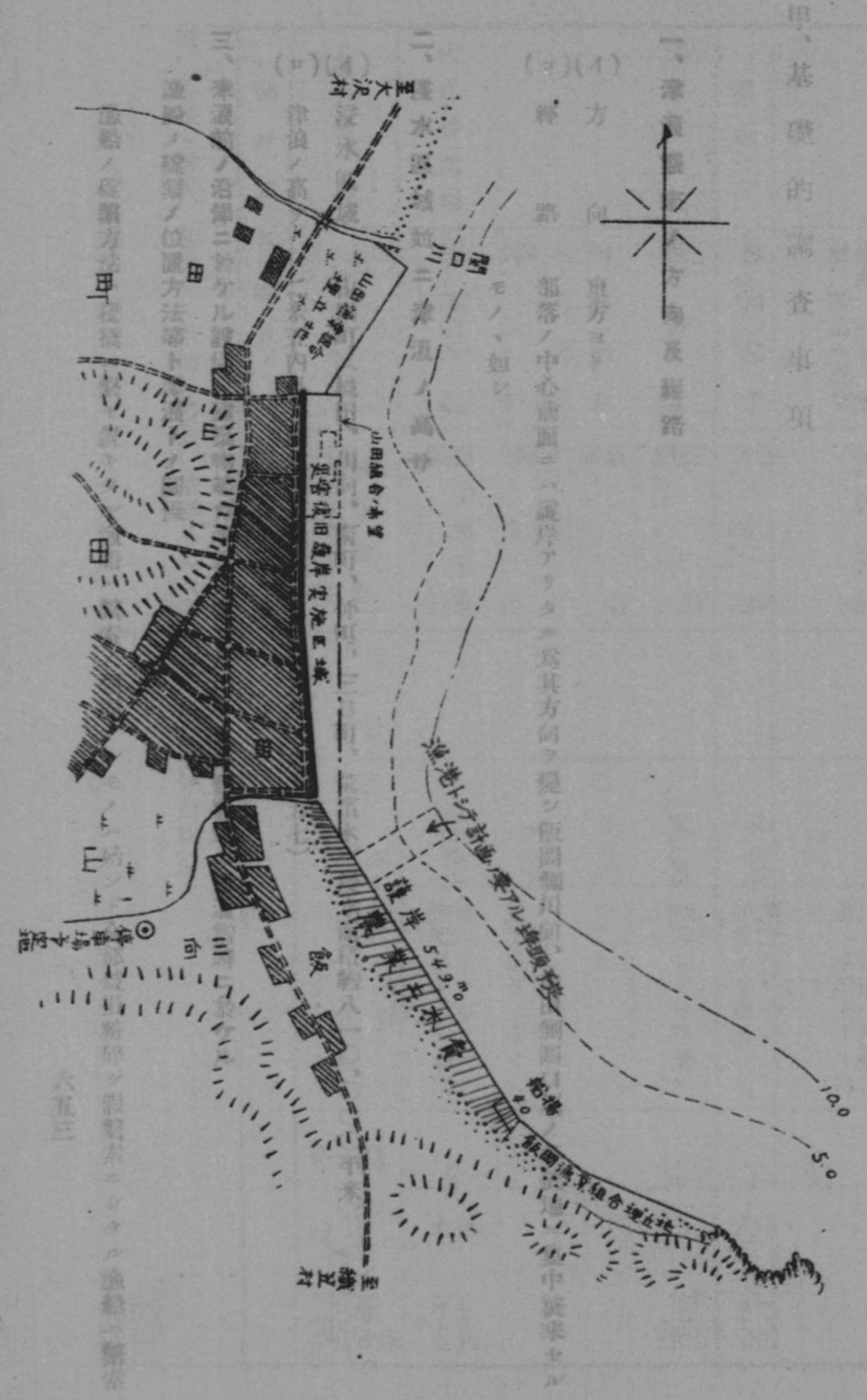
十七、港の調査の発表

十八、港の調査の発表

十九、港の調査の発表

二十、港の調査の発表

山田港 概要 圖





甲、基礎的調査事項

一、津浪襲来ノ方向及経路	(イ) 方 向 東方ヨリ	(ロ) 経 路 部落ノ中心前面ニハ護岸アリタル爲其方向ヲ變シ飯岡側川向、山田側開口川ノ各低地ニ集中襲來セルモノ、如シ	山田町	津浪ノ高サ	二米五内外 (浸水高三米七五)	廿九年 六米五七)	浸水區域 山田町(境田、川向、南町、仲町、三日町、荒濱木) 浸水面積約八一〇、〇〇〇平米	津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備、建築物等方津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ津浪當時ニ於ケル漁船ノ碇繋ノ位置方法等ト津浪トノ關係	漁船ノ碇繋方法ハ棧橋ニ繋ギ置キタル漁船ハ繋索ノ強固ナルモノハ殆ンド全部破損粉碎シ假繋索ニシタル漁船ハ繋索
--------------	-----------------	---	-----	-------	-----------------	-----------	---	--	--

二、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
飯岡浦漁業組合分		坪	三一・二五	一、五〇〇	
共同販賣所			三七・五〇	三、〇〇〇	
共同製造場			二五・〇〇	一、〇〇〇	
共同倉庫					
山田漁業組合分					
共同販賣所				二、四五九	
共同製造場				三、九二七	
共同倉庫				一、〇八一	

(三) 護岸 農業土木費ニテ實施中
口、延長 五四九・〇米

(四) 以上各事項ニ對スル地元民ノ希望

- 一、飯岡側、船揚場工事埋立完成後停車場ヨリノ連絡道路正面ニ當ル個所ニ棧橋ノ施設
- 二、山田側、地先ニ船溜及埋立工事ヲ實施シタシ

二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戸數調

(昭和七年現在)

區別	職業別	漁業	農業	商業	工業	計
戸數		七三〇	一八一	一一〇	六〇	一、〇九一
人口		四、四九一	九二二	七二〇	三六〇	六、四八三

本村は、山田灣ノ北岸ニ位シ北ハ豐間根村、西ハ山田町、東ハ重茂村ニ接シ南ハ山田灣ニ面ス廣袤東西二里、南北一里、面積一万里一五、總戸數二百十八戸、千五百九人ヲ有シ、生産物價額水産十二萬九千二百二十圓、農産二萬八千五百四十四圓、工産六千六百圓、林産三千五百圓、畜産千四百四十九圓、鑛産三百七十五圓計十六萬九千二百八十八圓ヲ算シ水産物價格ハ實ニ總生産額ノ七割六分ヲ占ム

一、村勢概要(昭和六年現在)

大澤村ハ山田灣ノ北岸ニ位シ北ハ豐間根村、西ハ山田町、東ハ重茂村ニ接シ南ハ山田灣ニ面ス廣袤東西二里、南北一里、面積一万里一五、總戸數二百十八戸、千五百九人ヲ有シ、生産物價額水産十二萬九千二百二十圓、農産二萬八千五百四十四圓、工産六千六百圓、林産三千五百圓、畜産千四百四十九圓、鑛産三百七十五圓計十六萬九千二百八十八圓ヲ算シ水産物價格ハ實ニ總生産額ノ七割六分ヲ占ム

本村ニ於ケル水産業ヲ大觀スルニ漁業ノ種類ハ柔魚釣、鰯揚網及延繩漁業並採鮑、採藻等ノ近海漁業ニシテ漁獲物ハ柔魚ヲ主トシ鰯、鱒、鱒之ニ次キ漁獲高總額(海草、海苔ヲ含ム)六萬六千六百圓アリ漁船數ハ動力付漁船二十八隻在來漁船百隻ヲ有シ大澤部落ヲ根據トセリ

水産製造物ハ鰯及鰯粕ヲ主トシ海苔、乾鮑、若布、昆布之ニ亞キ總製造額六萬二千五百圓ニ達ス(以上村勢要覽ニ依ル)水産業戶數ハ百五十六戶(專業 四四戶 他ニ副業七)アリ總戶數ノ七割二分ヲ占ム

二、海嘯災害概況及復舊計畫

本村及漁業組合ノ調査ニ係ルモノヲ添付セルヲ以テ省略ス

三、港ノ現況及修築計畫ニ對スル意見

大澤港ハ山田灣奥ノ北側ニ位シ南方ニ開敞セル弓狀型ノ灣入ヲナシ平時ハ港内靜穩ニシテ漁船ノ碇繋ニ支障ナキモ北東ノ風浪ニ際シテハ灣口ヨリ進入スル旋廻波ハ本港東方ニ突出セル熊ノ崎前面ヨリ襲來シ(津浪ノ方向)漁船ノ碇繋困難ナルノミナラズ災害復舊費ヲ以テ部落前面ニ護岸工事ヲ實施スル爲メ漁船曳揚ケ用砂濱地僅少ナルノ現況ニ鑑ミルトキハ熊ノ崎ヨリ南西ニ向ヒ延長二百米ノ防波堤ヲ築出スルト共ニ其被蔭ニ延長五十米ノ船揚場ヲ築造スル必要アリト認ム之ニ要スル工費十萬七千圓ノ見込

四、海嘯災害豫防ニ關スル考察

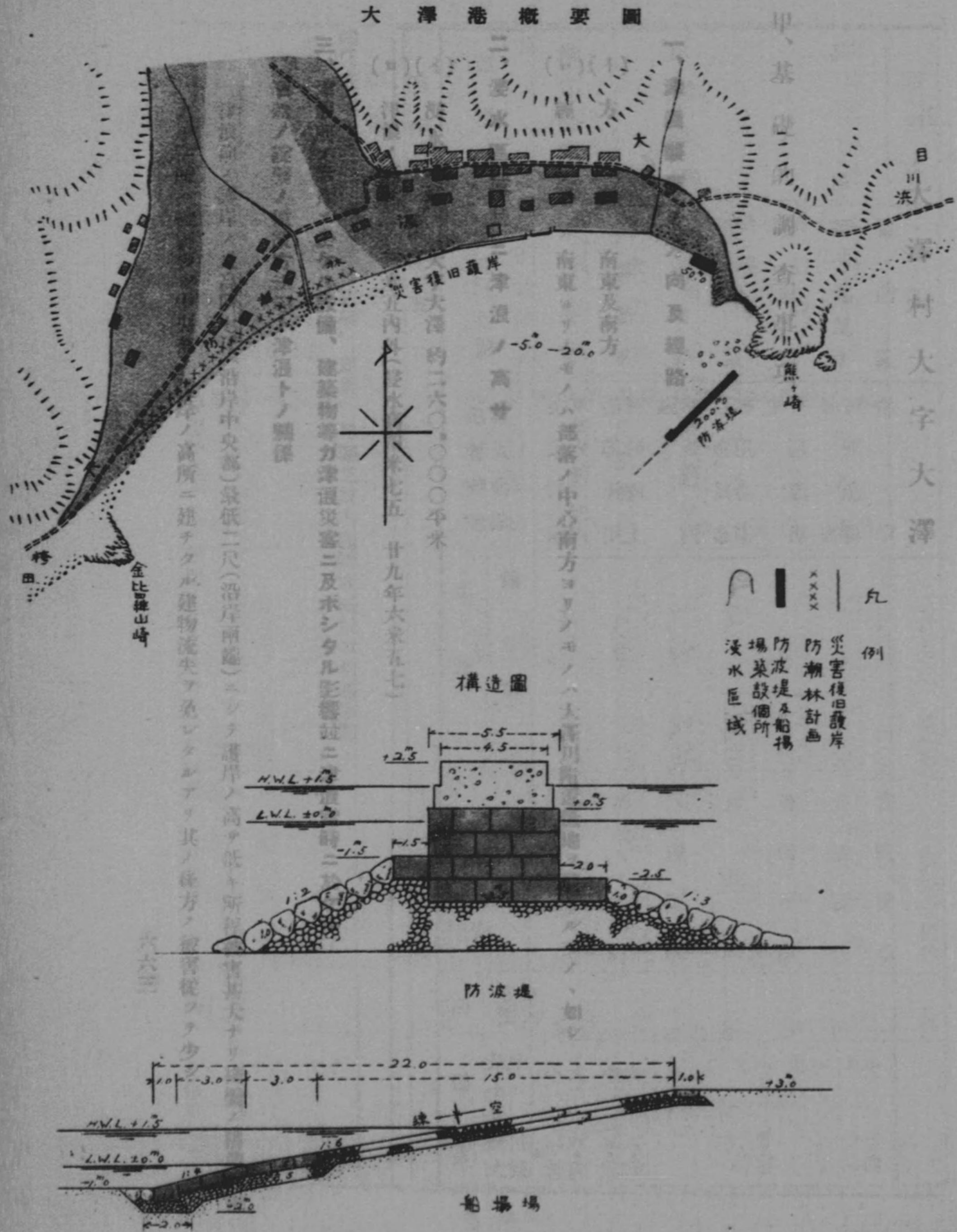
本村ヲ襲ヘル津浪ノ動向ヲ考察スルニ灣口ヨリ灣内ニ於ケル水深及其地勢上一ハ灣口ヨリ進入セル波浪カ南西ヨリ北西ニ廻旋シ熊ノ崎南方ヨリ部落ノ中央ヲ衝キ他ノ一ハ船越灣ノ頸部低地ヲ越ヘタルモノカ灣口ヨリノ波浪ト合流シテ大澤川口附近ニ襲來セルモノト思料セラル、カ故ニ之カ豫防策トシテ熊ノ崎ヨリノ防波堤築出ハ相當ノ効果アルモノト信ズ又明治二十九年ト今回トノ浪災ヲ比較スルニ其波高ニ於テ相違アリトスルモ其程度ハ今回ノ方著シク輕減セラレタルヲ認メラレ之ヲ海岸

ノ狀勢ヨリ判斷スルニ廿九年當時ハ沿岸ハ自然ノ砂濱ニシテ波浪ノ上昇ニ便ナリシ狀態ナリシモ其後全區間ニ互リ埋立護岸ヲ築設シタル結果著シク波浪ヲ減殺シ被害程度ヲ緩和シタルハ疑ナキ事實ニシテ護岸ノ高キ場所程被害尠ク川口附近ノ護岸低キ個所又ハ部落中央部ニ於ケル小船揚場背面ニ於テ被害大ナルノ事實ハ良ク前記ノ理由ヲ證明シ居レリ故ニ民家ハ出來得ル限リ高地ニ移轉スルハ豫防上望マシキ事ナルモ漁業者ハ其生業ノ性質上高地移轉ヲ不便トスル場合モ生ズベキヲ以テ部落前面ハ可及的ニ一直線又ハ緩弓狀ニ護岸ヲ築設シ船揚場ノ如キ傾斜面ハ防波堤又ハ岬角ノ被蔭ニ移スヲ可トスベク護岸近キ個所ニハ一列ニ防浪建築ヲナシ背面家屋ヲ被護セシムルト共ニ一般民家モ基礎混泥土ニ土台ヲ緊結シ柱又ハ方杖、筋違等ヲ以テ出來得ル限リ健固ナラシムル必要アルベシ(本村漁業組合長所有製造場ハ土台ト基礎トヲ「ボールド」締メニシアリタル爲メ最前線ニ在リテ無事ナリシ事實アリ)而シテ護岸ノ築設ハ前述ノ通り災害復舊費ヲ以テ全沿岸ニ互ルト共ニ(延長七百九十間)大澤川口附近ヨリ金比羅山地先間ハ防潮林ノ計畫アルヲ以テ熊ノ崎ヨリノ防波堤築出ハ所謂「佛造リテ魂入ル、」ノ計畫ナランカ

附記

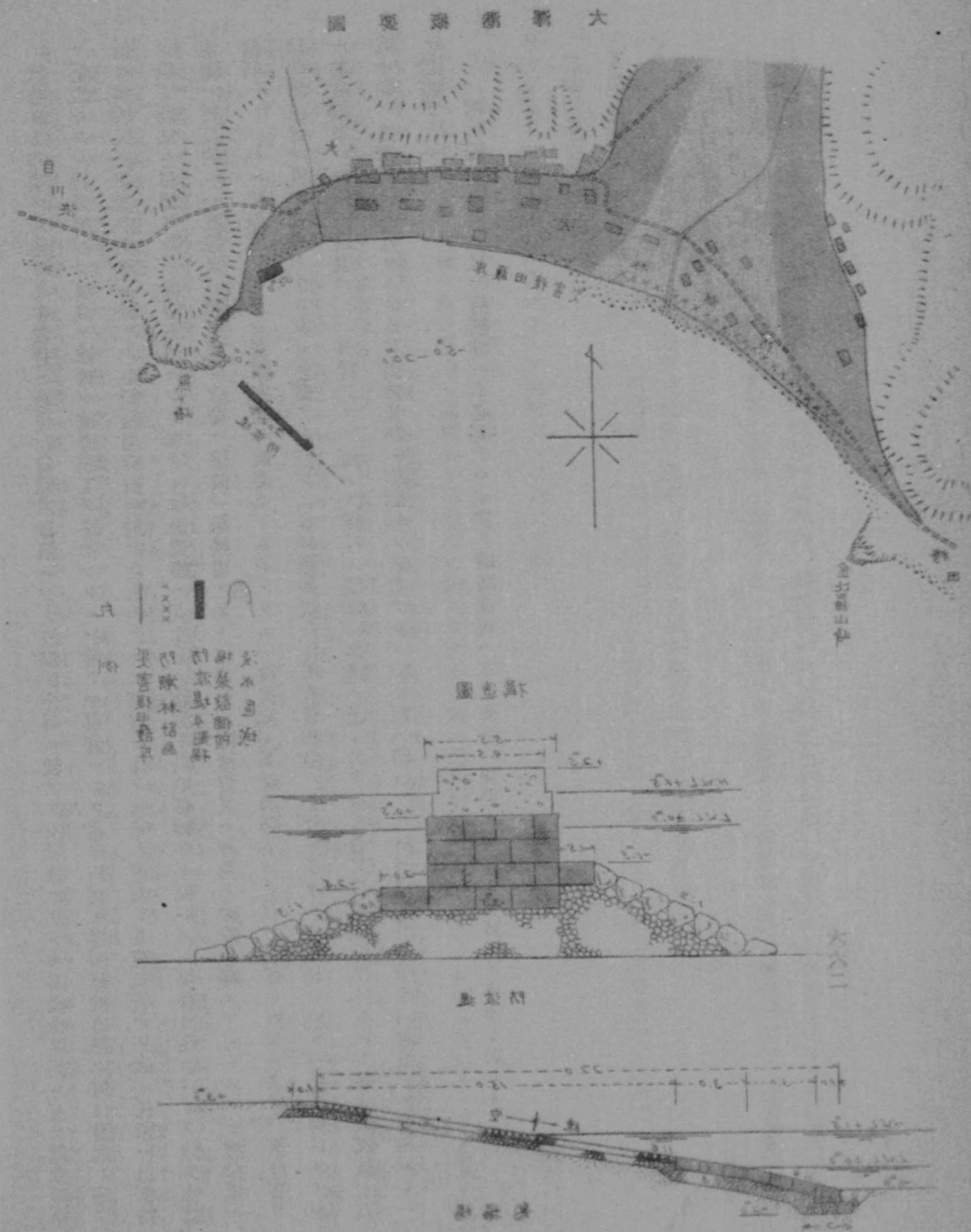
地元民ハ防潮林ハ不必要ナルモ熊ノ崎防波堤ハ本村死活ノ問題ナリトシ其實現ヲ要望シ居レリ

大澤港概要圖



大澤村大字大澤

大澤港の概要は、大澤村大字大澤にあり、目川に面して建設された。港域は約二六〇〇〇〇平方メートルに達し、一九二九年大東五七に完成した。この港は、大澤村の主要な輸出入の拠点として機能している。港域には、防波堤、船塢、防潮林などが整備されている。また、港域の周辺には、住宅地や商業地が広がる。大澤港の建設は、大澤村の発展に大きく貢献している。港域の整備は、大澤村の防衛と発展の両方を促進している。大澤港の概要は、大澤村の重要な特徴の一つである。



大澤村大字大澤

甲、基礎的調査事項

一、津浪襲來ノ方向及經路

(イ) 方向 南東及南方
 (ロ) 經路 南東ヨリノモノハ部落ノ中心南方ヨリノモノハ大澤川附近低地ヲ襲ヘルモノ、如シ

二、浸水區域竝ニ津浪ノ高さ

(イ) 浸水區域 大字大澤約二六〇、〇〇〇平米
 (ロ) 津浪ノ高さ 三米五内外(浸水高四米七五 廿九年六米五七)

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備、建築物等ガ津浪災害ニ及ボシタル影響竝ニ津浪當時ニ於ケル漁船ノ碇繋ノ位置方法等ト津浪トノ關係

津浪前ノ護岸ノ最高所七尺(沿岸中央部)最低二尺(沿岸兩端)ニシテ護岸ノ高さ低キ所程被害甚大ナリ棧橋ノ構造稠密ナル個所ハ被害少シ中央部ノ護岸ノ高所ニ建テタル建物流失ヲ免レタルアリ其ノ後方ノ被害從ツテ少シ

イ、位置 防波堤ノ被蔭
 ロ、面積 一、一〇〇平米 延長 五〇米 斜面積 一二米 勾配 干潮面以下四割 同以上六割
 ハ、構造概要 捨石基礎先端方塊傾斜面方塊及割石張り(満潮面以下練回以上空)
 ホ、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
船揚場	五〇	米	一一〇	六、〇〇〇	
袖護岸	四四	"	一五	六六〇	
雜費及監督費				三四〇	
計				七、〇〇〇	

(三) 共同販賣所、共同處理場、共同倉庫等

種別	イ、位置	ロ、敷地坪數	ハ、構造概要
共同販賣所(既設)	下閉伊郡大澤村第八地割	建敷物地 一三三坪五合	階下五七坪五合階上二七坪五合
共同倉庫(既設)	同上	建敷物地 四七坪五合	間口四間奥行五間 三室ニ分チテ鮮魚、干物及穀物倉庫トス
同共製造所	大澤村	建敷物地 六五坪	目下設計中

二、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
共同販賣所	一	棟	一、二二八	一、二二八	
共同倉庫	一	"	一、一七九	一、一七九	
共同製造所	一	"	五、五〇〇	五、五〇〇	

(四) 護岸 (災害復舊ニテ築設)

二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戶數調

區別	職業別	戶數	人口	計
區別	漁業	一四	一〇、一五	三、五五
	農業	三七	二、六	
	商業	三	三	
	工業	一	一	
	計		五五	

(二) 從來ノ住宅地並ニ移轉スベキ住宅地ノ適否

區別	イ、海岸ヨリノ距離	ロ、海面上ノ高さ	ハ、河川トノ關係	ニ、交通關係
從來ノ住宅地	接續シアリタリ	八尺	ナシ	交通便ナリ
移轉スベキ住宅地	最短二〇間(高所) 最長三〇〇間	三五尺	ナシ	縣村道ニ面セルニヨリ交通ノ便可ナリ

三陸地方海嘯災害豫防調査復命書(第三區)

復命書

三陸地方海嘯災害豫防調査ノ爲メ調査區域第三區ニ屬スル岩手縣下
閉伊郡重茂村ヨリ北方全縣久慈町ニ至ル十三ヶ町村ニ出張之力調査
ヲ遂ゲ候ニ付別冊及復命候也

昭和八年十一月二十五日

囑託 吉武正匡

雇 村木文勇

水産局長 戸田保忠殿

津 波 浸 水 高 位 表

昭和八年十一月二十五日

七、津波浸水一般平面圖

八、津波浸水一般平面圖

九、津波浸水一般平面圖

目 次

三陸地方津浪災害豫防調査報告(第三區)

目 次

一、緒 言

一、緒 言.....六五

二、町村別、町村勢、水産業ノ大勢、津浪被害統計表

三、部落別、部落大勢及津波被害一覽表.....六八

四、津波浸水高位表.....六九

五、津波災害豫防施設工事費調.....七〇

六、海岸部落地一般平面圖.....七一

七、調 査 書.....七二

- 一、緒言.....六三三
- 二、調査區域.....六三三
- 三、津波災害豫防調査報告(第三區).....六三三
- 四、津波災害豫防調査報告(第一區).....六三三
- 五、津波災害豫防調査報告(第二區).....六三三
- 六、津波災害豫防調査報告(第四區).....六三三
- 七、津波災害豫防調査報告(第五區).....六三三
- 八、津波災害豫防調査報告(第六區).....六三三
- 九、津波災害豫防調査報告(第七區).....六三三
- 十、津波災害豫防調査報告(第八區).....六三三
- 十一、津波災害豫防調査報告(第九區).....六三三
- 十二、津波災害豫防調査報告(第十區).....六三三
- 十三、津波災害豫防調査報告(第十一區).....六三三
- 十四、津波災害豫防調査報告(第十二區).....六三三
- 十五、津波災害豫防調査報告(第十三區).....六三三
- 十六、津波災害豫防調査報告(第十四區).....六三三
- 十七、津波災害豫防調査報告(第十五區).....六三三
- 十八、津波災害豫防調査報告(第十六區).....六三三
- 十九、津波災害豫防調査報告(第十七區).....六三三
- 二十、津波災害豫防調査報告(第十八區).....六三三
- 二十一、津波災害豫防調査報告(第十九區).....六三三
- 二十二、津波災害豫防調査報告(第二十區).....六三三
- 二十三、津波災害豫防調査報告(第二十一區).....六三三
- 二十四、津波災害豫防調査報告(第二十二區).....六三三
- 二十五、津波災害豫防調査報告(第二十三區).....六三三
- 二十六、津波災害豫防調査報告(第二十四區).....六三三
- 二十七、津波災害豫防調査報告(第二十五區).....六三三
- 二十八、津波災害豫防調査報告(第二十六區).....六三三
- 二十九、津波災害豫防調査報告(第二十七區).....六三三
- 三十、津波災害豫防調査報告(第二十八區).....六三三
- 三十一、津波災害豫防調査報告(第二十九區).....六三三
- 三十二、津波災害豫防調査報告(第三十區).....六三三
- 三十三、津波災害豫防調査報告(第三十一區).....六三三
- 三十四、津波災害豫防調査報告(第三十二區).....六三三
- 三十五、津波災害豫防調査報告(第三十三區).....六三三
- 三十六、津波災害豫防調査報告(第三十四區).....六三三
- 三十七、津波災害豫防調査報告(第三十五區).....六三三
- 三十八、津波災害豫防調査報告(第三十六區).....六三三
- 三十九、津波災害豫防調査報告(第三十七區).....六三三
- 四十、津波災害豫防調査報告(第三十八區).....六三三
- 四十一、津波災害豫防調査報告(第三十九區).....六三三
- 四十二、津波災害豫防調査報告(第四十區).....六三三
- 四十三、津波災害豫防調査報告(第四十一區).....六三三
- 四十四、津波災害豫防調査報告(第四十二區).....六三三
- 四十五、津波災害豫防調査報告(第四十三區).....六三三
- 四十六、津波災害豫防調査報告(第四十四區).....六三三
- 四十七、津波災害豫防調査報告(第四十五區).....六三三
- 四十八、津波災害豫防調査報告(第四十六區).....六三三
- 四十九、津波災害豫防調査報告(第四十七區).....六三三
- 五十、津波災害豫防調査報告(第四十八區).....六三三
- 五十一、津波災害豫防調査報告(第四十九區).....六三三
- 五十二、津波災害豫防調査報告(第五十區).....六三三
- 五十三、津波災害豫防調査報告(第五十一區).....六三三
- 五十四、津波災害豫防調査報告(第五十二區).....六三三
- 五十五、津波災害豫防調査報告(第五十三區).....六三三
- 五十六、津波災害豫防調査報告(第五十四區).....六三三
- 五十七、津波災害豫防調査報告(第五十五區).....六三三
- 五十八、津波災害豫防調査報告(第五十六區).....六三三
- 五十九、津波災害豫防調査報告(第五十七區).....六三三
- 六十、津波災害豫防調査報告(第五十八區).....六三三
- 六十一、津波災害豫防調査報告(第五十九區).....六三三
- 六十二、津波災害豫防調査報告(第六十區).....六三三
- 六十三、津波災害豫防調査報告(第六十一區).....六三三
- 六十四、津波災害豫防調査報告(第六十二區).....六三三
- 六十五、津波災害豫防調査報告(第六十三區).....六三三
- 六十六、津波災害豫防調査報告(第六十四區).....六三三
- 六十七、津波災害豫防調査報告(第六十五區).....六三三
- 六十八、津波災害豫防調査報告(第六十六區).....六三三
- 六十九、津波災害豫防調査報告(第六十七區).....六三三
- 七十、津波災害豫防調査報告(第六十八區).....六三三
- 七十一、津波災害豫防調査報告(第六十九區).....六三三
- 七十二、津波災害豫防調査報告(第七十區).....六三三
- 七十三、津波災害豫防調査報告(第七十一區).....六三三
- 七十四、津波災害豫防調査報告(第七十二區).....六三三
- 七十五、津波災害豫防調査報告(第七十三區).....六三三
- 七十六、津波災害豫防調査報告(第七十四區).....六三三
- 七十七、津波災害豫防調査報告(第七十五區).....六三三
- 七十八、津波災害豫防調査報告(第七十六區).....六三三
- 七十九、津波災害豫防調査報告(第七十七區).....六三三
- 八十、津波災害豫防調査報告(第七十八區).....六三三
- 八十一、津波災害豫防調査報告(第七十九區).....六三三
- 八十二、津波災害豫防調査報告(第八十區).....六三三
- 八十三、津波災害豫防調査報告(第八十一區).....六三三
- 八十四、津波災害豫防調査報告(第八十二區).....六三三
- 八十五、津波災害豫防調査報告(第八十三區).....六三三
- 八十六、津波災害豫防調査報告(第八十四區).....六三三
- 八十七、津波災害豫防調査報告(第八十五區).....六三三
- 八十八、津波災害豫防調査報告(第八十六區).....六三三
- 八十九、津波災害豫防調査報告(第八十七區).....六三三
- 九十、津波災害豫防調査報告(第八十八區).....六三三
- 九十一、津波災害豫防調査報告(第八十九區).....六三三
- 九十二、津波災害豫防調査報告(第九十區).....六三三
- 九十三、津波災害豫防調査報告(第九十一區).....六三三
- 九十四、津波災害豫防調査報告(第九十二區).....六三三
- 九十五、津波災害豫防調査報告(第九十三區).....六三三
- 九十六、津波災害豫防調査報告(第九十四區).....六三三
- 九十七、津波災害豫防調査報告(第九十五區).....六三三
- 九十八、津波災害豫防調査報告(第九十六區).....六三三
- 九十九、津波災害豫防調査報告(第九十七區).....六三三
- 一百、津波災害豫防調査報告(第九十八區).....六三三
- 一百零一、津波災害豫防調査報告(第九十九區).....六三三
- 一百零二、津波災害豫防調査報告(第一百區).....六三三

目次

三陸地方津波災害豫防調査報告(第三區)

一、緒言

本報告ハ昭和八年三月三日午前二時三十分頃岩手縣上閉伊郡釜石町沖ヲ震源地トセル強震ノ結果誘發セラレタル津波ニヨリ
 被害ヲ蒙リタル沿岸地方、宮城縣牡鹿郡鮎川村ヨリ青森縣上北郡三澤村ニ至ル五十七個町村ニ付水産關係ヲ主眼トシテ調査
 フナセル三陸地方津波災害豫防調査報告ノ内調査區域第三區ニ屬スル岩手縣下閉伊郡重茂村ヨリ同縣九戸郡久慈町ニ至ル
 十三個町村ニ對スル調査報告ナリ

二、調査區域

本報告ハ昭和八年三月三日午前二時三十分頃岩手縣上閉伊郡釜石町沖ヲ震源地トセル強震ノ結果誘發セラレタル津波ニヨリ
 被害ヲ蒙リタル沿岸地方、宮城縣牡鹿郡鮎川村ヨリ青森縣上北郡三澤村ニ至ル五十七個町村ニ付水産關係ヲ主眼トシテ調査
 フナセル三陸地方津波災害豫防調査報告ノ内調査區域第三區ニ屬スル岩手縣下閉伊郡重茂村ヨリ同縣九戸郡久慈町ニ至ル
 十三個町村ニ對スル調査報告ナリ

三、町村勢及水産業ノ大勢

本調査區域ニ於ケル昭和六年現在ノ町村勢及水産業ノ大勢ヲ別記統計表ヨリ觀察スルニ總戸數一萬五百七戸、總人口六萬六
 百十五人、總生産額六百四十三萬七千四百四十五圓ヲ算スルニ對シ水産業戸數三千三百九十二戸(副業ヲ含ム)水産物價額
 百九十五萬六千九百九十九圓、總漁船數四千壹百參隻ノ多數ヲ算シ戸數ニ於テ總戸數ノ約三割生産額ニ於テ總生産額ノ約三割ヲ
 占メ水産業ノ消長ハ直ニ各町村ノ盛衰ニ影響スルノ現狀ニ在リ
 次ニ水産業狀態ノ概要ヲ左ニ記述ス
 本區ノ漁業種類ヲ大別スレバ

- (一) 遠洋漁業
 - (二) 沿岸漁業中定置漁業
 - (三) 定置漁業外沿岸漁業
- 右種類別ニヨル昭和六年度下閉伊郡(全町村)漁獲高ヲ列舉スレバ左表ノ如シ(下閉伊郡水産會調査ニ依ル)

種類別	割合	總額價	内主要ナル漁獲物及價格	漁業種別
(一) 遠洋漁業	0.10	約 300,000	鯷 二五,九七 鰹 九,九七 鮪 三,四九	機船延繩網
(二) 沿岸漁業中定置漁業	0.37	六五,五七	鮪 二四〇,八七 鮭 二五,四四 鱈 一〇,三九	大曳角網
(三) 定置漁業外沿岸漁業	0.53	七〇,五七	海苔 二五,四六 鰻 一八四,〇六 鮑 三,六六	延繩網 地曳角網 採延繩捕等

右表ヨリミテモ漁獲高ノ割合(第三)ノ漁業(第二)漁業(第一)漁業ノ順位トナル
 遠洋漁業ハ宮古町ニ於テ専ラ經營セラレ他町村ニ於テハ不振ノ狀況ニ在リ是本漁業ハ合資的經營ト優漁船トヲ要シ收支ノ採
 算上實施困難ナルニ因ルト云フ而シテ一方本區沿岸ハ好漁場ニ富ムヲ以テ漁村ハ主トシテ沿岸漁業ヲ營ミ就中定置漁業權數
 ハ下閉伊郡(重茂村以北普代村九ヶ町村)計百三十三ヲ算ス(第三圖)
 亦磯付漁業(鮑等)貝類海藻類採捕)ハ一般的ニ普及シテ營マレ在來小漁船ヲ使用スル小漁業者多數ナリ(副業者モ多シ)

本區九戸郡漁村ニツキテモ略同様ノ狀態ナリ
 前記各種漁業ニヨル漁獲物ノ内之ヲ鮮魚(又ハ冷凍物)トシテ各地方ニ輸出スルニハ宮古、久慈、普代村堀内、或ハ遠ク釜石、八戸迄運搬シテ販賣又ハ冷蔵スルヲ常トス、即一大豐漁又ハ價格暴落ノ節ハ上記各地ノ冷蔵庫ニ保管シテ需給ノ緩和、漁貨ノ安定ヲ期ス、從而各部落ニハ其地ニ於テ製造又ハ加工スヘキ魚貨ノミヲ持チ歸ル狀況ナリ
 各部落ニ於ケル水産製造物ノ主ナルモノハ魚油、鰹搾粕、鰹、干鮑、若布等ナリ
 各部落海岸ニハ右ニ關スル干場、製造場、共同倉庫等ニ當ル漁業用地ヲ必要トスル所以ニシテ各地共之ヲ所有ス(漁業組合所有地)
 漁船總數ハ四千壹百參隻(昭和六年度現在)ナリ
 内發動機船數貳百拾七隻ヲ算シタルモ内約半數ハ宮古町ニ屬シ其他ノ部落ハ平均數隻ヲ所有スルニ過ギス
 一方、在來船(無動力ノモノ)ハ參千八百八拾六隻ノ多數ヲ算シタリ、就中、長サ二間乃至三間ノ小漁船最モ多數(全隻數ノ約七割ト推定)ヲ占メ、長サ四間乃至五間ノ傳馬船之ニ次グ
 即右小漁船ヲ以テ沿岸漁業ニ從事スル漁業者多シ
 本區漁業ニ關係アル本縣下水産物冷蔵庫ハ釜石町ニ貳ヶ所、宮古町ニ壹ヶ所、普代村堀内ニ壹ヶ所、山田町ニ壹ヶ所所在リ其收容量等ニ關スル精細ナル調査ハ別紙冷蔵庫一覽表ニ記述ス
 三、津浪災害ノ概況
 昭和八年三月三日午前二時半地震ノ後、約三十分ヲ經テ數回ニ互リ襲來セル大津浪ニヨル被害ノ概況ヲ見ルニ(別紙統計表參照)本區被害部落數ハ六拾部落ノ多キニ達シ就中
 (一) 人ノ被害ハ死者(行方不明者共)壹千五百四十六人、負傷者二百七十九人、合計壹千八百二十五人
 (二) 家屋建物ノ被害ハ住家壹千貳百三棟、非住家(納屋等)壹千四十八棟、合計貳千貳百五拾壹棟

(三) 漁船ノ被害ハ動力付船壹百六十三隻、在來船參千四百十六隻合計參千五百七十九隻
 (四) 以上ノ内人命ヲ除キタル物質的總損害見積額ハ約五百九十貳萬ニ達スル大被害ヲ呈セリ
 翻テ過去ニ於ケル三陸地方津浪ノ概要ヲ調ブルニ紀元千五百二十五年記録セラレテ以來今回ノ津浪ニ至ル迄此間襲來セル回數實ニ拾壹回ニ及ビ特ニ前回明治二十九年五月五日ノモノハ今回ノモノヨリ其勢猛烈ニシテ其被害ノ程度モ一層甚ダシカリ
 シト謂フ(別紙各地平面圖ニ示セル浸水線參照)

而シテ平均三十年目ニハ襲來スル割合トナレ共、其内期間短キモノハ五ケ年、十二ケ年及十五ケ年ノ記録アリト謂フ
 右ノ如キ歴史ニ徴シテモ將來ニ於テソノ襲來ヲ豫期シテ之ガ災害豫防對策ヲ講ゼサルベカラズ

四、復舊ニ關スル現況
 右被害ニ對シテ縣ハ國及地元ト協力シテ各般ノ應急對策ヲ講ジツ、アリ、就中水産方面ニ關シテハ水産業復舊費及貸付金ヲ調達シテ

(一) 漁船復舊——無動力漁船復舊、動力付漁船復舊、同上就業資金

(二) 漁具復舊——小漁具、曳網類、旋網類、延繩類、刺網類、定置漁具(大、小)ノ復舊

(三) 共同施設復舊——共同販賣所、共同製造場、共同倉庫ノ復舊ニ努力シテ略原狀ニ復活セシメントシ是ニヨリ漁民ハ生業ノ資料ヲ得テ漸次復活ノ途上ニ在リト雖モ漁村ノ全般の疲弊ハ甚大ナルモノアリ

右復舊ニ關スル岩手縣助成金及復舊數量確定表ニヨレバ右共同施設物ニ付キテハ相當復舊スルモノナレバ本調査ニ於テハ別段ニ復舊費ヲ計上セズ

五、沿岸ノ地勢並ニ交通ノ概要
 本地區沿岸地帯ノ一般的地勢ヲ見ルニ概ネ低キ山丘起伏重疊シ斷崖海ニ接スル高地帯ニシテ其間所々ニ海ニ面スル僅カナル山間ノ低地(谷間)ニ部落ヲ形成ス、低地ノ中央ニハ陸ノ奥地ヨリ小河川ノ流ルル箇所多シ

各部落沿岸ノ形狀、廣狹ハ區々ナレ共其海岸線ハ概シテ灣入少ナク、外洋ニ向ツテ開放シ、天然ニ港灣ヲナセルモノハ宮古灣、田老灣等數個所ニ過ギズ

地勢ハ前述ノ如キ山丘地帯ナルヲ以テ陸上沿岸交通路トシテ各部落ヲ連絡スル縣道(枝道ハ村道)存在スレ共概シテ幅員狭少ニシテ山路多ク僅ニ人馬ヲ通ズルノミナリ但シ宮古、津輕石間、野田、堀内(普代村)間ハ已ニ道路改修了リ自動車交通ノ便アリ次ニ宮古、田老間及小本、茂師間ハ目下改修工事中ニシテ近キ將來ニ於テ自動車交通ヲ實現シ得ベシト雖モ其他ノ路線ハ未ダ改修ノ計畫ナシ

一方沿岸地帯ヨリ陸奥地ニ向フ自動車交通道路ハ宮古、盛岡線、小木、岩泉、盛岡線、野田、久慈ノ三線在レ共、コノ三線ヲ連絡スル沿岸線ハ前述ノ通り不備ナルヲ以テ完全ナル交通系統成立セズ勢、一般物貨漁貨等ノ運輸ハ海路ニ依ルノ外ハ無キ状態ナリ

海上交通機關トシテハ小廻小型機船ノ便アレ共定期航海ハ一日一回位ニシテ他ハ不定期ナリ從而漁村ニ於テハ漁船ヲ以テ交通スルモノ多シ

本區ノ地勢ハ前述ノ如ク地ノ利ニ恵グマレズ從而交通不便ナル爲一般文化並ニ産業進歩ノ程度ハ本縣南部沿岸地方(第二區)ニ劣レリ

- 六、港灣土木施設ノ現況
- (一) 在來商港、漁港、船溜
 - 宮古 港(商港、漁港)
 - 磯鶴村高濱(船溜)
 - (二) 工事中ノ商港、漁港、船溜
 - 宮古 港(商港改修)
 - 津輕石村堀内(船溜)
 - 内務省直營 農業土木事業

小本村、茂師（漁港、船溜） 同 右
 同 小本（小本川、河口港） 縣 營
 野田村野田（船溜） 農業土木事業
 長内村二子（同） 同 右
 久 慈 港（商港） 內務省補助縣直營
 重茂村 里（船溜） 縣 營

(三) 船 揚 場

各地ニ散在ス
 從來ハ宮古港以外港灣土木ニ關スル施設少ナカリシヲ以テ荒天時時化ニ際會シテハ動力付漁船ハ多ク宮古港ニ避難シ然ラザ
 ルモノハ其所在ニ應ジ便宜山田灣、釜石港、八木港等へ避難ス

一方在來漁船ハ各部落海岸陸上ニ曳揚ゲ其安全ヲ保ツ狀態ナリ、然ルニ近年時局匡救土木事業ノ普及ニヨリ前記ノ如キ諸施
 設ハ目下工事中ニアリ

一、二年後ニ於テ全部竣工ノ曉ニハ漁船、商船ノ避難及寄港ヲ便利ニシ、漁業並ニ一般産業ノ進展ニ資スル處大ナルベシ

七、津浪災害豫防施設計畫ニ關スル結論

本調査ニ於テ各部落ニ對シ災害豫防施設ヲ計畫スルニ際シテハ先以テ以上各項ニ涉リテ記述セル一般の調査諸事項ヲ參酌シ
 次ニ各部落ノ村勢、漁業狀態、被害狀況、地形等ヲ考慮シテ適當ニ施設工作物ヲ配置計畫セントス
 而シテ是等施設ノ第一目的ハ勿論災害豫防ニ存シ其施設ニヨリ津浪ノ威力ヲ減殺シテ被害ヲ輕減スルニアリト雖モ平時ニ於
 テモ可成利用ノ價値アルモノトシ多少共漁業又ハ村勢ノ進展ニ資スルモノタルヲ期スルモノナリ
 然レ共一方國家財政上ノ見地ヨリシテ經濟的ニ實施可能ノモノノミニ止メ各部落ノ諸狀勢ニ對應シテ差當リ急施ヲ要スルモ

ノヲ選ミ之ヲ計畫シ其經費ヲ計上セリ

之ヲ具體的ニ説明スレバ第一ニ地形ヲ利用シ防波堤ヲ海中ニ築設シテ波力ヲ減殺シ平時ハ其内部ヲ船溜トナシ第二ニ陸上適
 地ニ防浪堤（又ハ護岸）ヲ築キテ住宅地ヲ防護セントス

即第一、第二兩施設ヲ併用夫々適地ニ配置スルカ或ハ其一ツヲ選ミ採用シタリ

尙住家ノ被害大ナル低地部落ニ對シテハ住家ノ高地移轉ヲ良策トスルモ部落附近ニ適當ナル高地ヲ得難キ場合ハ第二施設ヲ
 築設セントス（但シ住宅適地ニ關シテハ縣ニ於テ調査計畫中ニ付本調査ニハ別段ニ計畫セズ）

次ニ漁船曳揚ニ困難スル個所ニハ船揚場ヲ計畫ス

右ノ如キ方針ニ基キ各部落ニ對シ別紙ノ通り豫防施設ヲ配置計畫シ其經費概算ヲ計上シタリ
 之ヲ工種別ニ統計スレバ左記ノ如シ

一、防 波 堤	九ヶ所	平時ハ船溜ニ利用（内三ヶ所ハ船揚場附屬）
二、防 浪 堤	十二ヶ所	同 海岸道路又ハ干場ニ利用
三、護 岸	七ヶ所	同（又ハ作業場）護岸ニ利用
四、船 揚 場	七ヶ所	

計 三十五ヶ所（施設部落二十二）

尙各別工事費調ハ別表ノ通りナリ

右ニヨリ船溜六ヶ所ヲ新設スルコトトナリ前記別途施工中及既設ノ漁港、商港、船溜ト合計スレバ十五ヶ所トナリ漁業ノ發
 展ニ資スル處大ナルベシ

其他警報裝置、避難道路等ニ關シテハ內務省所管ニ屬シ別途調査計畫中ニ付本調査ニハ計畫セズ

岩手縣水產物冷蔵庫一覽表

所有者名	所在地	建物概要	収容量	冷凍機械種類	冷蔵物種類	附帶製氷設備噸數
盛岡電氣工業株式會社	盛岡市紺屋町廿七	木造瓦屋根 冷蔵二階機械室平屋 延坪數 七五・五〇	七〇・〇〇	アンモニヤ單働堅型 一四・五〇	冷凍魚類 (小鯛、鱈、鮭、鱒)	製氷 一〇・〇
三陸水産冷蔵株式會社	上閉伊郡釜石町只越	鐵筋コンクリート陸屋根、一階建 延坪 三八・五	八四・〇〇	アンモニヤ單働堅型 一〇・〇〇	冷凍魚 (ホ、鮪、イカ、トン)	製氷 三〇・〇
三陸水産冷蔵株式會社	上閉伊郡釜石町仲町	練瓦造屋根 二階建 延坪 二六・〇〇	一九四・〇〇	アンモニヤ單働堅型 三・七	冷凍魚 (鮪、イカ、メカキ、チトンボ、鮪)	—
三陸水産冷蔵株式會社	下閉伊郡宮古町嶽ヶ崎	練瓦造瓦屋根 三階建 延坪 三六・九六	三七・〇〇	アンモニヤ單働堅型 六・〇〇	冷凍魚及鮮魚	—
熊谷善六	下閉伊郡普代村	木造トタン屋根 一階建 延坪 一四・〇〇	一五・二五	アンモニヤ單働堅型 三四・六〇	冷凍魚 (鮪、トンボ、鮪、イカ、カサキ)	—
山田灣製氷株式會社	下閉伊郡山田町山田	木造 平家 延坪 五七・〇〇	七四・〇〇	アンモニヤ單働堅型 一九・〇〇	魚類	製氷 七・五

二、漁船ノ被害ハ流氷及破損セル

被害部	被害部數	備考
一	—	二、漁船ノ被害ハ流氷及破損セル 數ヲ合計ス
二	—	
三	—	
四	—	
五	—	
六	—	
七	—	
八	—	
九	—	
十	—	

二、町村別、町村勢、水産業ノ大勢、津浪被害

計	町村名											區別			
	久慈町	長内村	字部村	野田村	普代村	田野畑村	小本村	田老村	崎山村	宮古町	磯鶴村	津輕石村	重茂村	總戸數	町村勢
10,001	1,268	680	468	610	511	714	468	630	128	3,411	260	577	356	總戸數	町
30,000	7,736	4,077	3,062	3,822	2,860	4,333	2,577	4,923	1,297	17,622	2,722	3,120	2,321	總人口	村
60,000	11,011,311	9,943	3,911,161	1,130,181	1,061,811	2,241,161	1,111,011	9,021,911	8,511,711	11,101,011	3,341,161	2,321,011	2,321,011	總生産額	勢
1,000,000	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	戸水産業	水産業ノ大勢
0.10	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	ル=總戸數	水産業ノ大勢
0.10	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	無動力	水産業ノ大勢
1,000,000	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	物總生産額	水産業ノ大勢
0.10	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	1,366,666	割=總生産額	水産業ノ大勢

津浪被害ノ概要統計表 (第二區) 昭和六年度町村勢ニヨル

勢	額産 割ニ對スル 合	津浪被害ノ概要				漁船ノ被害		損害見積額	被害部	備考
		流失ノ被害	家屋ノ被害	人員ノ被害	動力付在來船ノ被害	動力付在來船ノ被害	被害者ノ計			
△0.0	0.0	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.1	0.1	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.2	0.2	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.3	0.3	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.4	0.4	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.5	0.5	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.6	0.6	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.7	0.7	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.8	0.8	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△0.9	0.9	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.0	1.0	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.1	1.1	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.2	1.2	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.3	1.3	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.4	1.4	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.5	1.5	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.6	1.6	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.7	1.7	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.8	1.8	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△1.9	1.9	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.0	2.0	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.1	2.1	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.2	2.2	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.3	2.3	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.4	2.4	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.5	2.5	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.6	2.6	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.7	2.7	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.8	2.8	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△2.9	2.9	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.0	3.0	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.1	3.1	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.2	3.2	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.3	3.3	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.4	3.4	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.5	3.5	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.6	3.6	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.7	3.7	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.8	3.8	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△3.9	3.9	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.0	4.0	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.1	4.1	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.2	4.2	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.3	4.3	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.4	4.4	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.5	4.5	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.6	4.6	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.7	4.7	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.8	4.8	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△4.9	4.9	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		
△5.0	5.0	非住家(10) 住家(5)	非住家(1) 住家(1)	1	1	1	不明	10		

二、漁船ノ被害ハ流失及破損セル
數ヲ合計ス

町村名	部落名	戸數	漁獲高	漁船數	被害損害 見積價格	死亡者數	住流 家屋失	漁流 船數失	備考
重茂村	千石濱	三〇	二四、三六	二七	二四七、五〇四	七	一	一九	
"	里田	二七		三二		"	二七	三	
"	(本村)	二六		三二		"	二	五	
音部	音部	二五	不詳	三三	不詳	三	二	六	
津輕石村	赤前	二五		三三		三	一	七	
磯鶏村	磯鶏	二五		三三		三	一	七	
"	高濱	二五		三三		三	一	七	
"	金濱	二五		三三		三	一	七	
"	磯鶏	二五		三三		三	一	七	
宮古町	宮古	三二〇	四五、三三	四〇	約一、〇〇〇〇〇	三	一	二二	漁獲高ハ共同販賣所 ノミノ分 個人販賣ハ包含セズ
"	鍛ヶ崎	一、二〇	七、三三	四〇	不詳	二	一	一	
崎山村	女遊部 (宿)	一七	八、七三	一七	三、三三七	一	一	一	

三、岩手縣
第三區
部落別
部落大勢及津浪被害一覽表

津浪被害一覽表 (續三)

町村名	部落名	戸數	漁獲高	漁船數	被害損害 見積價格	死亡者數	住流 家屋失	漁流 船數失	備考
重茂村	千石濱	三〇	二四、三六	二七	二四七、五〇四	七	一	一九	
"	里田	二七		三二		"	二七	三	
"	(本村)	二六		三二		"	二	五	
音部	音部	二五	不詳	三三	不詳	三	二	六	
津輕石村	赤前	二五		三三		三	一	七	
磯鶏村	磯鶏	二五		三三		三	一	七	
"	高濱	二五		三三		三	一	七	
"	金濱	二五		三三		三	一	七	
"	磯鶏	二五		三三		三	一	七	
宮古町	宮古	三二〇	四五、三三	四〇	約一、〇〇〇〇〇	三	一	二二	漁獲高ハ共同販賣所 ノミノ分 個人販賣ハ包含セズ
"	鍛ヶ崎	一、二〇	七、三三	四〇	不詳	二	一	一	
崎山村	女遊部 (宿)	一七	八、七三	一七	三、三三七	一	一	一	

備考	合計	久慈町	"	長内村	"	宇部村	"
一、戸数ハ罹災前(八年度)現在数ヲ示ス	三	湊	二	大	小	久	野
二、漁船数ハ復舊決定数ヲ示ス	三		子	尻	袖	喜	田
	七、九三	一、六九	二〇	三	五	二五	五三
	一、六二、六六	四〇、四九	一八、八〇	一七、七六	三七、七二	三三、六六	
	" "	" "	" "	" "	" "	" "	" "
	三、七三	五、二	四、一	四、二	九、六	一四、五	三三
	六、二、九七	五、八七	一〇、〇八			不詳	
	一、四一	一	八		六	一	
	八、七	一	一		三		
	三、二七	六	三				

町村名	部落名	戸数	漁獲高	漁船数	被害額	死亡者数	住家屋失	漁船失	備考
田老村	田老部	七二	一五、九三	六〇	三、九八、七五	九二	四八	九九	
小本村	小本	三〇	七、三二	二九	二、七、六二	一五	八	三〇	
茂師	茂師	五九	一三、六八	三三		一八	五	二六	
島ノ越	島ノ越	九五	一四、一四	二七	三、四、八二	五九	七	二〇	
平井賀	平井賀	五九		二二		九	三		
羅賀	羅賀	五〇		二二		二	三		
普代村	太田名部	五八	六、九、五四	三六	五、九七、三七	二元	三		普代濱漁業組合漁船数
"	"	三三		二二		九	四		
野田村	玉川	六二	一七、九三	九	一、八、六八	七	三		
"	"	六		七		八	三		

四、津浪浸水高位表（「ハンドレベル」ニヨリ大沼縣技手ノ測量ニヨル）

郡	町	村	字	干潮位上	備考
閉	伊	宮	磯	四・〇	
津	重	石	高	五・〇	
崎	音	宿	赤	五・〇	
老	千	里	宿	五・六	
田	石	千	宿	五・七	
小	田	音	宿	七・四	
田	重	音	宿	九・三	
田	重	音	宿	二・一	
田	重	音	宿	九・七	
田	重	音	宿	一四・五	
田	重	音	宿	一六・八	
田	重	音	宿	一六・七	
田	重	音	宿	一四・二	
田	重	音	宿	二・八	
田	重	音	宿	二・八	
田	重	音	宿	二・八	
田	重	音	宿	一四・八	
田	重	音	宿	一六・七	
田	重	音	宿	一六・七	

五、岩手縣下閉伊郡海部・落（二十二部落ニ施設ス）津浪災害豫防施設工事費調（第三區十三個町村）

防波堤	防浪堤	防岸	護岸	此工事費
九ヶ所	十二ヶ所	七ヶ所		四〇一、五〇〇圓
				九〇九、〇〇〇
				一六二、〇〇〇
				三・八
				三・八
				八・〇
				八・〇
				六・三
				五・八
				一〇・九
				三・三

岩手縣第三區津浪災害海岸部落一般平面圖

例 ○ 視察箇所 () 部落地名
凡 ⊙ 調査箇所





一ノ分萬十二

七、調査書

岩手縣下閉伊郡

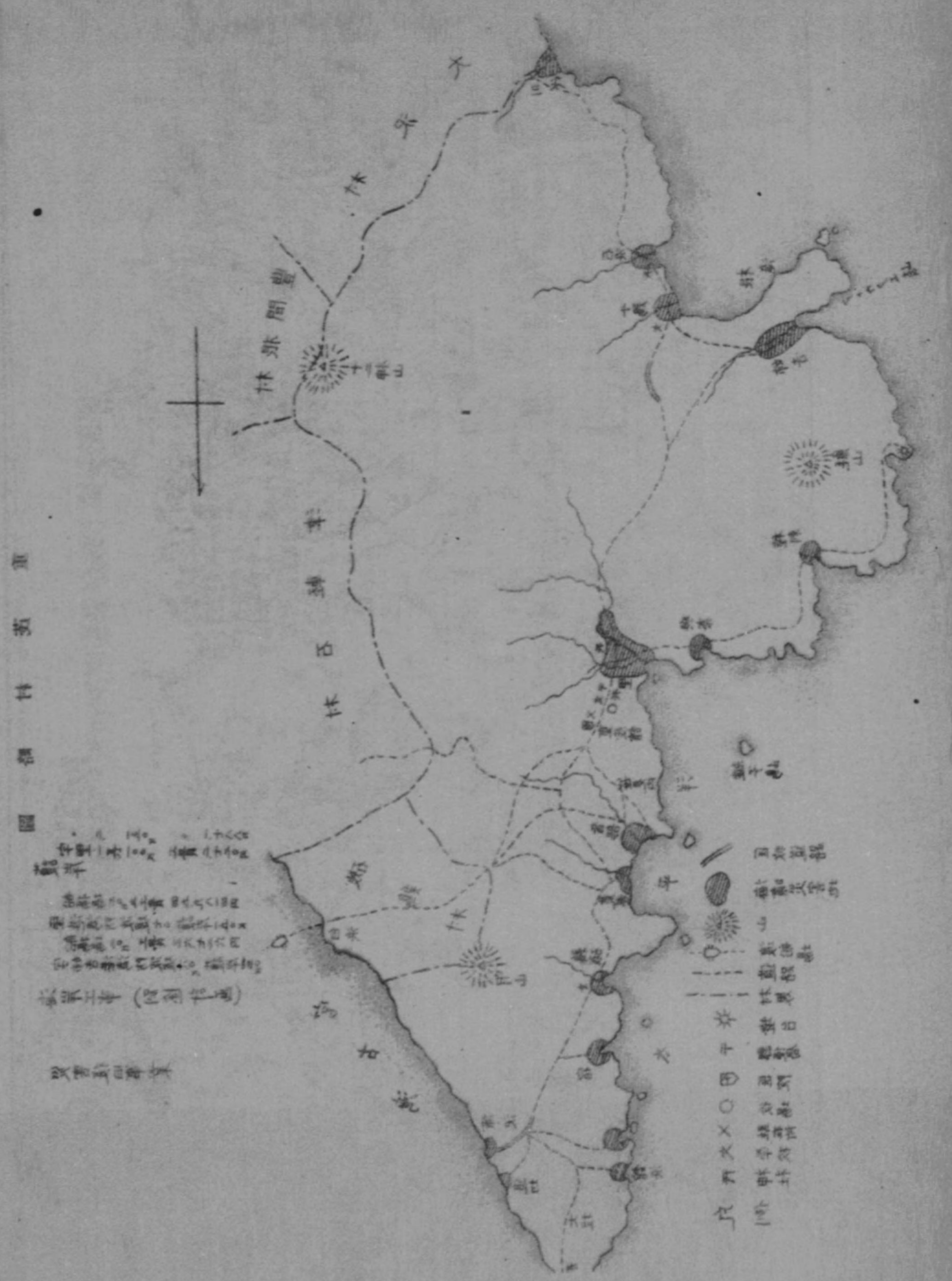
重茂村大字石濱

調査要領

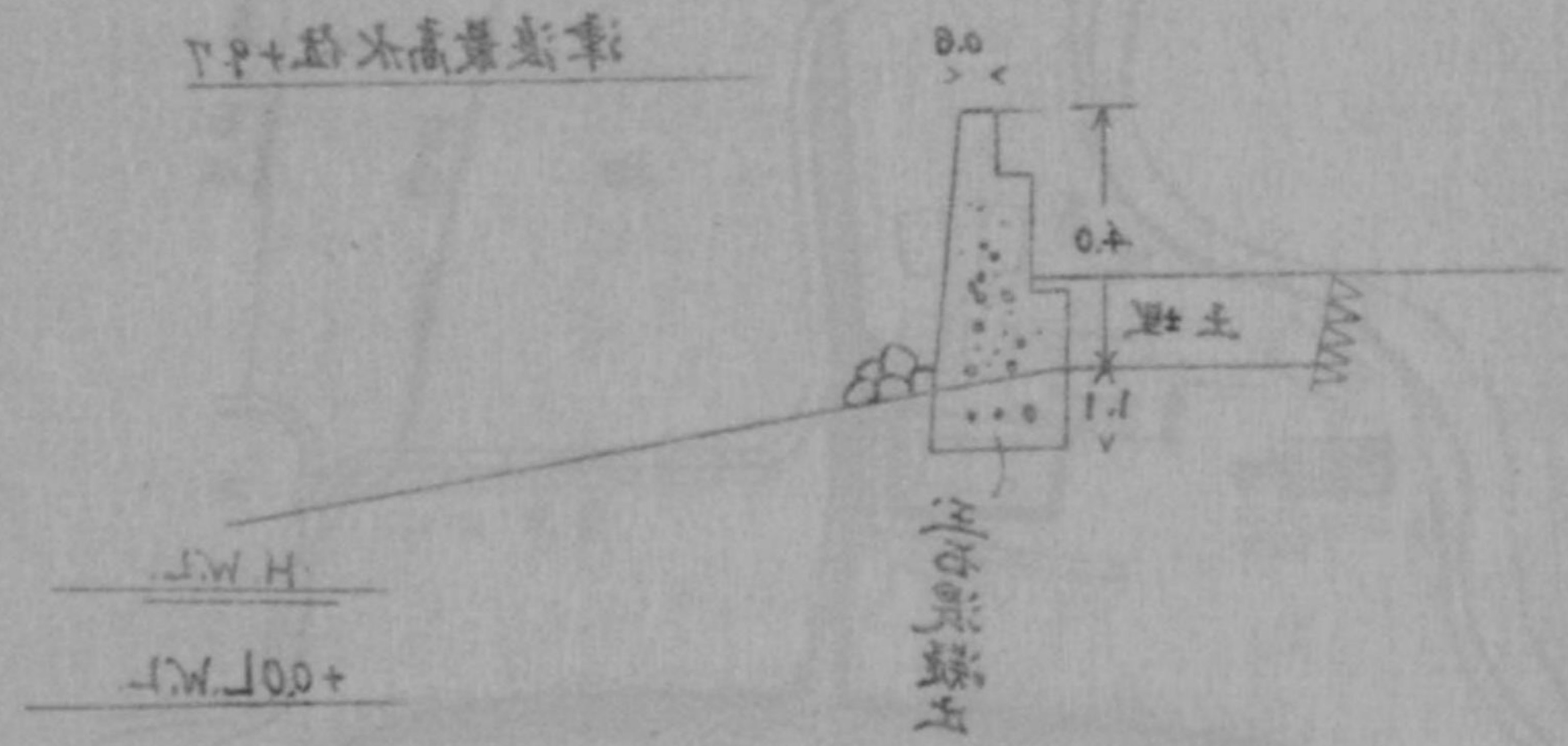
本調査ニテ視察セル重茂村石濱以下四部落ハ皆同様ニ山間ノU字型低地ニテ中央ニ小川流レ川ノ兩側ハ數段ニ稍高キ住宅地ヲ形成ス

流失住家ハ最低地ニアリシ一棟ニシテ被害ノ輕微ナリシハ住宅地周圍ニ在來ノ護岸アリシ爲メ波力ヲ輕減シタルモノト認定シ得

依リテ本調査ニ於テハ道路添ヒニ延長一三〇米、共同用地側ニ長四〇米合計長一七〇米ノ護岸(背面埋立共)ヲ計畫シ一層住宅地ヲ安全ニ防護セントス



重慶市林業局



重慶市林業局 調查報告

調查要項

住家ハ一般ニ高地ニアリシモ、地形U型ヲナスヲ以テ津浪ハ激衝シ海岸ニ近キ二棟ヲ流失シ、死者十人ニ及ビタリ
 本災害ニ鑑ミ、高地ノ端部ニ防浪堤長一〇〇米ヲ背面住宅地竝ニ漁業共同施設用地ヲ防護ス

甲、基礎的調查事項

一、津浪襲來ノ方向及經路

イ、方向 北東微北

ロ、經路 津浪源地ヨリノ浪ハ根瀧岬ニヨリ方向ヲ轉ジ反リ浪トナツテ本部落ニ襲來セリ

二、浸水區域及津浪ノ高さ

イ、浸水區域 圖示ス

ロ、津浪ノ高サ 一二・一米 (千湖面上)

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響竝ニ漁船ノ定繋ノ位置

漁船ハ海中ニ定繋セルモノナク船揚場ニアリシモノ殆ンド全部流失セリ現在ノ船揚場ハ附近海岸ノ谷間ニ設置セリ
夫等漁船ハ流失ノ際人家ニハ害ヲ及ボサズ

四、各部落ニ於ケル主要漁業

種 類 柔魚釣、鮑採捕、藻類採捕、鰯網、雜小延長、定置漁業
漁 船 數 無動力船、二十七隻、動力付ナシ
漁獲高ニ付キテハ前記石濱部落ト同様

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、豫防施設ニ關スル事項

(一) 防 浪 堤
イ、位 置 平面圖ニ示ス

二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戸數調(千鷄)

區別	職業別	漁業	農業	商業	工業	計
戸數	兼	一三三	兼	七	一	三〇
人口	兼	二二三	兼	七	一	二一四

(昭和八年罹災前現在)

種 別	數 量	單 位	單 價	金 額	備 考
防 浪 堤	延長 一〇〇	米	一四〇〇	一四、〇〇〇	
用 地	幅 八〇〇	平米	一五	一、二〇〇	
雜 費	長 一〇〇	米	一五	一、八〇〇	
計				一七、〇〇〇	

ロ、延 長 一〇〇米 天端幅 三米 總高 七米
ハ、構造概要 前面及天端、栗石混凝土造、背部土砂堤
ニ、計畫説明 本施設ニ依リ後方ニ安全ナル住宅及共同施設用地ヲ得 舟揚場ハ既設ノモノアリ
ホ、必要ナル經費概算

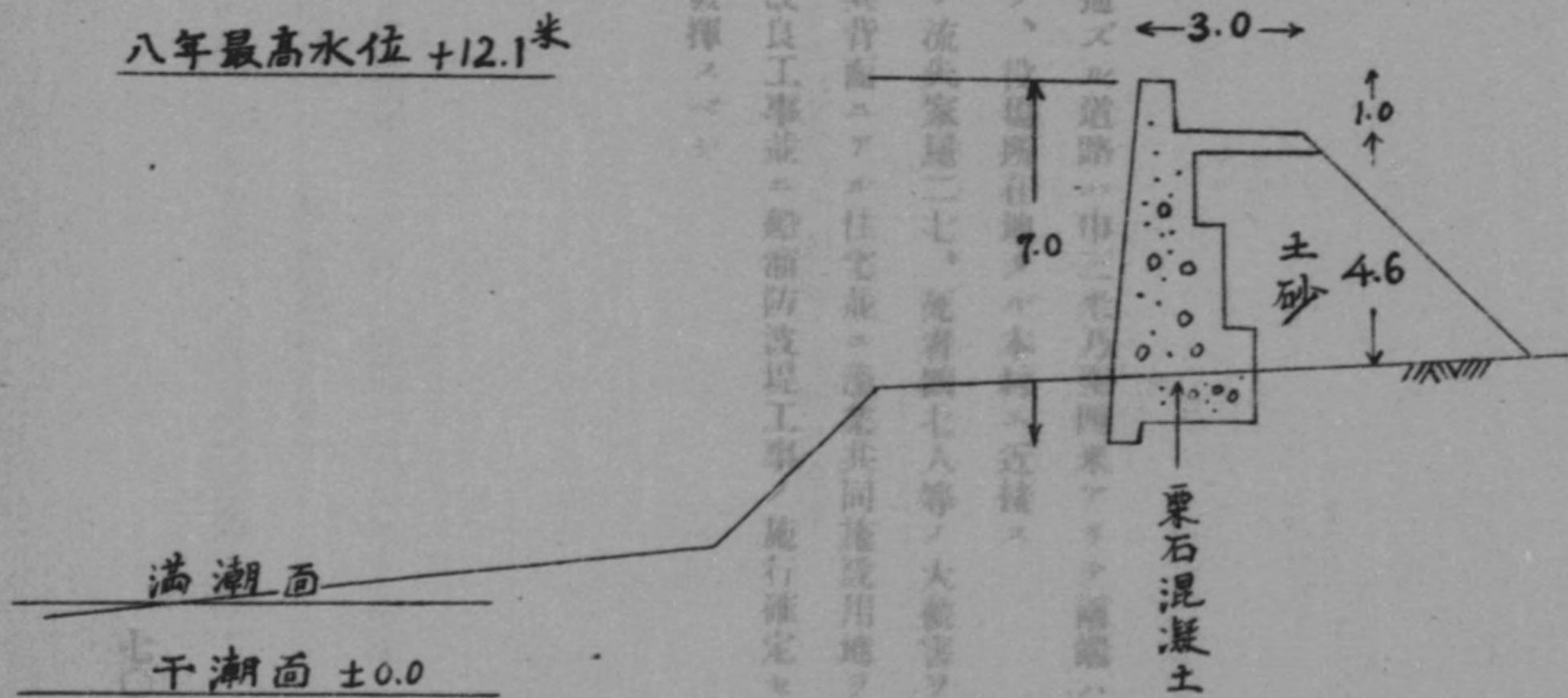
重茂村千鷲
防浪堤断面

縮尺二百分之一

調査要領

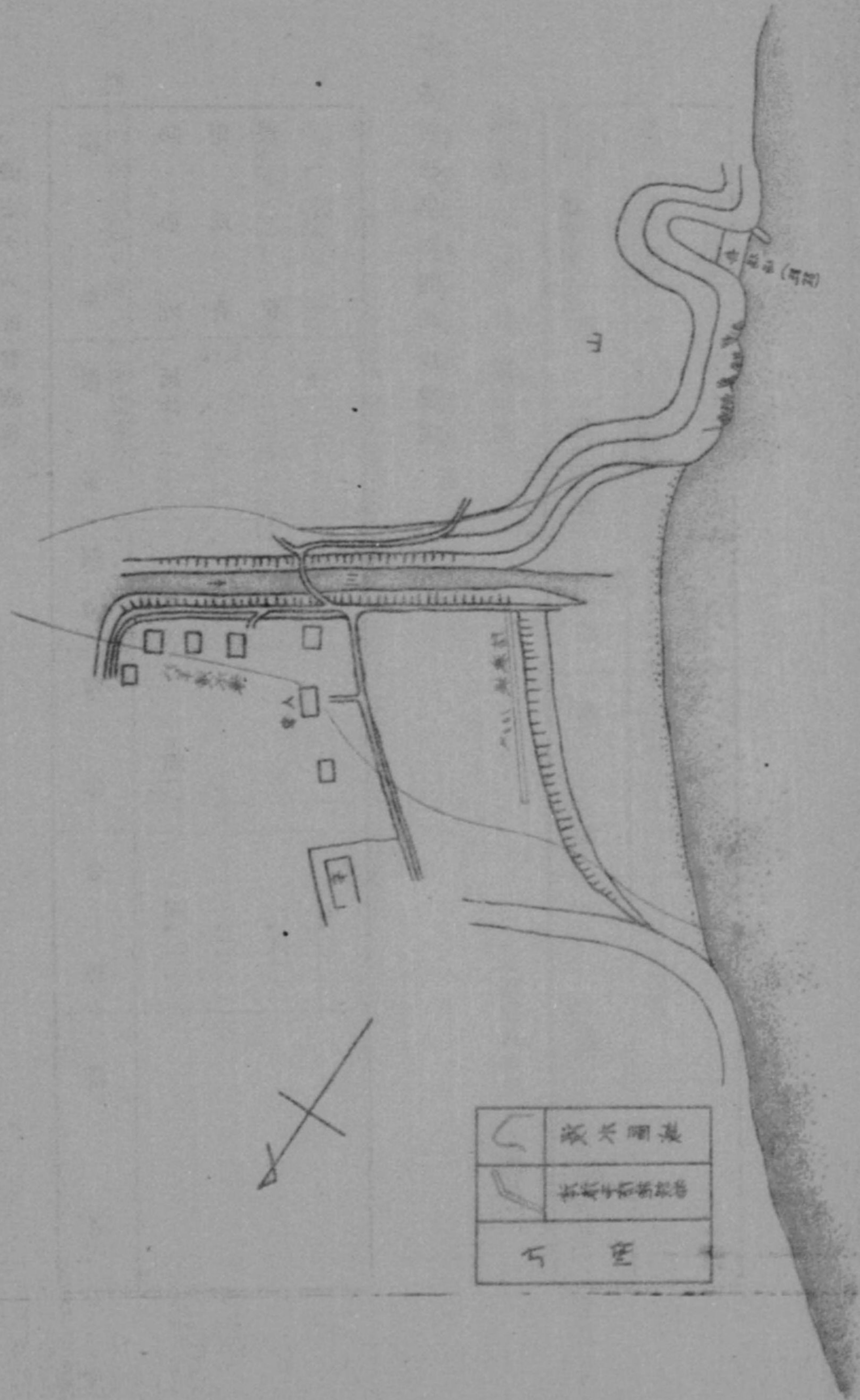
重茂村大字里

八年最高水位 +12.1米

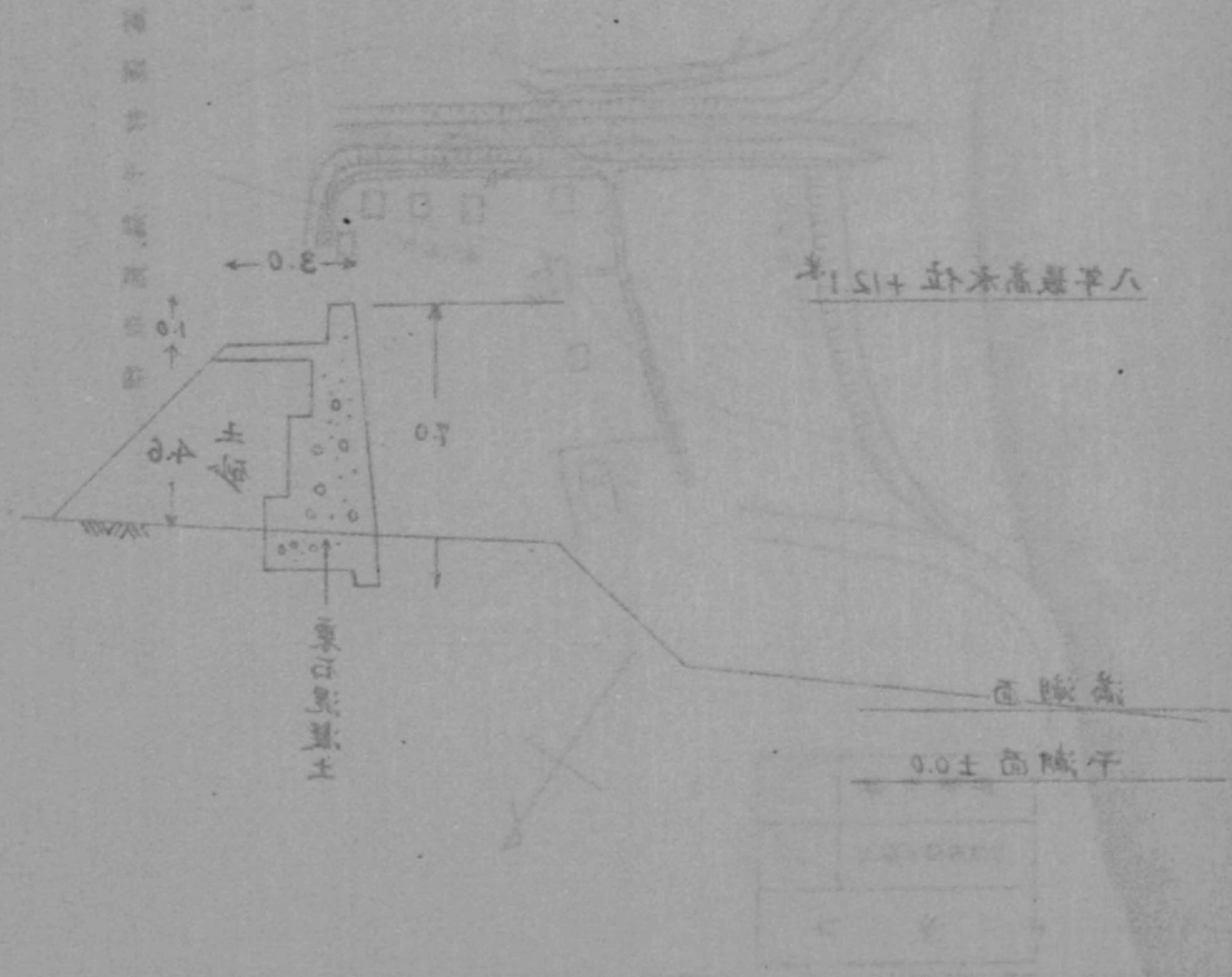


本部落ヨリ本村ヲ經由シテ磯崎村白濱(宮古湾沿岸)ニ通ズル道路ニ申シテ、
 重要ノ中心地ニシテ漁船數モ漁獲高モ最モ多ク、
 地形ハ平坦ナリ、以テ津浪ハ奥地迄ハ激衝シ流氷家屋ニ至リ、
 本調査ノ目的ハ防浪堤延長二五〇米ヲ計畫シ其背側ニ住宅並ニ共同施設用地ヲ防護ス、
 本堤ヨリ海岸迄ハ本部落ノ根拠地トシテ其機能ヲ發揮ス。

千鷲村大字里



重茂村大字里
 魚船駐留所
 一五〇百二八辭



重茂村大字里

調査要領

本部落ヨリ本村ヲ經由シテ磯鷄村白濱(宮古灣沿岸)ニ通ズル道路ハ巾三米乃至四米アリテ兩端ハ坂道ナレ共中央ハ平坦ナリ、重茂村ノ漁業ノ中心地ニシテ漁船數モ漁獲高モ最モ多ク、役場所在地タル本村ニ近接ス

地形ハ山間ノU字型低地ナルヲ以テ津浪ハ奥地迄モ激衝シ流失家屋二七、死者四七人等ノ大被害ヲ與ヘタリ

本調査ニ於テハ陸上適地ニ防浪堤延長二五〇米ヲ計畫シ其背面ニアル住宅並ニ漁業共同施設用地ヲ防護ス、本堤ヨリ海岸迄ノ土地ハ漁業用地ニ充當ス、別途縣災害復舊費ヲ以テ河川改良工事並ニ船溜防波堤工事ノ施行確定セルヲ以テ全部竣功ノ曉ニハ本部落ハ面目ヲ一新シ本村漁業ノ根據地トシテ其機能ヲ發揮スベシ

漁業ノ種類	昭和四年度		昭和五年度		昭和六年度		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鰻	三三、八六六	二九、八六八	二五、〇三〇	一五、〇二二	三四七、八〇〇	二〇、八六八	昭和四年度 漁船
鯖	三三、一〇六	九、九三一	三二、五九〇	五、〇四三	六四、七二二	五、一七七	動力付 其ノ他
鮪	四九、九〇五	六九、八六七	三五、五五五	四九、七九九	五、六〇〇	六、四三七	
鱈	二七〇	二七					
鱈	一七、七四四	一七、七九	一〇九、六四	六〇、二八二	三六、一九二	三、五二五	水産業者 漁撈
鯛	五九九	七九	五〇	四七	五五	五五四	
鮮魚	一、四九〇	四七	一、六一	二四	三、三〇〇	八五	製造
鱈	八、四三三	二、九六九	四、〇八四	五五	二、〇〇七	三〇	昭和五年度 漁船
鮭	七、二〇八	八、六五〇	七、四六	五、九四一	二、三三〇	一五、二七	動力付 其ノ他
鱈	一六、六六二	八、三四一	六、〇五〇	三、〇二五	一九、三三三	八、六九〇	水産業者 漁撈
鰻	一〇、五〇〇	一、五八四	九七一	六八	一、八二〇	二七	
其ノ他		二、一六九		二、八〇二		二、九〇〇	

種類	昭和四年度		昭和五年度		昭和六年度		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鮑	三四、六三	四六、二〇	三四、七九	四〇、五二	九、二七一	一〇、一九	昭和六年度 漁船
其ノ他		一、二〇〇		一〇〇		五〇九	動力付 其ノ他
柔魚	二七、五〇二	六、八七五	五、〇〇〇	一〇、四〇〇	六四、〇〇〇	二、三四四	
蛸	三、六三三	一、一〇八	四、四九四	八〇九	四、八三三	一、二〇八	水産業者 漁撈
海鼠	一一〇	三三	二〇〇	一四	二〇〇	四〇	
其ノ他		二〇〇				四〇	
昆布	二五、三四二	三六、〇〇〇	三四、一九〇	三、四九九	三九、九二〇	三、九八九	製造
和布	二四、〇四七	九、六一九	六一、八四〇	三、〇九二	九七、八六六	二、九三七	
石花菜	二、三八〇	九五二	一、八四〇	五五二	一、七七八	三五四	
海菜	一、七四二	八七一	五、二七三	一、八四五	五、五三三	八三〇	
其ノ他		一、五八一		二、五七七		一、五八〇	
合計		三六、〇九九		二六、四五四		二七、六三五	平均

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、豫防施設ニ關スル事項

(一) 防浪堤

イ、位置 圖示ス

ロ、延長 二五〇米 天端幅員 三米 高サ 九米

ハ、構造概要 天端及正面混泥土造、堤心土砂

ニ、計畫説明 本施設ニヨリ後方ニ安全ナル住宅並ニ共同施設用地ヲ充分ニ得ラル

別途船溜ハ船揚場ノ實施ト相待ツテ本村隨一ノ漁業根據地トシテ機能ヲ發揮シ得ベシ

ホ、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
防浪堤	長 二五〇	米	一七〇	四二、五〇〇	
用地	三〇〇〇	平米	一	三、〇〇〇	
雜費				三、五〇〇	
計				四九、〇〇〇	

(二)

緩衝地區

イ、位置 圖示

ロ、常時ニ於ケル利用方法 道路、干場

二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戸數調(里、本村)

(昭和八年罹災前現在)

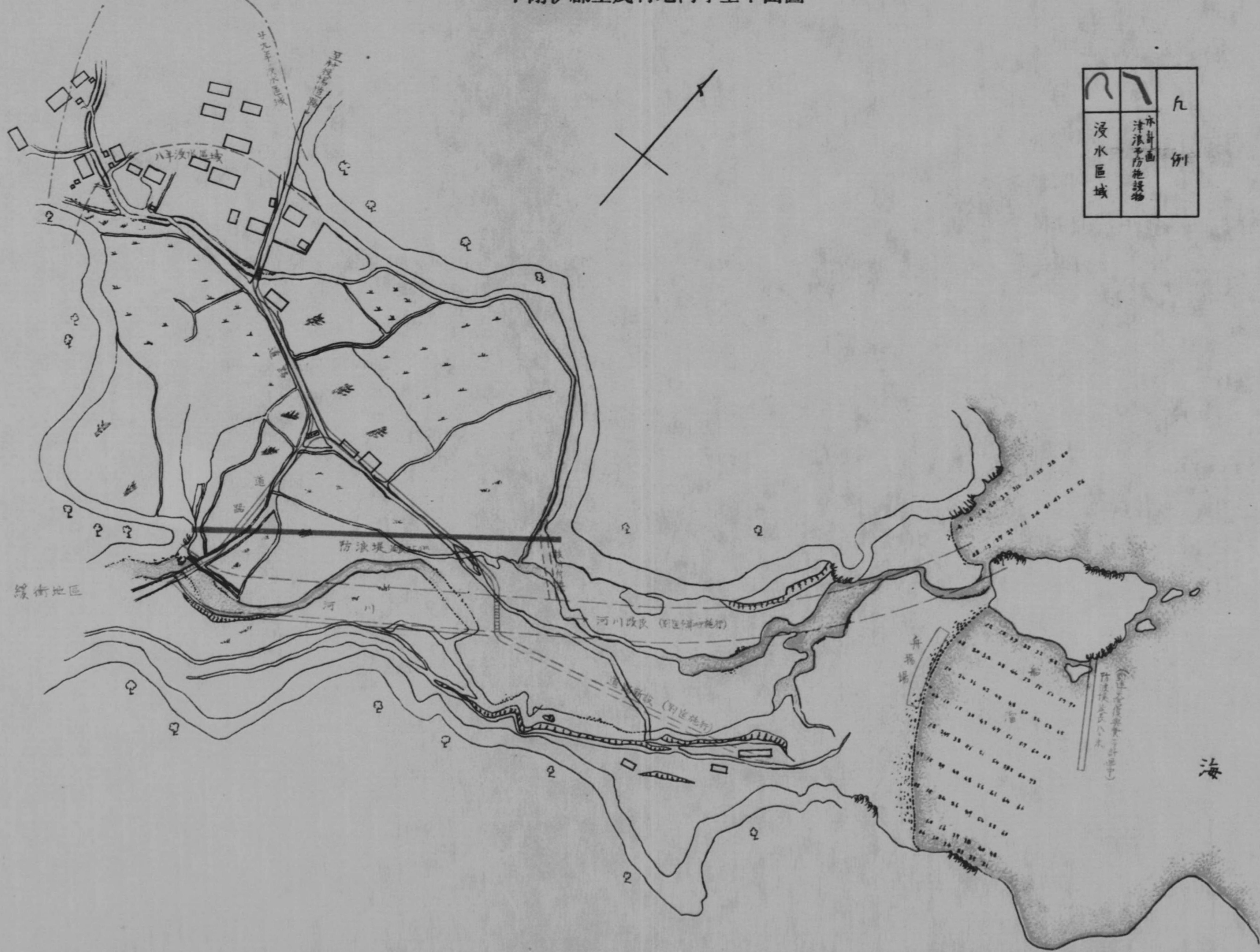
區別	職業別	戸數	人口
漁業	漁業	兼	四〇
農業	農業	兼	三六
商業	商業		六
工業	工業		
計	計		八二
			五八六

(二)

從來ノ住宅地並ニ移轉スベキ住宅地ノ適否

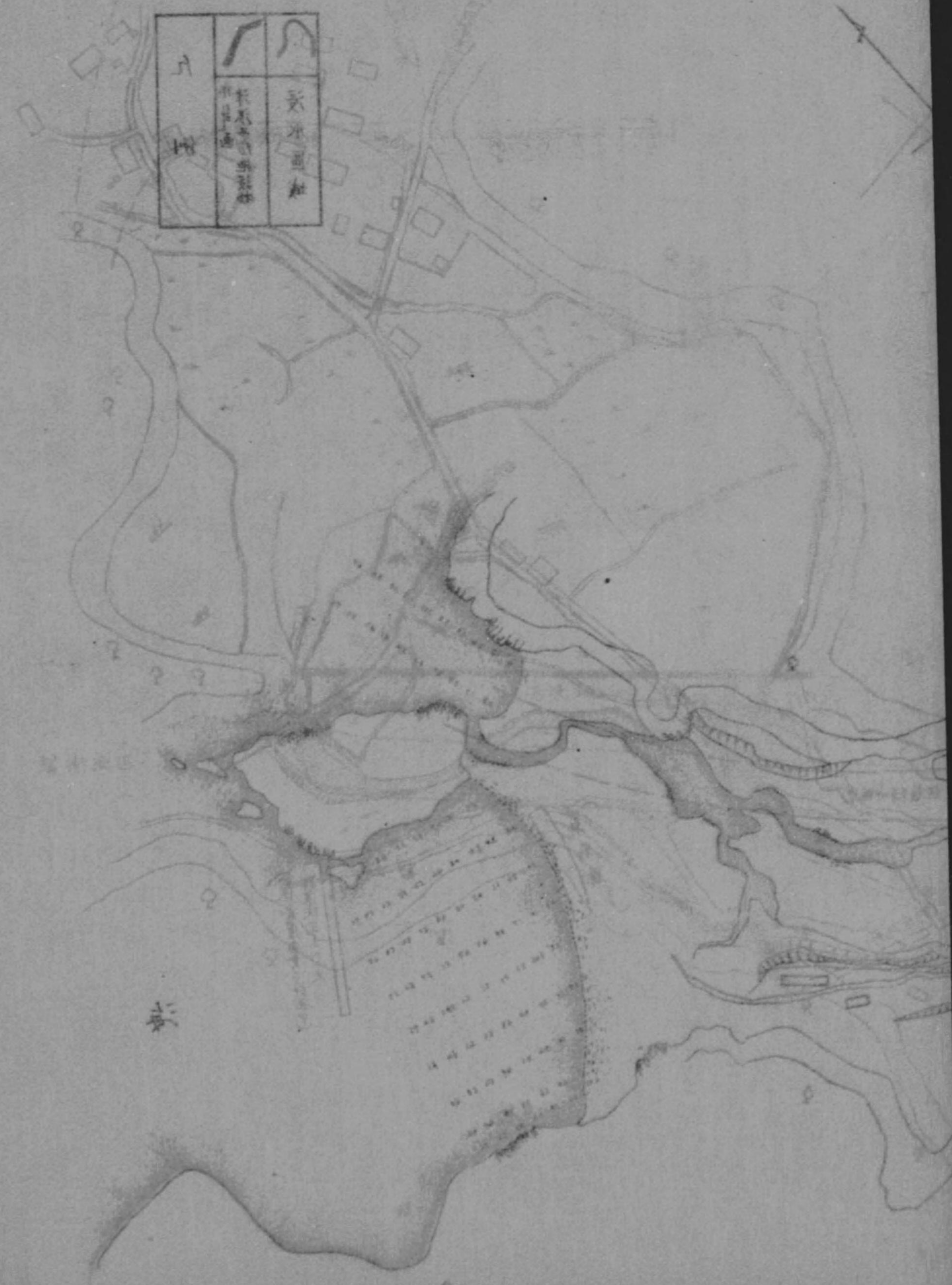
區別	事項
從來ノ住宅地	低地ノ住宅ハ流失セルモ高地ノモノハ異狀ナク防浪堤築設迄ハ高地ニ建築ノ要アリ
移轉スベキ住宅地	目下ノ處新住宅地造成ノ計畫無シ

下閉伊郡重茂村地内字里平面圖



	浸水区域	凡例
	津浪等防範施設	

重茂村大字音部

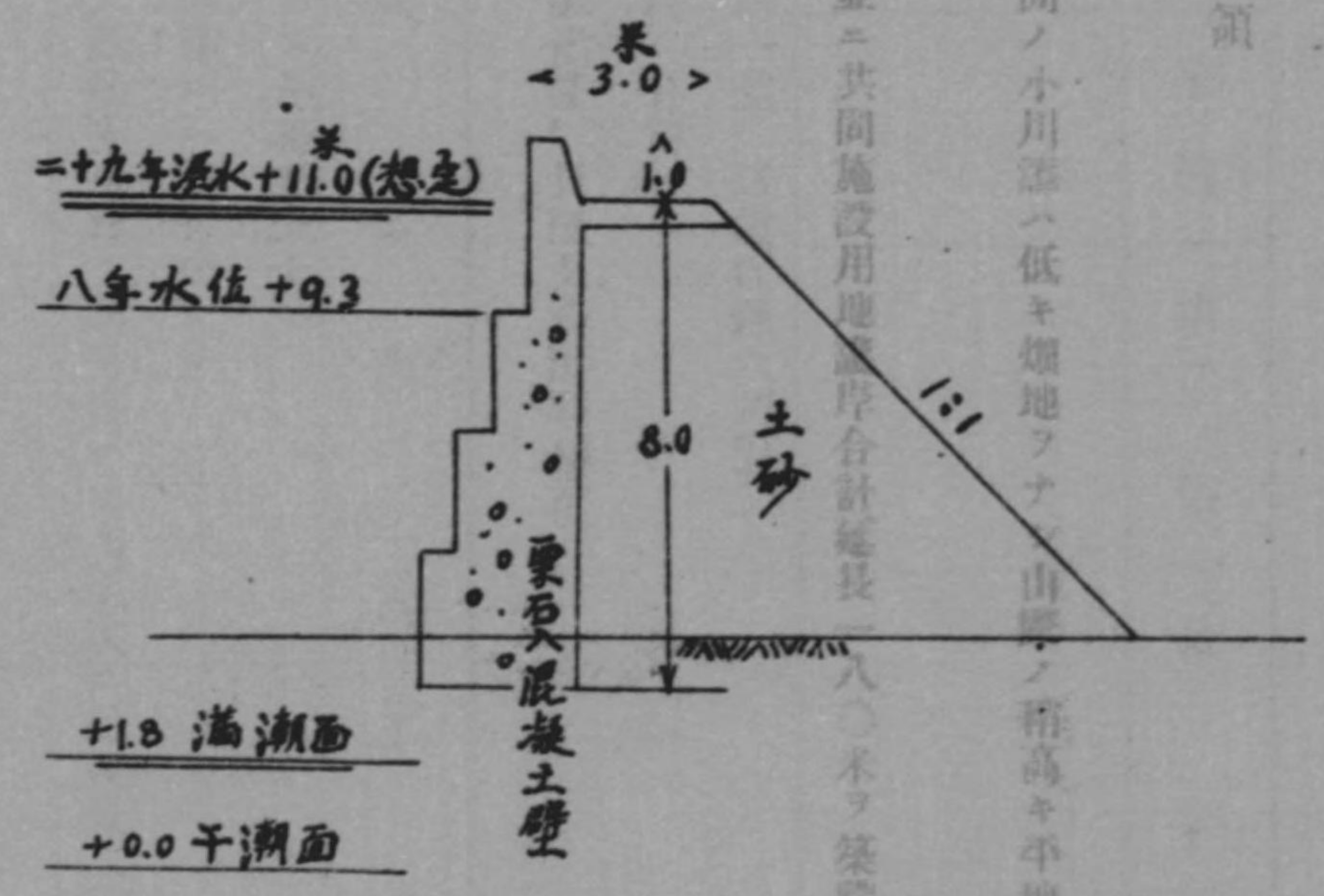


重茂村字里

調査要領

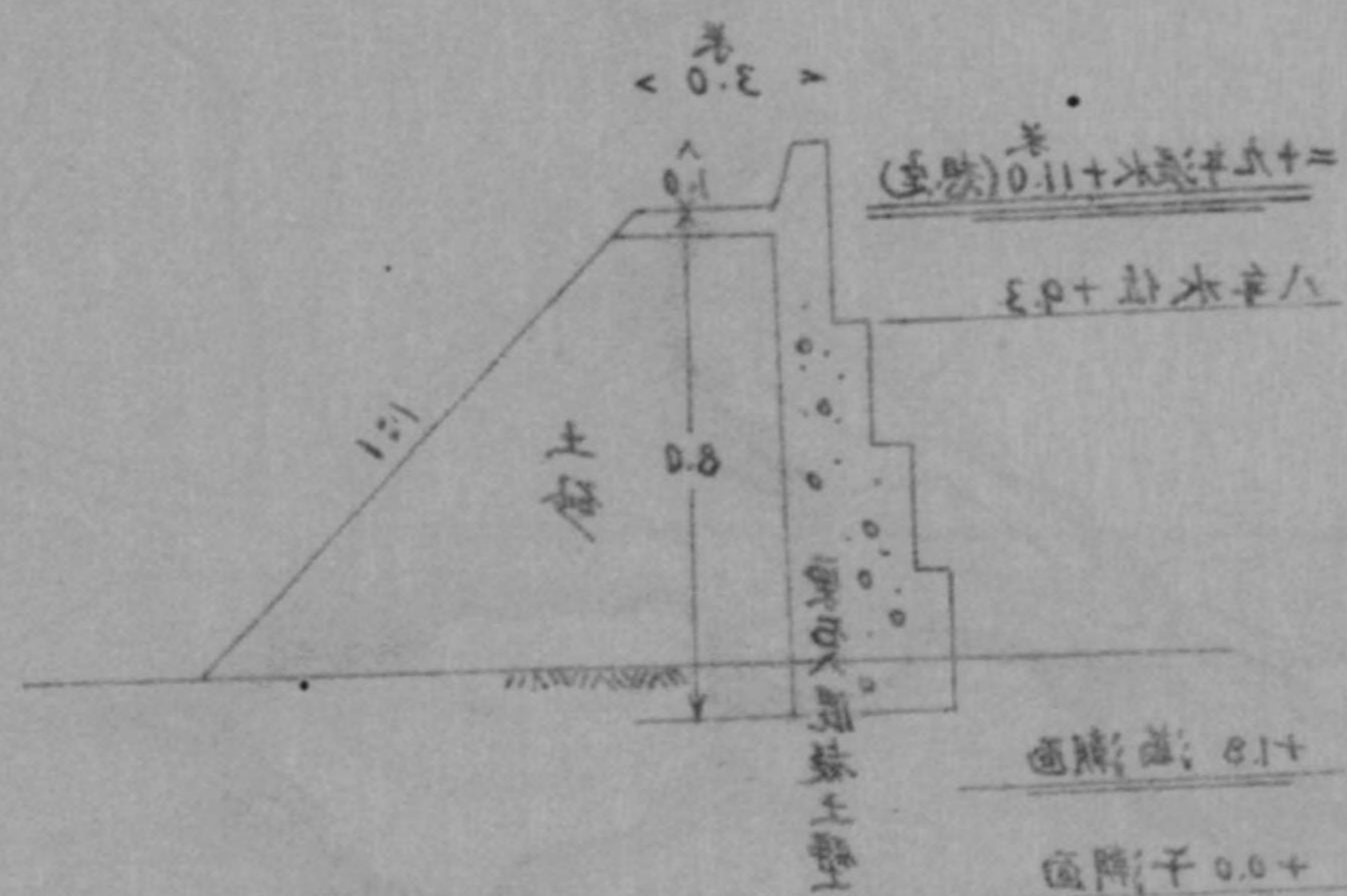
- 一、本部落本村、石濱ト同型ノ地形ヲ中間ノ小川ニ低キ畑地ヲナシ山ノ稍高キ平地住宅アリ、爲ニ波突セル住宅ハ二種ノヨナリ
- 二、海岸ニ略並行スル道路ニ沿イテ胞ノ海岸並ニ共同施設用地ノ岸合計延長ハ八〇米ヲ築設セントス

防浪堤断面圖 縮尺二百分之一



重茂林里

村町對地圖 蘇又ニ圖一



重茂村大字音部

一、音部調査事項
 二、音部調査事項
 三、音部調査事項

調査要領

一、音部調査事項
 二、音部調査事項
 三、音部調査事項

甲、基礎的調査事項

- 一、津浪襲來ノ方向及経路
 - イ、方向 東方ヨリ
- 二、浸水區域及津浪ノ高さ
 - イ、浸水區域 圖示ス
- 三、津浪ノ高さ
 - イ、津浪ノ高さ 于潮面上 七・四米ニ至ル

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫方津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ漁船ノ定繋ノ位置

海岸ハ海面上七尺位ノ高サヲ有スル天然砂利玉石ノ濱ヲ有シソノ上方ニ個人及二三名ノ共同製造場及倉庫ガ立チ並ビ
 二、テアラシメ浪ノ浸入ヲ防ギ比較的人家ニハ被害少ナシ
 漁船ハ前方ノ海岸ニ曳揚ゲテアリシモノ全部流失セリ

四、各部落ニ於ケル主要漁業

種 類 柔魚釣漁業、雜小延繩漁業、貝類及藻類採取業
 漁獲高 重茂村漁業組合漁獲高ニ合併
 漁船數 動力付八噸一隻 三噸一隻、無動力船六四隻

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、豫防施設ニ關スル事項

- (一) 護 岸 圖示
- イ、位 置 天端幅 〇・六米 總高 五米
 - ロ、延 長 一八〇米
 - ハ、構造概要 栗石混凝土

ニ、計畫説明

本設備ニ依リ住宅地及共同施設用地ヲ防護シ著シク被害ヲ輕減シ得ベシ、中央部畑地ハ緩衝地區トナル、前面海濱ハ船揚場、干場トシテ使用スル廣サヲ有ス

ホ、必要ナル經費概算

種 別	數 量	單 位	單 價	金 額	備 考
護 岸	延長 一八〇	米	七五	一三、五〇〇	縣施行災害道路復舊工事ト相待ツテ施行ラ便
雜 費				一、五〇〇	
計				一五、〇〇〇	

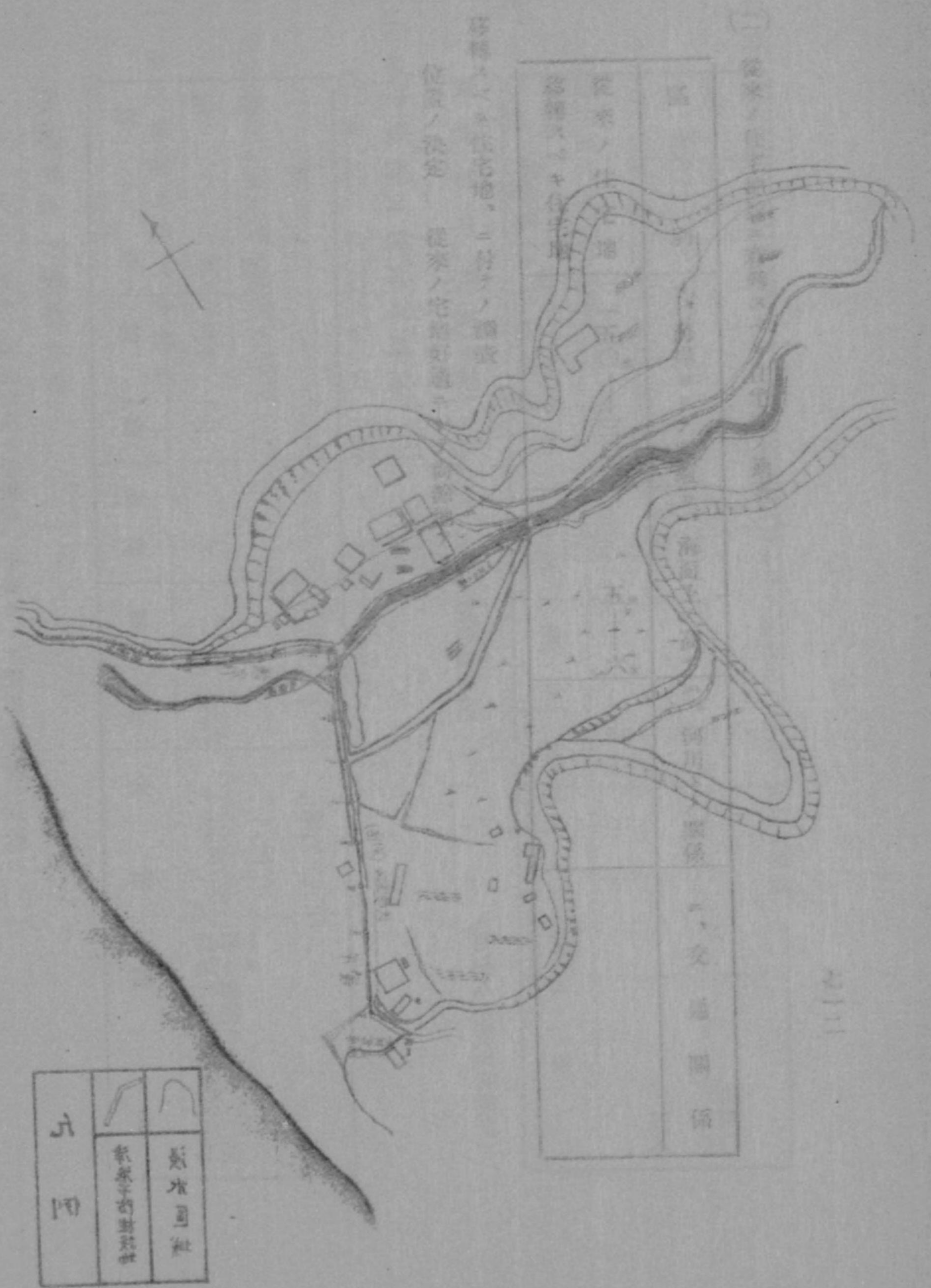
二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戸數調(音部)

(昭和八年罹災前現在)

區別	職業別	漁業	農業	商業	工業	計
戸數		一五				五八
人口		一〇〇				四四〇

上野村附近区域中心地構造平面圖



津野石村圖 磯野村圖



四、各部落ニ於ケル主要漁業

種 類 鮭地曳網、鰯地曳網、柔魚釣、鮫延縄、鰯延縄、鰯巾着網漁業
 漁 船 數 動力付十二隻、無動力船二十三隻
 漁獲高ハ磯鷗部落ノ部ニ併記ス

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、豫防施設ニ關スル事項

(一) 船溜

(1) 防波堤補修

ホ、構造概要

ト、工 費

(二) 船揚場

イ、位 置

ロ、面 積

ハ、構造概要

防波堤補修 木杵土堤
 別途八年度農業土木事業費
 船揚場 式向式碼頭
 位置 圖示
 面積 八〇〇平米 延長 四〇米 斜面幅 二〇 勾配 六分の一
 構造概要 表面根固メ斜面混凝土造、裏込栗石 小舟ノ曳上ニ便ス

ホ、必要ナル經費概算

種 別	數 量	單 位	單 價	金 額	備 考
船揚場	八〇〇	平米	五五〇	四、四〇〇	
雜費				六〇〇	
計				五、〇〇〇	

(四)

護 岸

イ、位 置

ロ、延 長

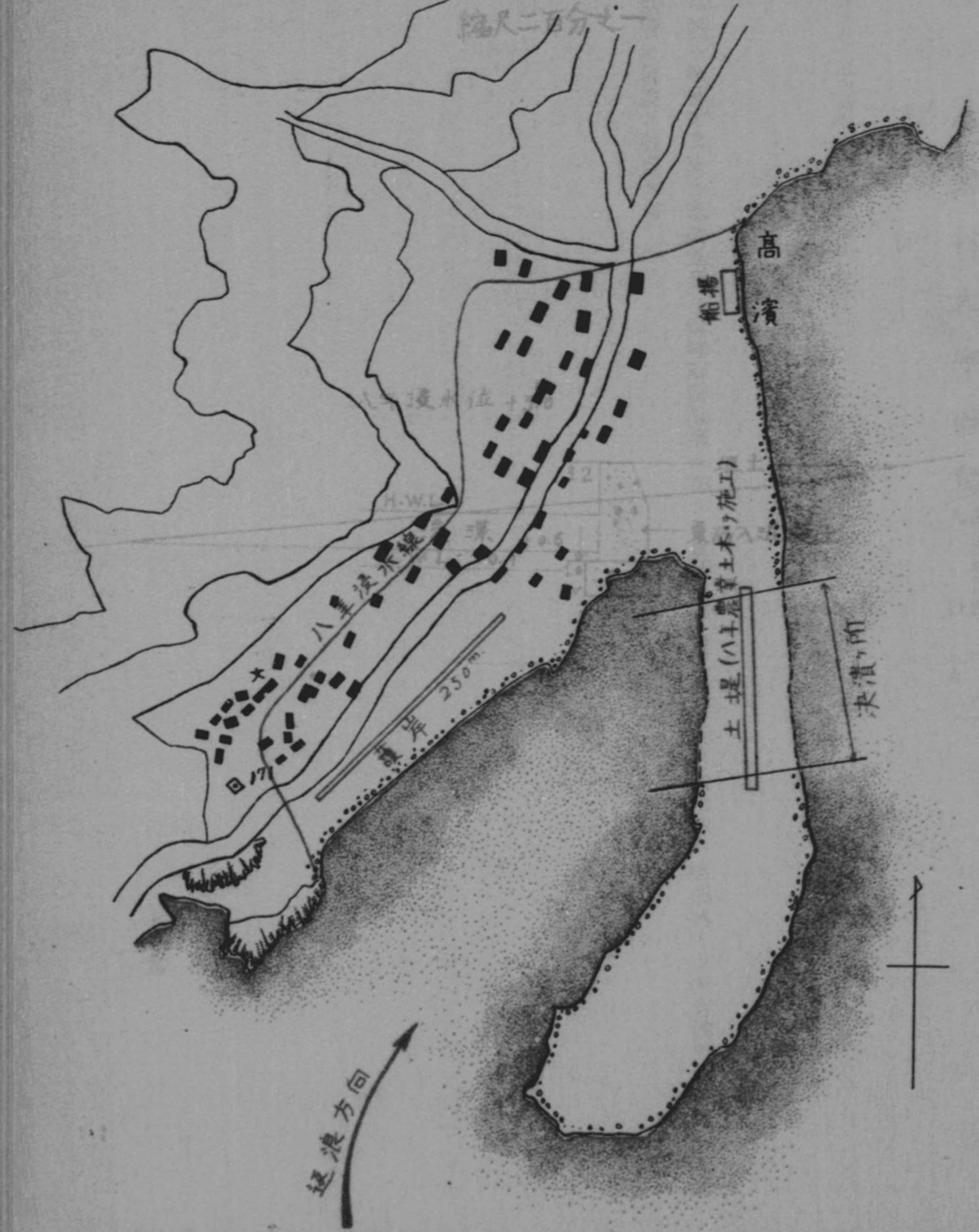
ハ、構造概要

ニ、計畫説明

ホ、必要ナル經費概算

種 別	數 量	單 位	單 價	金 額	備 考
護岸	二五〇	米	一四〇	三五、〇〇〇	埋土、浚渫共
雜費				一、八〇〇	
用地費	四〇〇	平米	三	一、二〇〇	
合計				三八、〇〇〇	

高濱港平面圖
護岸断面圖
縮尺二百分之一



②
1

(二)

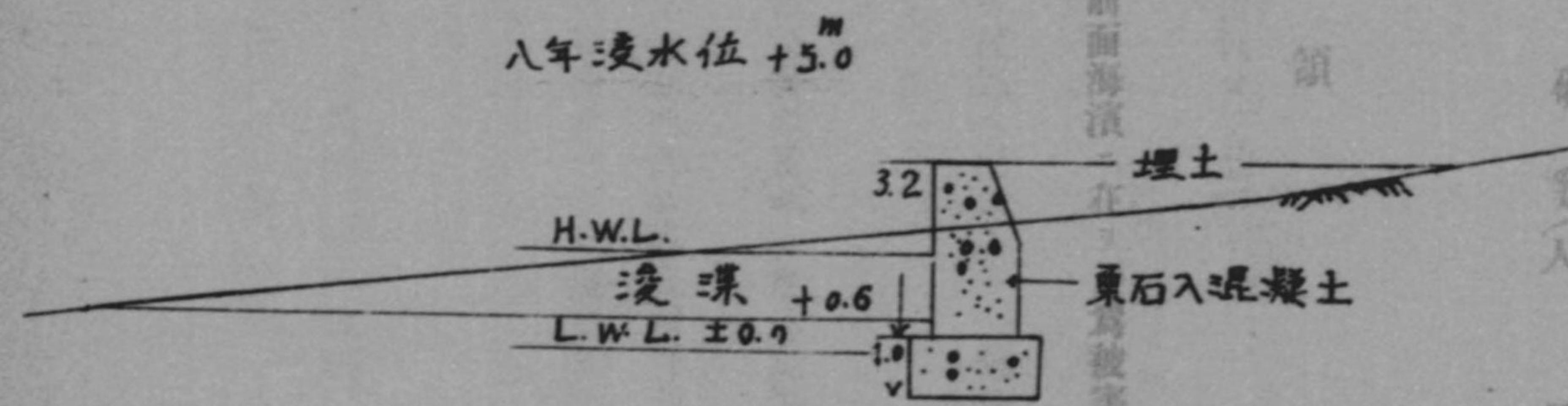
項目	單位	數值
總面積	平方米	八〇〇
總工費	圓	五五〇
總土量	立方公尺	四、四〇〇
總石量	立方公尺	六〇〇
總木量	立方公尺	五〇〇

(四)

項目	單位	數值
總面積	平方米	二八〇〇
總工費	圓	一、四〇〇
總土量	立方公尺	二、五〇〇
總石量	立方公尺	一、〇〇〇
總木量	立方公尺	一、〇〇〇

退浪方向

磯鷄村字高濱
護岸断面圖
縮尺二百分之一

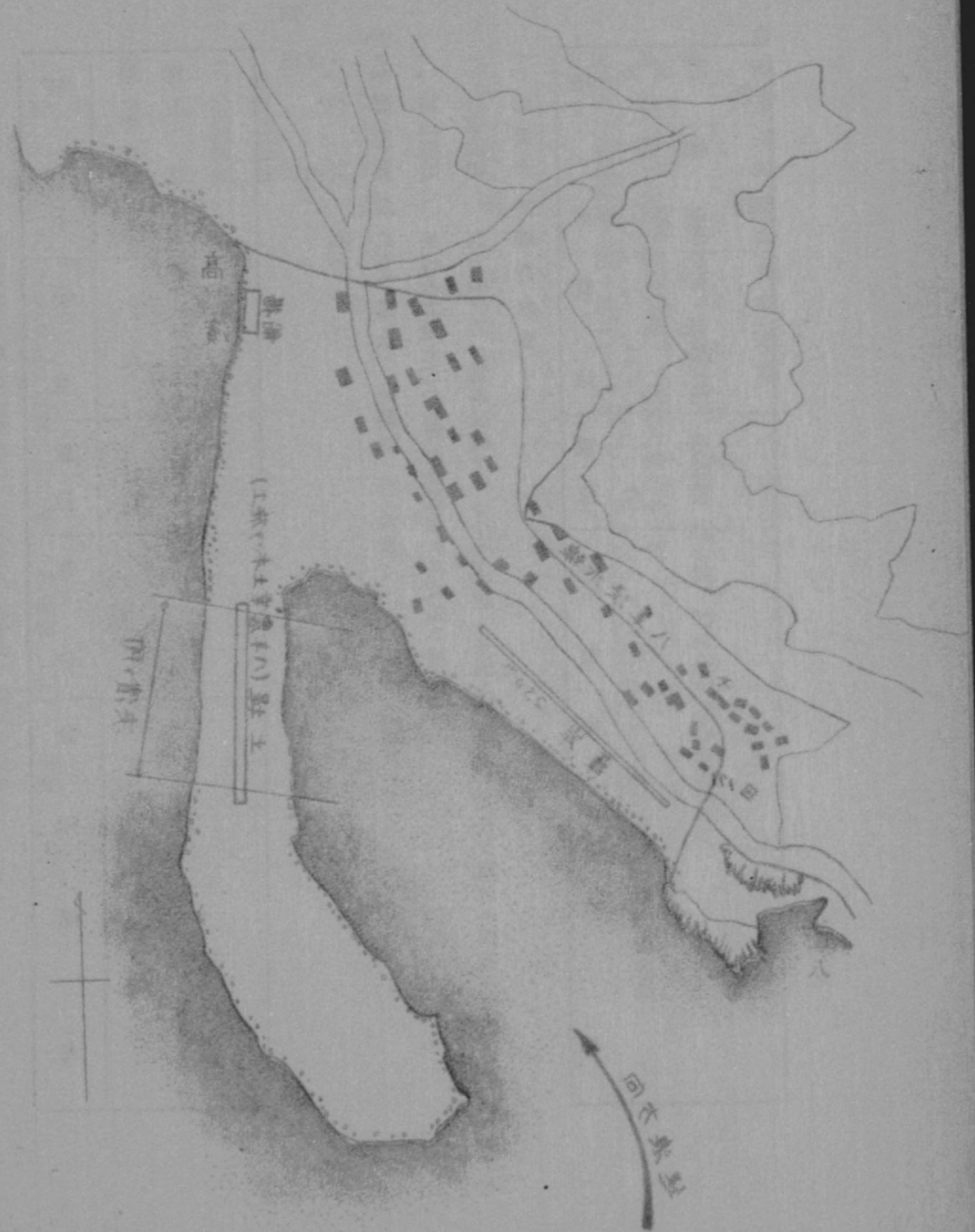


沿岸一帯ニ松林アリシ流矢家屋五戸ニ松林前面海濱ニ在リ此松林ハ防濶林トシテ有効ナルヲ以テ本調
測ノ施設ヲ計畫セズ

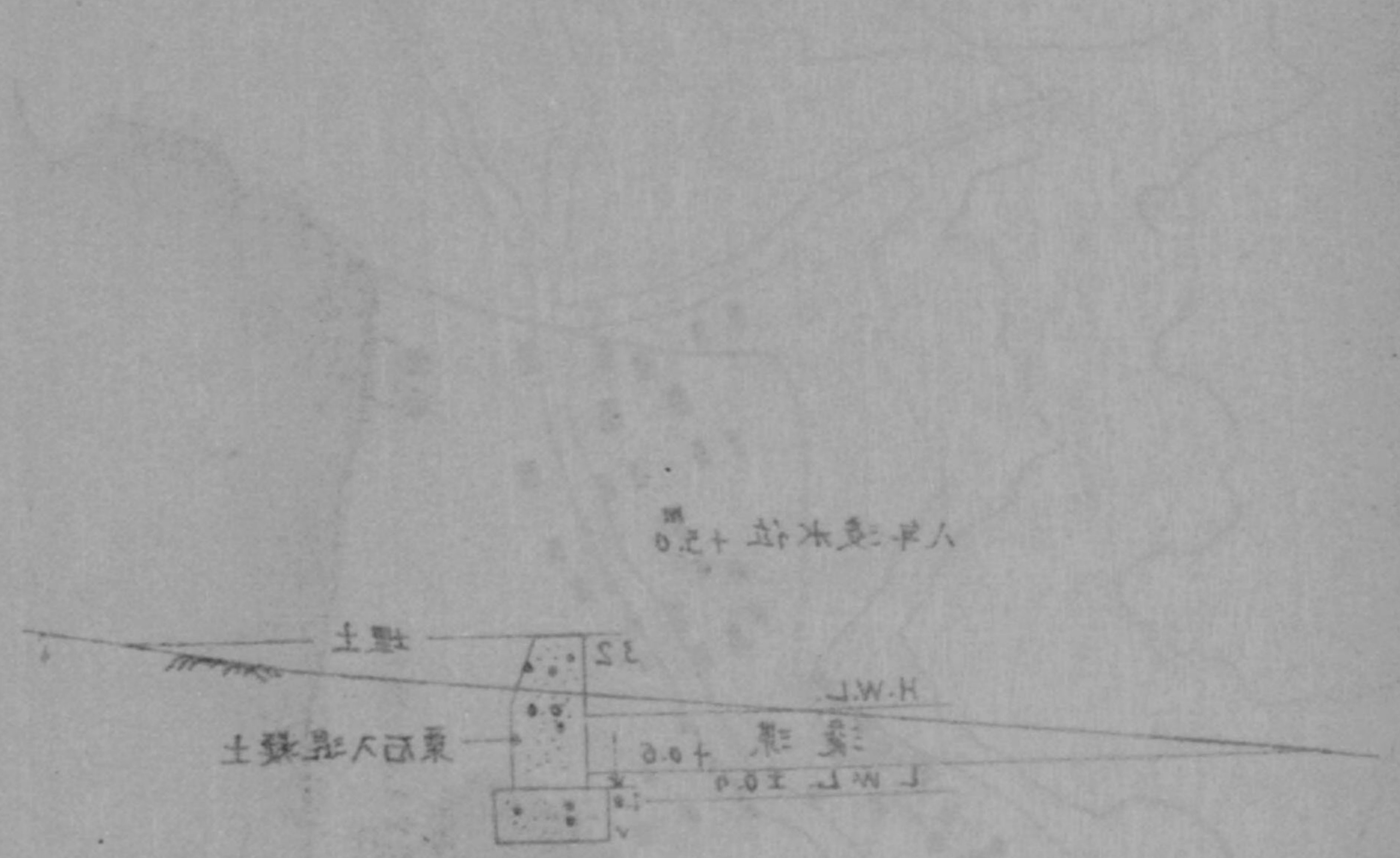
調査要領

磯鷄村大字磯鷄(羅吳前戸數 九二八)

高濱港干拓圖



高松林縣
圖面海平
一五八二八



磯 鷄 村 大 字 磯 鷄 (罹災前戸數 一二八 九九二)

調査要領

沿岸一帯ニ松林アリ流失家屋五戸ハ松林前面海濱ニ在リシ爲被害ヲ蒙リシト云フ此松林ハ防潮林トシテ有効ナルヲ以テ本調査ニハ別段ノ施設ヲ計畫セズ

- 一、津波襲来ノ方向及種類
- 二、津波ノ高さ
- 三、津波前ノ地形ニ於ケル設備及災力津波被害ニ及ボシタル影響點ニ遊覧ノ設備ノ位置
- 四、各村落ニ於ケル主要施設

磯鷄村漁獲高(磯鷄濱漁業組合)

漁業ノ種類	種類別	昭和四年度		昭和五年度		昭和六年度		備考
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鰻	鰻	1,170,500	67,590	1,581,230	56,680	388,890	42,670	四年度 漁業無動力船 製造撈
鮭	鮭	30,500	2,346	14,380	2,630	24,510	28,070	五年度 漁業無動力船 製造撈
其ノ他ノ魚類	魚類	15,360	27,130	22,950	15,330	32,220	29,370	六年度 漁業無動力船 製造撈
貝類	貝類	10,380	2,600	10,880	3,890	10,700	2,800	
柔魚	魚	750	1,500	1,690	1,300	950	850	
干鰯	鰯	1,500	3,000	630	750	5,000	1,450	
鹽鰯	鰯	17,700	94,330	270,397	54,740	274,282	62,177	
鰻粕	鰻	9,930	4,930	45,066	8,120	7,380	1,460	
魚油	魚	1,398,000	221,030	154,500	15,500	17,947	25,250	
平均	計							

磯鷄村大字金濱(五五戸 四五九人)

調査要領

本部落沿岸ニ津輕石川流木材荷揚設備トシテ目下混凝土造護岸並ニ埋立工事實施中ニシテ竣工ノ曉ハ津浪豫防ニ關シ有効ナリト被認フ以テ本調査ニハ其ノ施設ヲ省略ス

甲、基礎的調査事項

一、津浪襲來ノ方向及経路

- イ、方角 東南東
 - ロ、経路 津浪ハ津輕石川赤前部落ニ突當リタル餘波ガ本部落ニ押寄セタル爲メ被害少ナシ
- 二、浸水區域及津浪ノ高さ
- イ、浸水區域 圖示ニ依ル



○被害家屋
浸水地

記事

一 震震時刻 午前二時三十一分三十九秒
 一 人体感覺時間 約二分間余
 一 震度 強震
 一 有感区域 北、樺太、南、九州
 一 最大震幅 二種一
 一 津浪襲来時刻
 第一回 強震後 三分位
 第二回 第一回後 一五分位
 第三回 第二回後 二分位
 一 波浪高、最高約五米
 一 海面平常、帰、九時
 一 前回、津波、三十八年日ニシテ今日、四十年内外ニ一度宛、未、襲来ナリト聞ク

本部落ハ宮古灣奥部南側ニ位スルヲ以テ津浪ノ主動向ニハ直而セズ餘波ヲ蒙ル位置ナレ共宅地高位ハ海面ヨリ餘リ高カラザ

調査要領

津軽石村大字赤前(法ノ脇)(一、一五二戸)(一、〇九六八人)

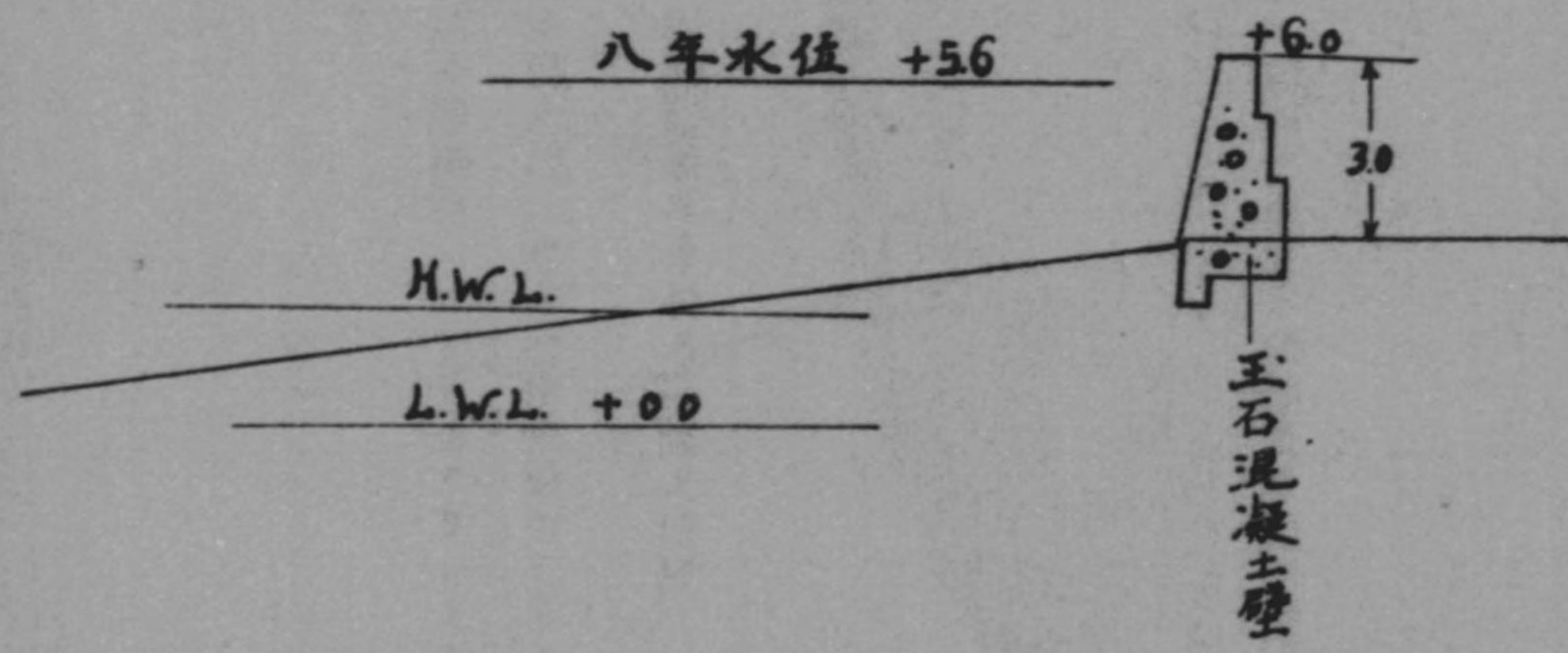
種別 鱈揚操網漁業、海苔採取業
 漁船數 無動力船十二隻
 漁獲高 磯鶏部落ノトコロニ併記ス

四、各部落ニ於ケル主要漁業

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ漁船ノ破棄ノ位置
 沿岸ニハ個人製造場及共同製造場並ニ倉庫等七棟アリタルモ全部押流サル
 漁船ハ海岸ニ曳揚ゲテアリシモノ、ミナルヲ以テ夫等ハ全部押流サル

ロ、津浪ノ高さ 干潮面上 五・〇米

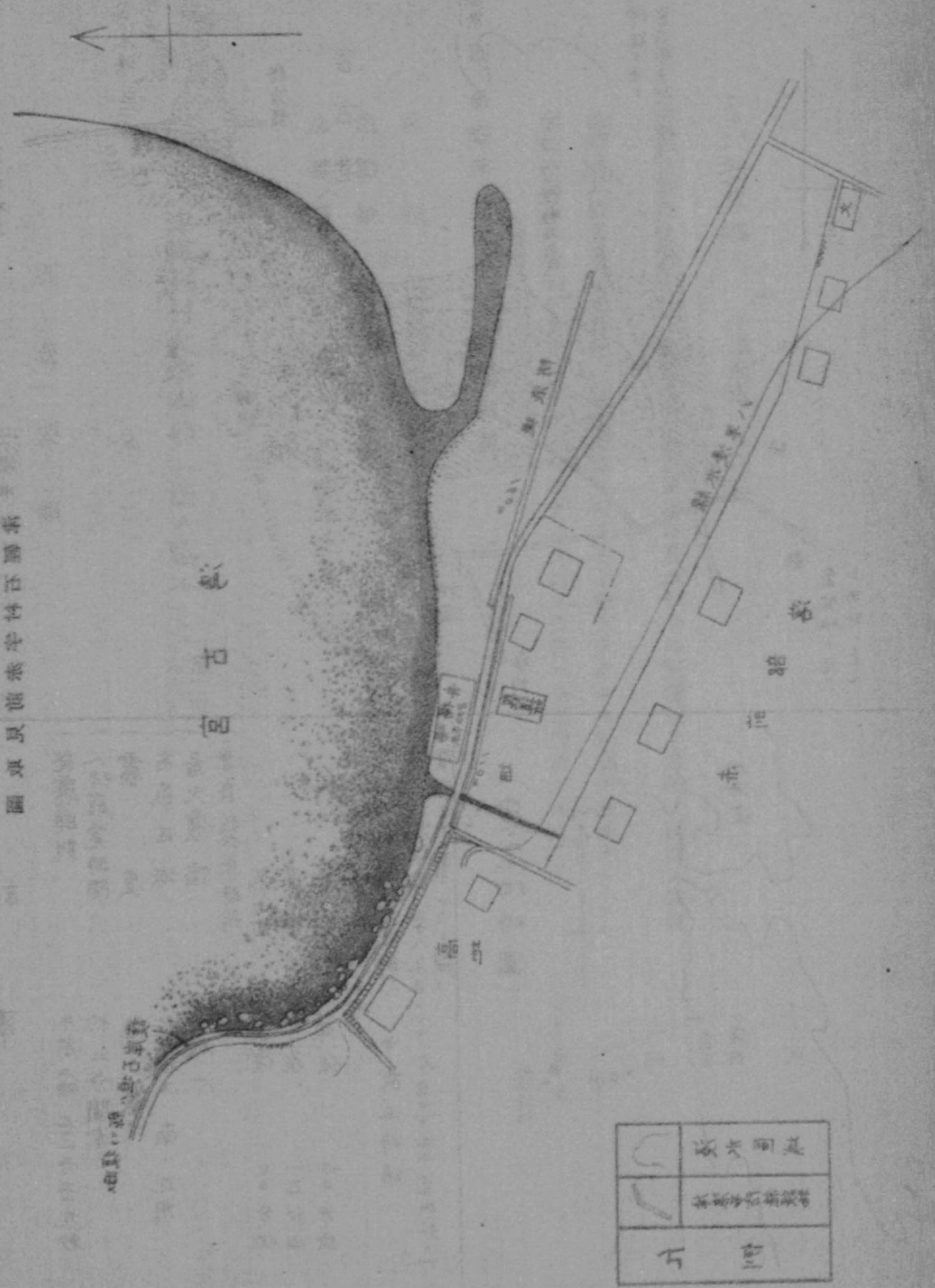
津輕石村赤前
防浪堤断面圖
縮尺=百分之一



七二五

ルツ以テ本調査ニテハ栗石入混凝土造リノ防浪堤長二七〇米ヲ築設シ緩衝地區タル津輕石平野ニ津浪ヲ誘導セントス
尙船揚場一箇所ヲ設ク

ルツ以テ本調査ニテハ栗石入混凝土造リノ防浪堤長二七〇米ヲ築設シ緩衝地區タル津輕石平野ニ津浪ヲ誘導セントス



	海水面高
	築設中の防浪堤
五 四	

尚據此一高潮ヲ述ク
ハミ以テ本區素ニハ聖人區土源ノハ高潮計ニ寸〇米ヲ案算シ高潮計測ノハ特種計手後ニ計略ヲ爲サシム

甲、基礎的調查事項

一、津浪襲來ノ方向及經路

イ、方 向 北方ヨリ襲來ス
ロ、經 路 北方ヨリ襲來セル浪ハ赤前部落ノ前面ヲ真直ニ砂濱及松原ヲ超ヘ襲來シ夫等ノ余波(返シ浪)ハ逆ニ磯鷄村金濱及高濱部落ヲ襲ヒタリ

二、浸水區域及津浪ノ高さ

イ、浸水區域 圖示ノ通り
ロ、津浪ノ高さ 干潮面上 五・六米

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ漁船ノ碇繋ノ位置

宮古灣奥ノ沿岸ニハ防潮林ガ植付ケラレテアリシ爲メ浪ノ浸入勢力ハ比較的少ナカリシガ防潮林ノ前方砂濱ニアリシ個人製造場及共同製造場及倉庫等ハ破壊セラレ其殘該ハ防潮林ニヨリ喰止メラレタリ從ツテ漁船モ同様ノ運命ニ遭遇セリ法ノ脇部落ハ防潮林ナキモ只ダ浸水ノ程度ナリキ

四、各部落ニ於ケル主要漁業

其ハ遊動網漁四葉

種 類 鮭地曳網漁業、鰻地曳網漁業、柔魚釣漁業、貝藻類採捕漁業、鰻巾着網漁業、鰻揚操網漁業
 漁船數 動力付漁船二隻 無動力船三十二隻 其ノ他運搬船四隻

津輕石村漁業組合漁獲高(金額不詳)

種 業 類ノ 種類別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		備 考
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	
鮭	五〇,〇〇〇		五〇,五〇〇		一一,〇〇〇		鰻ハ地曳網及川溜ニ依リ漁獲セルモノ
鰻	一五,三六〇		一六,三〇〇		一七,三三〇		
北寄貝	三三,一〇〇		二七,二五〇		二八,三三〇		
赤貝	三〇,五〇〇		二九,三〇〇		二七,八五〇		
海苔					一〇〇,〇〇〇		
ホヤ					二五,〇〇〇		
牡蠣					二二,〇〇〇		

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

一、豫防施設ニ關スル事項

- (一) 船揚場
 - イ、位 置 圖示
 - ロ、面 積 八〇〇平米(延長、四〇段)斜面幅、二〇(車道)勾配六分の一、實積積算中ナリ
 - ハ、構造概要 混雜土造斜面
 - ニ、必要ナル經費概算

種 別	數 量	單 位	單 價	金 額	備 考
船揚場	八〇〇	平米	五.五〇	四,四〇〇	
雜費				六〇〇	
計				五,〇〇〇	

防 浪 堤
 位 置 圖示
 延 長 二七〇米
 幅員 上幅〇.六米 下幅一.六米
 高サ 三.六(根入共)

八、構造概要 栗石混凝土造
ニ、必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
防浪堤	長 二七〇	米	五五	一四、八五〇	
雜費	幅一六	米	一、二八六	一、二八六	
用地費	長二七〇	平米	八六	二、三三六	
計				一七、〇〇〇	

(七)

緩衝地區 前面ノ田畑

(八)

其他參考事項

本村内、堀内部落ニ關シテハ別途八年度農業土木事業トシテ防波堤築設ノ實施計畫中ナリ

宮古町藤原

領(平面圖参照)

現在施行中ノ内務省直營ノ川口北岸護岸工事ノ完成並ニ近キ將來ニ於テ施行セラレベキ川口浚渫工事、防砂堤工事閉伊川南岸護岸工事ノ完成(縣ヨリ内務省補助出願中ノモノ)ト相待ツテ本河港ノ面目ヲ一新シ漁港トシテ完備ノ域ニ達セントス。右護岸ハ津浪豫防ニ有効ナルハ勿論ナルヲ以テ本調査ニ於テハ藤原海岸ニ防浪堤ヲ計畫シ藤原部落ヲ防護スルニ止メタリ

甲、基礎的調査事項

一、津浪襲來ノ方向及經路

イ、方 向 南東、及南南東ト二方面ヨリ襲來セリ

二、浸水區域及津浪ノ高サ

イ、浸水區域 藤原海岸及閉伊川ノ河岸ニ沿ヒタル部分ハ殆ド全部
ロ、津浪ノ高サ 干潮面上 四・〇米

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ漁船ノ碇繋ノ位置

藤原海岸ニ個人製造場及干場アリ海岸ニ沿フテ高サ五尺位ノ防波土堤アリタル爲メ其ノ部分ノ上方ニアリシ人家及製造場ニハ被害ナシ
閉伊川中ニ碇繋セル漁船及運搬船等各種船舶ハ津浪ノ爲メ川上ニ押流サレ藤原及宮古ヲ連絡セル橋梁ヲ破壊シ交通杜絶ス

然ルニ宮古灣内ニ内務省港灣築港工事ニ依リ防波堤工事中ナレドモ其ノ爲メ浪ノ勢力ハ减退シタルモノガ襲來セリ
 四、各部落ニ於ケル主要漁業

種 類 類 類
 鰹釣、鮪延繩、鱈延繩、鮪流網、秋刀魚流刺網、鱈巾着及揚操網、柔魚釣、鮪延繩及流刺網、鱈延繩
 動力船 五十噸以上 一隻
 無動力船 四十七隻
 二十噸以上 四隻
 十五噸以上 五八隻
 十噸以上 十五隻
 十噸以下 十八隻
 計 九六隻

漁業ノ種類	種類別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		備考
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鮪	鮪	七、五三	九〇、二五	二、二五	九〇、九四			
鮪	鮪	二六、二二	二二、九七	三、九三	二、八四			
鮪	鮪	二七、五二	八、三四	二七、四八	二四、九三			

種類別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鮪	六、九七	三四、四五	二四、六六	三五、五五			
鮪	三、三七	四五	九六	二七			
鮪	二九、三二	九、三四	六四、五〇	三六、九〇			
鮪	二九、三八	一六、七二	一〇、三四	七、六二			
鮪	五〇、七〇	四、五七	九〇、六一	六八、〇六			
鮪	四、五七	五、五九	一〇、九三	一一、二二			
鮪	一九、八四	五、五九	一〇、二四	二、六四			
鮪	二六、四五	三九、五三	一〇七、三六	四、七五			
鮪	四、五七	一、三〇	三〇六	六八			
鮪	三、三〇	八、九	三四、七二	二、七四			
鮪	八、四	三七					
鮪	七、八	八二	六〇	二四七			
鮪	一、九、五四	五〇、三三	一六九、三五	六、一五九			
鮪	三、一九	一、一九	二、〇六	五〇			
鮪	五、九二	一、一九	一、七〇	四四〇			
鮪	五、三六	一七、三四	三、四九	六、四六			
鮪	一、七二	五、九六	二五、八七	九、六四			

種漁業ノ種類別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		備考
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	
沙目子	五,五二七	四,九五三	一〇,三四〇	三,〇六四			
平目	七五	一,〇九三	三,八二四	三,〇六四			
長鮫	三,六六六	六,八四五	三,五二六	四,五八〇			
なめた	六,八八五	二,七三七	三,八八〇	一,三三九			
小鯖	二,三三三	一,二六二	七,六七七	五二四			
鱈	一,四二九	七,七〇九	一,五四九	六,九五六			
冷凍魚	一三,九〇〇	九,五二五	二,四九六	四,七四八			
小柔魚	三,三〇〇	五五五	五,〇七八	一,一七三			
鱈	六,三六一	七,〇四四	五,八三三	六,九八〇			
小鯛	三三	五三	三〇三	一九			
鮑	五〇〇	六九					
蝶類		一,八九七					
其他類		二四,三六		二七,五			
計		四三,二天		四七,四〇〇			二箇年平均 四三,三三

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

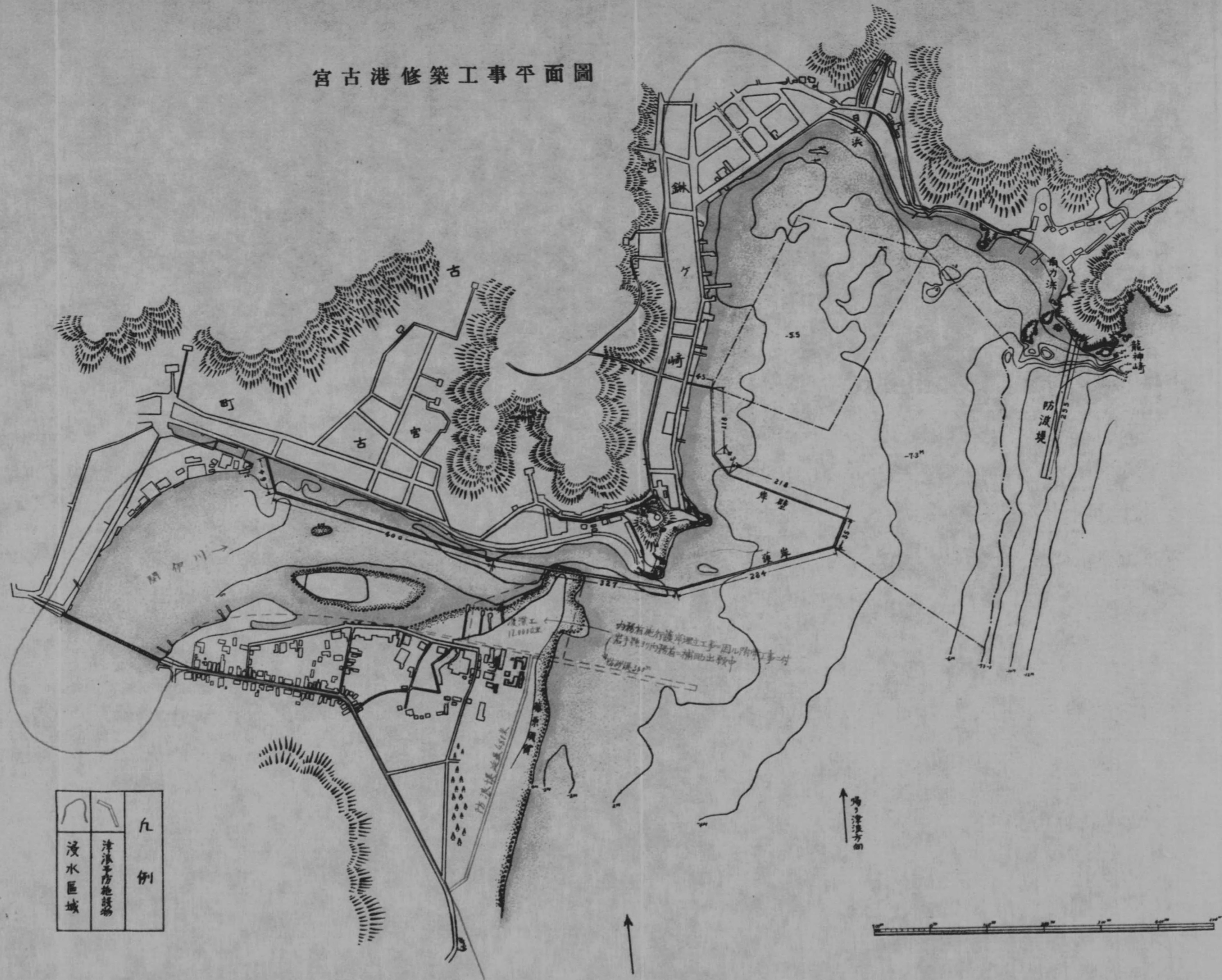
一、津浪豫防施設

(六) 防浪堤

- イ、位置 平面圖示
- ロ、延長 四八〇米 幅員 天端 三米 高サ 一米八〇
- ハ、構造概要 表面 玉石入混泥土造(天端共) 堤心土砂 裏面 芝張
- ニ、必要ナル經費概算

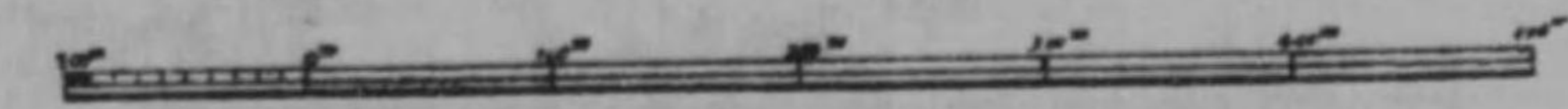
種別	數量	單位	單價	金額	備考
防浪堤	長 四八〇	米	一一〇	五二,八〇〇	
用地	三,八四〇	平米	一	三,八四〇	
雜費				四,三六〇	
計				六一,〇〇〇	

宮古港修築工事平面圖



		凡例
浸水區域	沖浪工事施設物	

↑ 海津方面



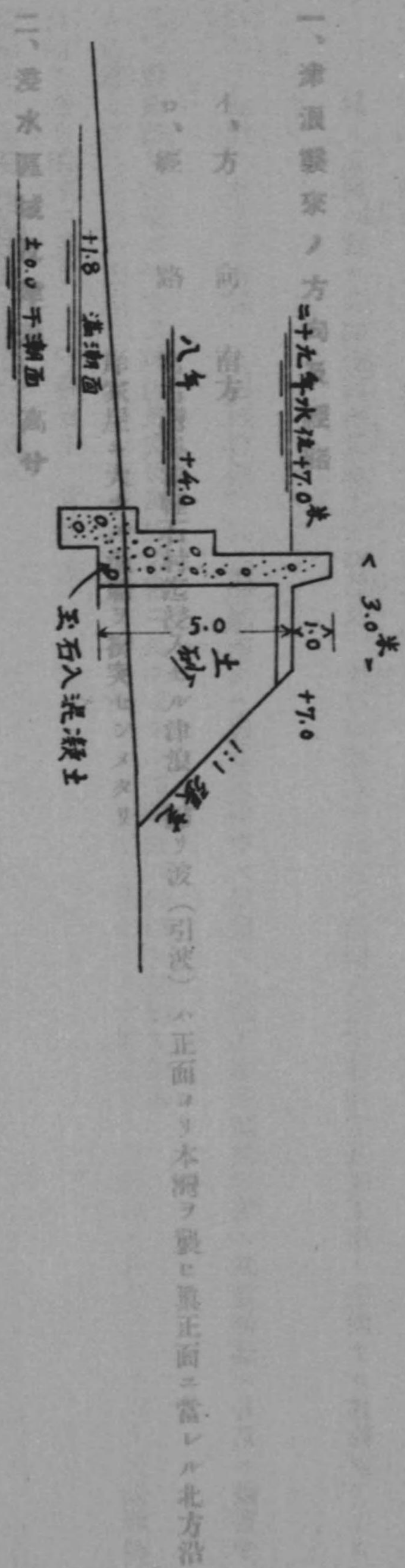


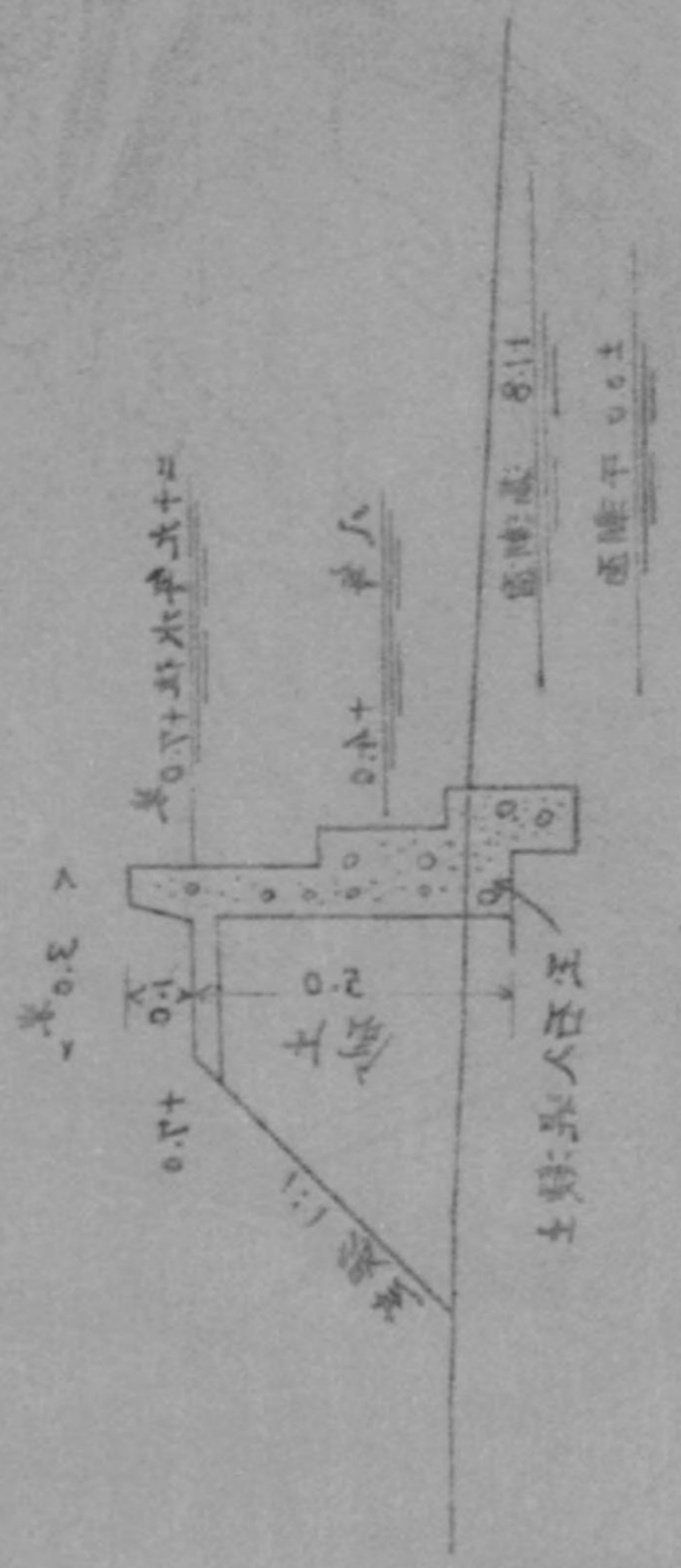
宮古町鉄ヶ崎

宮古町字藤原
防浪堤断面圖

前記ノ如ク引波ノ襲来ヲ受ケタルモ被害輕微
漁港トシテ有難ナルハ勿論一方津浪ニ對シテ防護ノ効力大ニシテ一層被害率ヲ輕減スベキト信ズルヲ以テ本調査ニハ別段ノ處
設テ認メズ

甲、基礎的調査事項





宮古町津浪調査要領(宮古平面圖参照)
 宮古町津浪調査要領

宮古町 嶽ヶ崎

調査項目	調査要領
津浪の高さ	津浪の高さを調査する
津浪の方向	津浪の方向を調査する
津浪の勢力	津浪の勢力を調査する
津浪の周期	津浪の周期を調査する
津浪の成分	津浪の成分を調査する
津浪の流速	津浪の流速を調査する
津浪の流量	津浪の流量を調査する
津浪の水位	津浪の水位を調査する
津浪の水温	津浪の水温を調査する
津浪の塩分	津浪の塩分を調査する
津浪の透明度	津浪の透明度を調査する
津浪の流速	津浪の流速を調査する
津浪の流量	津浪の流量を調査する
津浪の水位	津浪の水位を調査する
津浪の水温	津浪の水温を調査する
津浪の塩分	津浪の塩分を調査する
津浪の透明度	津浪の透明度を調査する

前記ノ如ク引波ノ襲来ヲ受ケタルモ被害輕微ナリ、内務省直營ノ防波堤竝ニ岸壁埋立工事ガ近キ將來ニ於テ完成ノ曉ニハ商、漁港トシテ有効ナルハ勿論一方津浪ニ對シテ防護ノ効力大ニシテ一層被害率ヲ輕減スベキト信ズルヲ以テ本調査ニハ別段ノ施設ヲ認メズ

甲、基礎的調査事項

一、津浪襲来ノ方向及経路

- イ、方向 南方
- ロ、経路 宮古灣奥津輕石村迄浸入セル津浪ノ歸リ波(引波)ハ正面ヨリ本灣ヲ襲ヒ真正面ニ當レル北方沿岸家屋ニ大ナル漁船ヲ衝突セシメタリ

二、浸水區域及津浪ノ高さ

イ、浸水區域 圖示ニ依ル
 ロ、浪波ノ高サ 干潮面上 五・〇米

三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響竝ニ漁船ノ碇繋ノ位置
 護岸、水上警察署、共同販賣所、其ノ他海中ニハ目下工事中ノ岸壁ノ基礎工事及防波堤等ノ爲當部落ハ非常ニ被害少
 ナシ
 只ダ正面ニ當ル共同販賣所及水上警察署及三陸冷蔵株式會社其ノ他個人家宅等相當基礎工事ノ堅固ナル建物ガアリタ
 ル爲メ後方ノ人家ニハ被害ナク只ダ浸水ノ程度ナリ
 從ツテ沿岸道路ニ沿フタル家屋ハ入口、戸及其ノ他ノ板圍ヲ破ラレタル程度ナリ

四、各部落ニ於ケル主要漁業
 種別 鰹釣、鮪延繩、鱈延繩、秋刀魚流刺網、能流刺網、柔魚釣發動機手操貝藻類採捕
 漁船數 動力付二三隻 無動力船四〇〇隻(内破損一六二隻)
 漁獲高(噸)ケ崎漁業組合取扱ノモノ)

漁業ノ種類	種類別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		備考
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鮪								
鰹								
鮪								
計		二一、五三七	七、九三五	二一、五〇四	六、八七三	九、五二八		

鮪等ノ如キ鮮魚ハ主トシテ宮古共同販賣所ニ於テ販賣ス

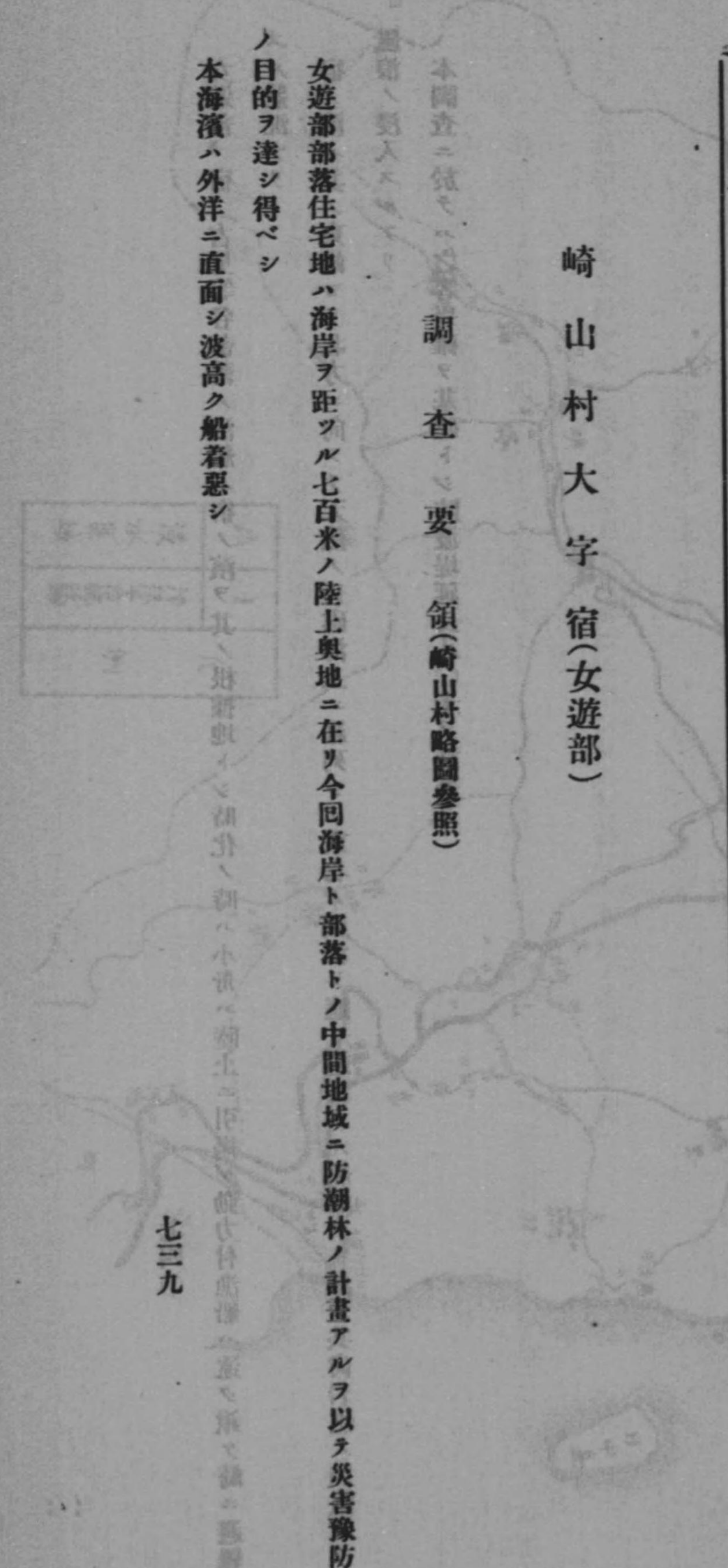
種類	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額
鮪	二、八三三	七、九三五	二、五〇四	六、八七三		
鰹	八三七	一、三五九	一、三八九	一、三四一		
鮪	一、一五	一六七	三、〇八九	五八〇		
海菜	二八、〇九〇	七、九三三	五、二九八	一、八九		
鹿角菜	二九、八四四	一、五七七				
若布	七、〇七五	三、九六七	一四〇、三四三	三、四六四		
細布	三、九八二	一、六五四				
鮑貝	三、九七六	三、二六八	三三、七五	二五、四七五		
鮮魚類	二四、〇二〇	八一四	一三、八四七	三三、八七七		
委託魚類	二一、五三七	五、四一九		九三、三〇七		
計						

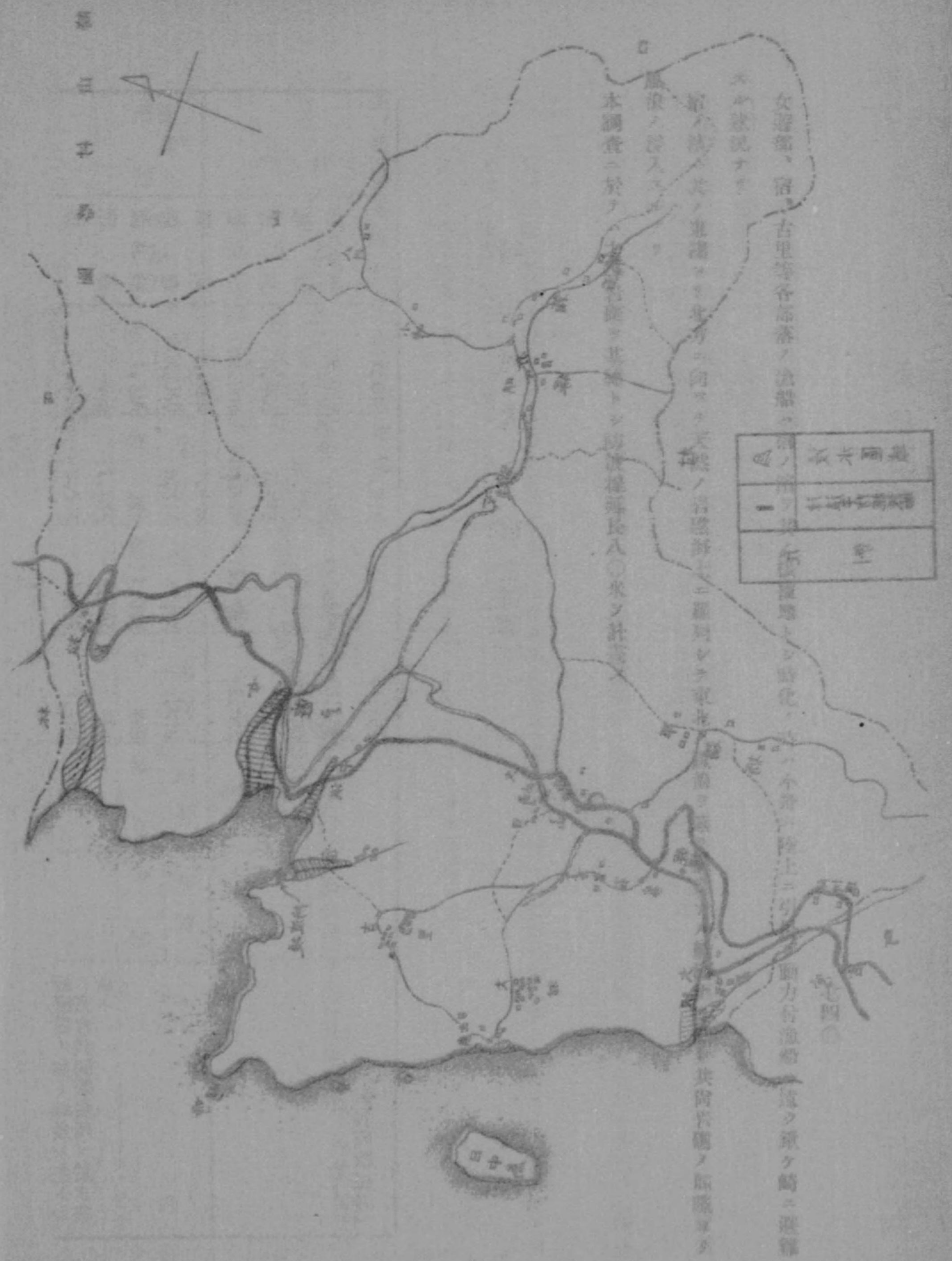
二ヶ年平 均七、五三
 (販賣所取扱分)

崎山村大字宿(女遊部)

本調査ニ就テハ、調査要領(崎山村略圖参照)

女遊部落住宅地ハ海岸ヲ距ツル七百米ノ陸上奥地ニ在リ今回海岸ト部落トノ中間地域ニ防潮林ノ計畫アルヲ以テ災害豫防ノ目的ヲ達シ得ベシ
 本海濱ハ外洋ニ直面シ波高ク船着惡シ





甲、基礎的調査事項

種別	調査事項	調査結果	備考
漁船	一、津浪襲来ノ方向及経路	1. 1,100 1,200 1,300 1,400 1,500	北東
	イ、方 向	1,100 1,200 1,300 1,400 1,500	北東
漁船	二、浸水区域及津浪ノ高さ	1,100 1,200 1,300 1,400 1,500	干潮面上 五・七米
	イ、浸水区域	1,100 1,200 1,300 1,400 1,500	干潮面上 五・七米
漁船	三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ漁船ノ碇繋ノ位置	1,100 1,200 1,300 1,400 1,500	漁具庫、漁夫宿泊所等アリシモ全部流失セリ。人家ハ海岸ヨリ七百米ヲ距テタル陸上奥地ニ在リ砂濱ニ曳揚ゲテアリタル漁船ハ殆ド全部流失
	四、各部落ニ於ケル主要漁業	1,100 1,200 1,300 1,400 1,500	定置漁業、柔魚釣、稚小延縄、貝類及藻類採取業
漁船	動力付七隻	無動力船 大一七隻	小 一八〇隻

種漁業ノ種類	種類別	昭和五年度		昭和六年度		昭和七年度		備考
		數量	金額	數量	金額	數量	金額	
鰯	鰯	四〇,三〇〇	二,〇五一	三三,四〇〇	一,一七〇	三四,〇〇〇	二八,〇五〇	(女遊部落ノ漁獲高ハ上記ノ約三割五分以内トス) 三箇年平均 八、七三
鰯	鰯	三,五〇〇	四、八四九	六,三〇〇	二二,〇〇〇	一五,〇〇〇	三三,〇〇〇	
鰯	鰯	三,二〇〇	二五,九六	五,〇〇〇	八,六〇〇	三〇〇	三八〇	
鮭	鮭	三,〇〇〇	三三,〇〇	一〇,一〇〇	一三,六〇〇	八,五〇〇	三,八五〇	
鱈	鱈	六,六〇〇	二六,〇〇〇	二,八〇〇	三,一〇〇	四,〇五〇	四,一〇〇	
鮑	鮑	一六,〇〇〇	二二,八〇〇	九六〇	一,三五〇	三,六〇〇	四,五〇〇	
雲丹	雲丹	一,八〇〇	一,八五〇	九八〇	一,三五〇	二,三〇〇	二,三〇〇	
鮪	鮪	三,一〇〇	一,二八〇	八,二〇〇	一,六七〇	一,〇五〇	二,〇三〇	
若布	若布	七,二〇〇	二,三〇〇	二,四五〇	二,四五〇	一六,一五〇	三,三〇〇	
角又	角又	一,三〇〇	一,四〇〇	五二〇	六八〇	一,二九六	一,〇八〇	
柔魚	柔魚	一,二〇〇	一,八〇〇	二六〇	三六〇	三,〇〇〇	三,九〇〇	
合計	合計	一一二,四〇〇	四八,一九〇	一四八,〇〇〇	四八,一九〇	一四八,〇〇〇	一四八,〇〇〇	

乙、漁村復舊計畫ニ關スル調査事項

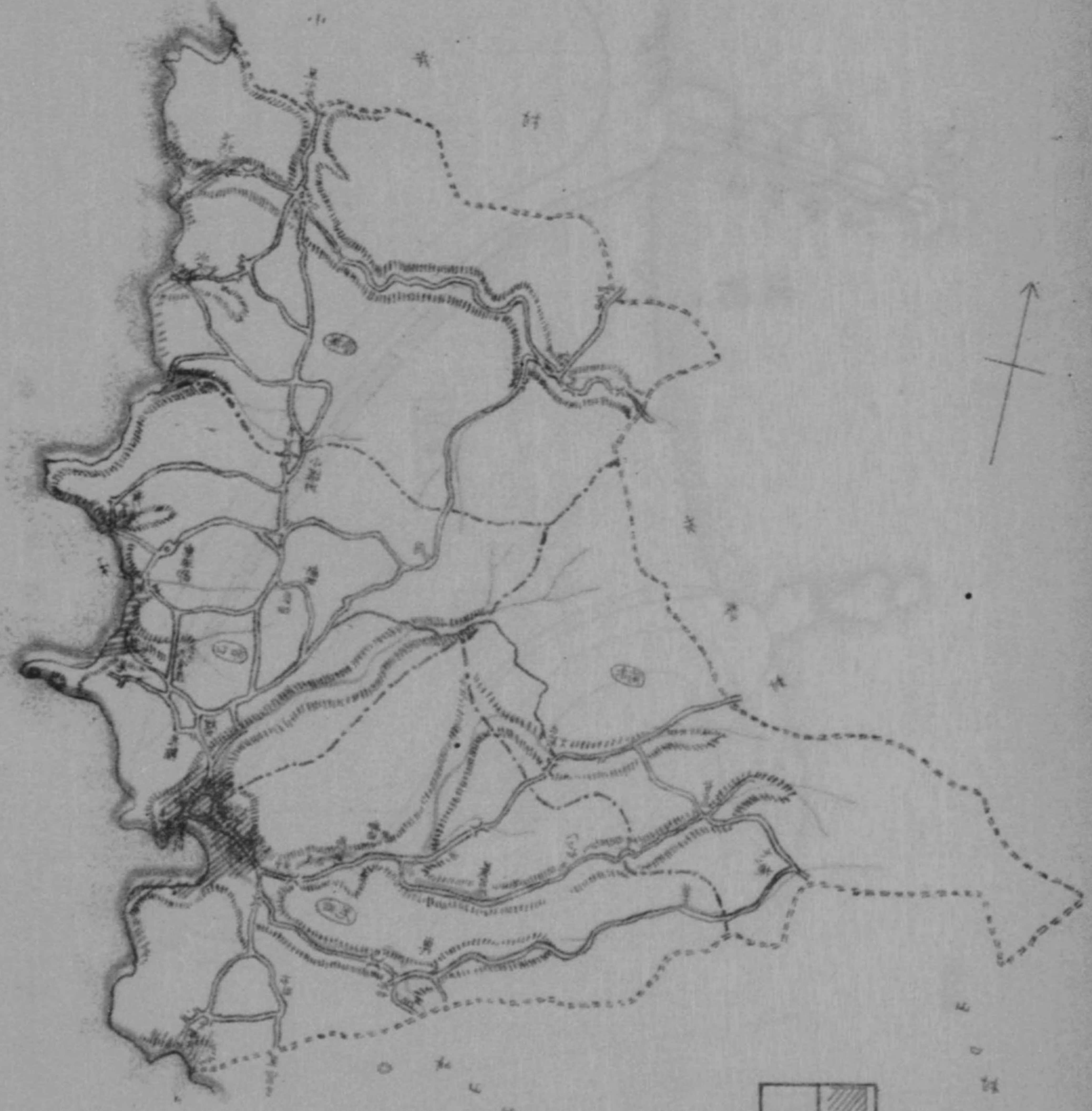
一、津浪災害豫防施設

(一) 船溜

(1) 防波堤

イ、位置 海中岩礁中ニ設置ス
 ロ、方向 平面圖示
 ハ、長さ 八〇米
 ニ、幅員 三・五米 高サ 五米
 ホ、構造概要 混泥土單塊堤、基礎岩磐(一部ハ捨石)
 (4) 必要ナル經費概算

種別	數量	單位	單價	金額	備考
防波堤	八〇	米	三〇〇	二四,〇〇〇	
器具機械費				二,五〇〇	損料
雜費				二,五〇〇	
計				二九,〇〇〇	



田老村大字田老

調査要領

本部落ハ殆ト全滅ノ悲運ニ遭遇シタルニ鑑ミ先以テ住宅地ノ防護ヲ急務ナリト認メ、本調査ニ於テハ略縣當局ノ計畫ヲ踏襲シテ別圖ニ示ス位置ニ防浪堤(延長九三〇米 高平均一〇米)ヲ設置ス、本堤ト三面山岳ニ圍マレタル平地ヲ區劃整理シテ市街地トシ約八百戸ノ家屋ヲ收容セントス、次ニ本堤ト海濱トノ間ニハ防潮林ノ計畫アリ其一部ハ共同施設用地トシ其他砂濱ハ干場及舟揚場トス、次ニ田老川ノ流心ハ略現在ノマ、トシテ其護岸ヲ修築セバ一層可ナリ、同川口附近ニ商船漁船ノ接岸施設トシテ荷揚護岸ヲ築設セバ差當リ支障無キモノト認ム、次ニ附帯工事トシテ長内川ノ附換ヲ必要トシ同河川堤防工事モ同時施工ヲ要ス、以上ノ諸施設經費ヲ合計スレバ相當巨額ノ經費ヲ要ス本調査ニ於テハ到底右全部ヲ計上シ難キニ付差當リ急務トスル防浪堤工費(四〇八、〇〇〇圓)ノミヲ計上スルニ止メタリ、其他ノ施設ハ經費ヲ求メテ順次ニ施行スルノ已ムヲ得ザルモノト認ム

イ、位置 圖示

ロ、延長 九三〇米 幅員 天端三・五米 下敷一六・五 高サ 一〇米 胸壁高 二米
 ハ、構造概要 堤前面栗石入混泥土壁、堤心土石 天端及背面混泥土張
 ニ、必要ナル經費概算

七五〇

種別	數量	單位	單價	金額	備考
防浪堤	九三〇	米	一米當 四〇〇	三七七,〇〇〇	
雜費	一八,六〇〇	平米	—	一七,四〇〇	
用地費	九三〇	平米	—	一八,六〇〇	
計				四〇八,〇〇〇	

二、漁村住宅ニ關スル事項

(一) 職業別戸數 調田老、乙部合併

(昭和八年三月罹災前現在)

區別	職業別	戸數	人口
漁業	漁業	四五〇	
農業	農業	一一〇	
商業	商業	九〇	
工業	工業	二〇	
其他	其他	二二	
計	計	七〇一	四,三七五

(二) 從來ノ住宅地並ニ移轉スベキ住宅地ノ適否

區別	從來ノ住宅地	移轉スベキ住宅地	區別
イ、海岸ヨリノ距離	一〇〇—五〇〇*	同	ロ、海面上ノ高サ
ハ、河川トノ關係	一—三*	同	ニ、交通關係

移轉スベキ住宅地ニ付テノ調査
 ト、位置ノ決定 從來ノ位置ニ區別整理ヲ施シテ住宅地トシ防浪堤ニテ防護ス

田老村大字乙部

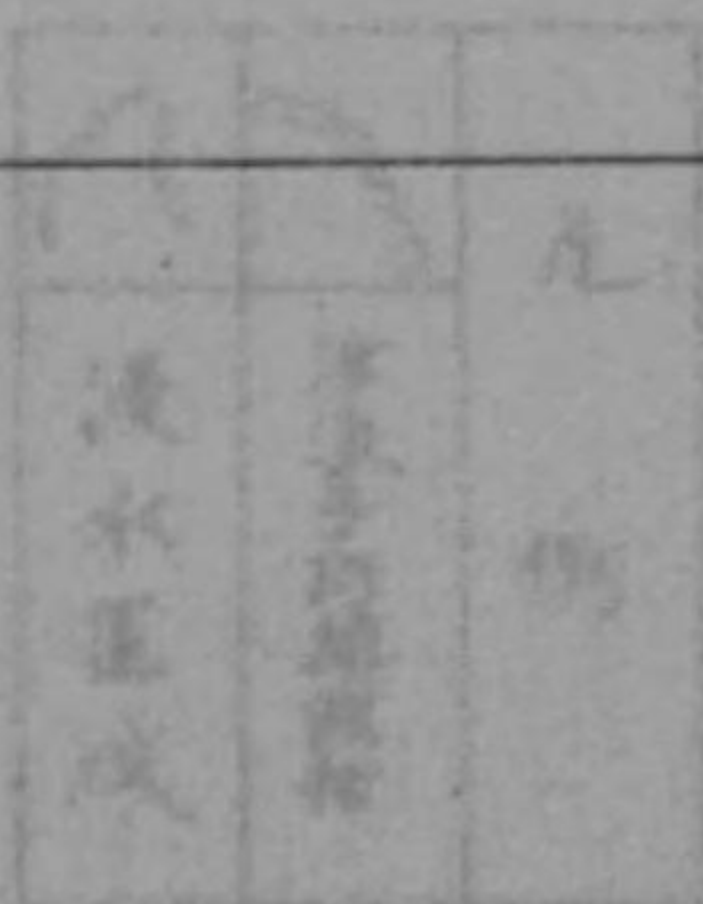
甲、基礎的調査事項

一、津浪襲來ノ方向及經路

イ、方向 乙部部落ノ船揚場及漁船ノ定繫場所ハ田老濱ヲ共有セル關係上本項ハ田老部落ニ準ズ

七五一

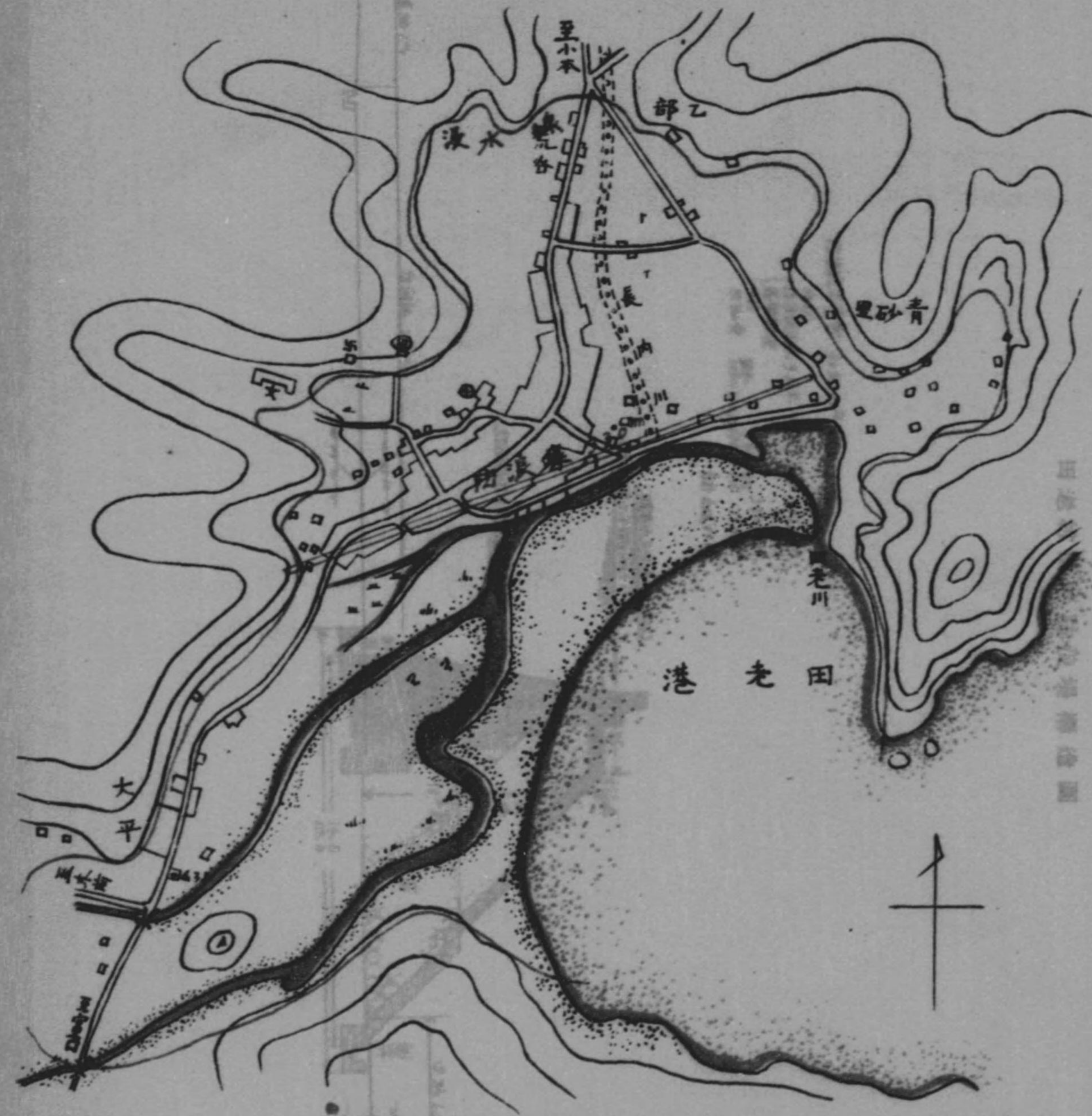
項 目	員 數	縣 配 當 額	實 施 計 劃	對 比	低 利 資 金 所 要 金 額	助 成 金 交 付 額	備 考
三、動力付漁船 就業資金		五、〇〇〇					
漁具復舊費							
一、小漁具復舊	二九八	四、四五〇					
二、曳網類復舊	七	三、一五〇					
四、延繩類復舊	三四〇	〇、二〇〇					
五、刺網類復舊	四〇	六、一五〇					
七、定置漁具ノ復舊	一	一、五〇〇					
共同施設復舊							
一、共同販賣所復舊		一、二、〇〇〇					
二、共同製造場復舊		一、二、五〇〇					
三、共同製造場 就業資金		一、五〇〇					
四、共同倉庫復舊		一、二、〇〇〇					
七、個人製造場復舊		一、二、〇〇〇					
計		六九、六八〇					



項 目	員 數	縣 配 當 額	實 施 計 劃	對 比	低 利 資 金 所 要 金 額	助 成 金 交 付 額	備 考
漁船復舊費							
一、無動力漁船復舊	二九八	〇、〇〇〇					
二、動力付漁船復舊	五	二、〇〇〇					

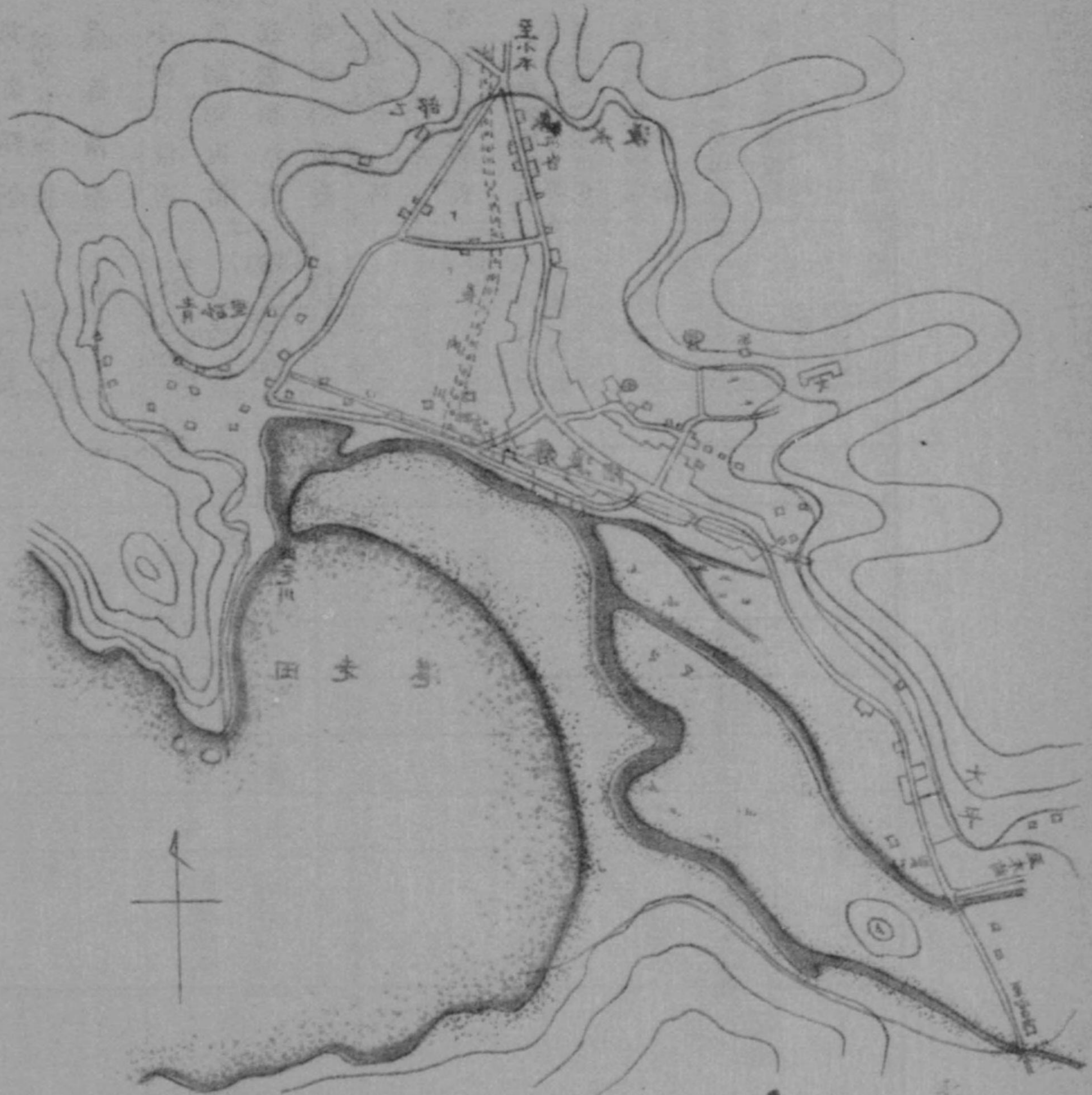
二、浸水區域及津浪ノ高サ
 一、津浪ノ高サ 一四・五米
 三、津浪前ノ沿岸ニ於ケル設備及夫ガ津浪災害ニ及ボシタル影響並ニ漁船ノ碇繋ノ位置
 沿岸ニ設備ナシ
 四、各部落ニ於ケル主要漁業
 種 類 柔魚釣、鱈延繩、鮑採捕、藻類採捕
 漁船數 動力付五隻 無動力三二五隻
 水産業復舊計劃書 乙部濱漁業組合(本年七月田老濱漁業組合ト合併ス)

田老村被害地區見取平面圖



	浸水區域	凡例
	津浪より建物が壊れた区域	

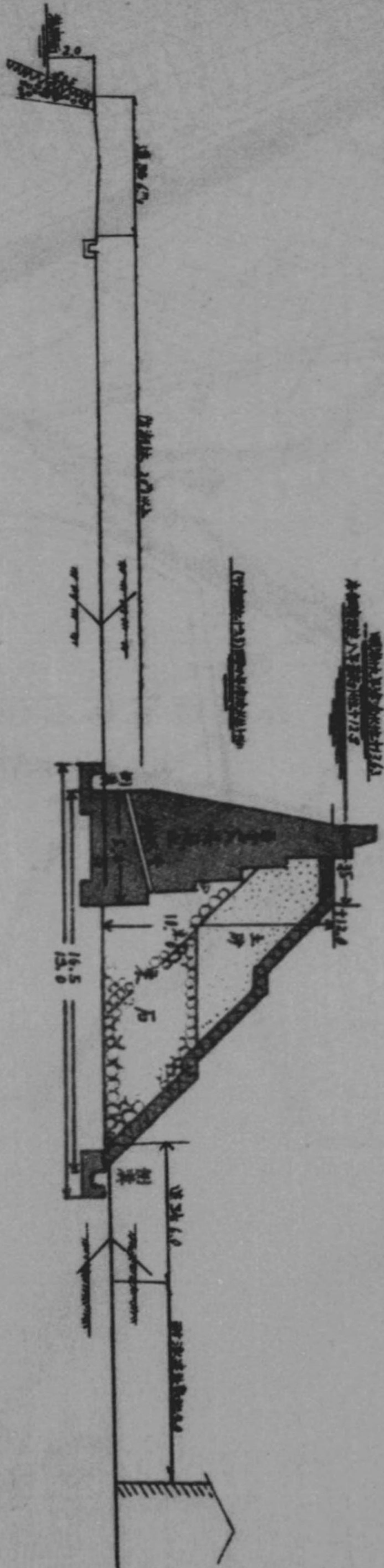
項目	内容	備考
一	田老村被害地区	
二	田老川	
三	田老港	
四	田老村	
五	田老川	
六	田老港	
七	田老村	
八	田老川	
九	田老港	
十	田老村	
十一	田老川	
十二	田老港	
十三	田老村	
十四	田老川	
十五	田老港	
十六	田老村	
十七	田老川	
十八	田老港	
十九	田老村	
二十	田老川	
二十一	田老港	
二十二	田老村	
二十三	田老川	
二十四	田老港	
二十五	田老村	
二十六	田老川	
二十七	田老港	
二十八	田老村	
二十九	田老川	
三十	田老港	
三十一	田老村	
三十二	田老川	
三十三	田老港	
三十四	田老村	
三十五	田老川	
三十六	田老港	
三十七	田老村	
三十八	田老川	
三十九	田老港	
四十	田老村	
四十一	田老川	
四十二	田老港	
四十三	田老村	
四十四	田老川	
四十五	田老港	
四十六	田老村	
四十七	田老川	
四十八	田老港	
四十九	田老村	
五十	田老川	
五十一	田老港	
五十二	田老村	
五十三	田老川	
五十四	田老港	
五十五	田老村	
五十六	田老川	
五十七	田老港	
五十八	田老村	
五十九	田老川	
六十	田老港	
六十一	田老村	
六十二	田老川	
六十三	田老港	
六十四	田老村	
六十五	田老川	
六十六	田老港	
六十七	田老村	
六十八	田老川	
六十九	田老港	
七十	田老村	
七十一	田老川	
七十二	田老港	
七十三	田老村	
七十四	田老川	
七十五	田老港	
七十六	田老村	
七十七	田老川	
七十八	田老港	
七十九	田老村	
八十	田老川	
八十一	田老港	
八十二	田老村	
八十三	田老川	
八十四	田老港	
八十五	田老村	
八十六	田老川	
八十七	田老港	
八十八	田老村	
八十九	田老川	
九十	田老港	
九十一	田老村	
九十二	田老川	
九十三	田老港	
九十四	田老村	
九十五	田老川	
九十六	田老港	
九十七	田老村	
九十八	田老川	
九十九	田老港	
一百	田老村	



堤	水田
5	田老田

田老村田老防浪堤设计图

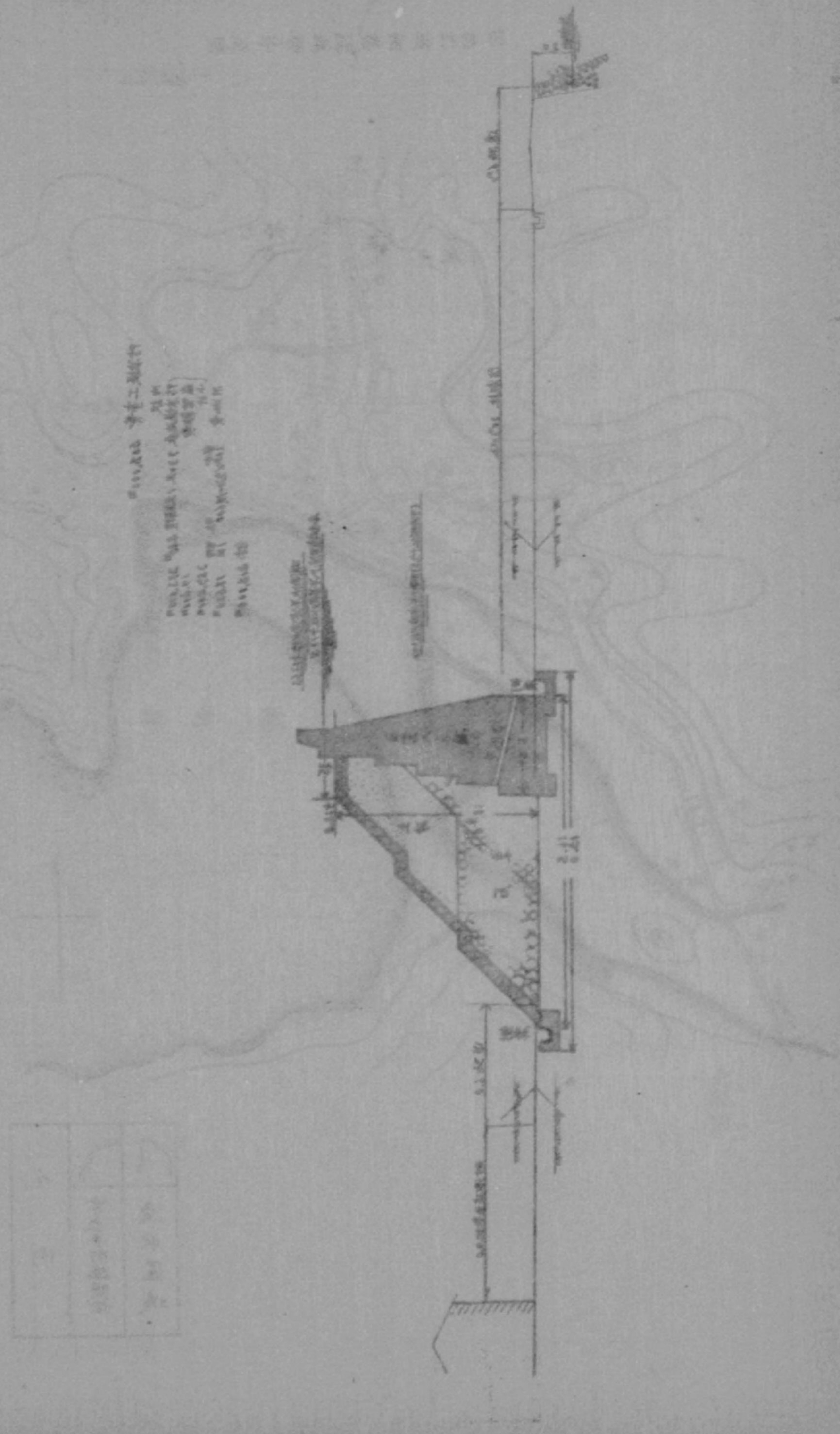
设计单位 412.1111
 设计人 412.1111
 设计日期 412.1111
 设计地点 412.1111
 设计比例 412.1111



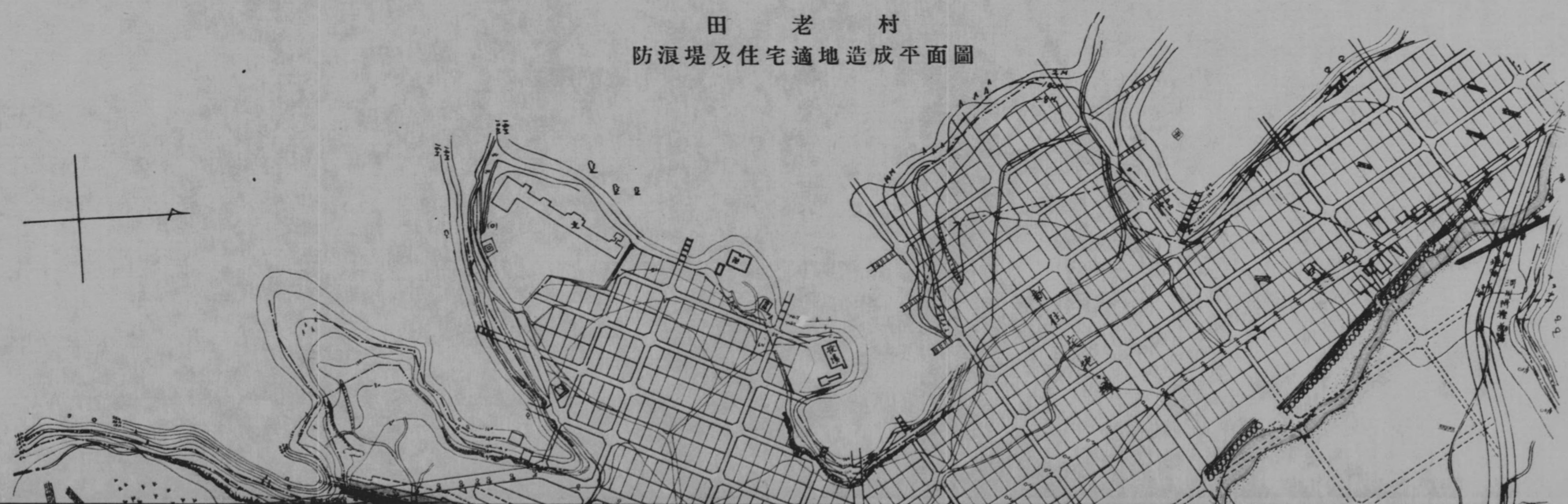


②

圖形新英荷得英田料基田



田 老 村
防浪堤及住宅適地造成平面圖





凡例
津浪予防施設



田老村大字攝待(九五戸
五七〇人)

調査要領

山間ノU字型低地ニテ本部落ハ海岸ヨリ十數町ヲ距ツル奥地ニアリ其間ノ谷間ニハ松林雜樹林アリテ防浪ノ効ヲナシ部落ノ被害ハ輕微ナリ
 海岸高地ニ小漁船ヲ曳上ゲオク小許ノ漁業用地アリ共同假倉庫アルノミニテ住家ナク部落民ハ半農半漁ニシテ出漁ノ際海岸ニ出向クヲ常トス 本調査ニハ別段ノ施設ヲ計上セズ

甲、基礎的調査事項

一、津浪襲來ノ方向及經路

- イ、方 向 東南東ヨリ襲來
- ロ、經 路 三段ニ襲來セリ

二、浸水區域及津浪ノ高サ

- 一、浸水區域 本部落ノ海岸及川岸ニ沿テ浸水セリ
- 二、津浪ノ高サ 一六・八米(干潮面上)
- 三、各部落ニ於ケル主要漁業
- 四、各部落ニ於ケル主要漁業

漁船數 動力付一隻 無動力二七隻(復舊決定數)

水産業復舊計劃書撰待濱漁業組合(八年七月田老濱漁業組合ト合併ス)

項 目	縣配當		實 施 計 劃				對 比	低利資金 所要金額	助成金交付額	備 考
	員數	金額	修繕 金額	新設 員數	合計 金額	增 減				
漁船復舊費										
一、無動力漁船復舊	二八七	九〇〇								
二、動力付漁船復舊	一	一、五〇〇								
三、動力付漁船 就業資金	一隻分	二〇〇								
漁具復舊費										
一、小漁具復舊	二八四	二〇〇								
五、刺網類復舊	二二〇	三、四五〇								

共同施設復舊	
一、共同販賣所復舊	一、〇〇〇
二、共同製造場復舊	二、〇〇〇
三、共同製造場 就業資金	一、〇〇〇
四、共同倉庫復舊	一、五〇〇
計	三、七〇〇

小本村大字茂師(三五九戸
三五七人)

四、各種茶ニ對シテ調査要領

本港ハ小漁港並船溜施設ヲ別途農業土木事業ニテ施行中ニ付本調査ニハ別段ノ計畫無シ
本部落ハ高地ニアルヲ以テ被害少シ、海岸ノ建物數戸ヲ流失ス

甲、基礎的調査事項

- 一、津浪襲來ノ方向及經路